

令和 4 年度

江東区長期計画区民アンケート調査

報 告 書

令和 5 年 3 月



スポーツと人情が熱いまち

江東区

目 次

I. 調査の概要	1
II. サンプル（調査回答者）特性	4
III. 江東区長期計画における成果指標	8
IV. 調査結果	21
【みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現】	21
【地球温暖化対策と環境保全】	23
【みんなで取り組む子育て家庭への支援】	26
【多様なニーズに応じた教育環境の充実】	32
【こどもが安全に過ごせる居場所・環境づくり】	34
【次代を担う青少年の健全育成の推進】	36
【魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成】	38
【人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化】	42
【多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現】	46
【生涯にわたり学習できる環境の充実】	53
【スポーツを楽しめる環境の充実】	57
【文化・歴史の継承と観光振興】	59
【切れ目のない支援による母子保健の充実】	62
【健康づくりの推進と保健・医療体制の充実】	63
【感染症対策と生活衛生の確保】	70
【高齢者支援と活躍の推進】	73
【障害者支援と共生社会の実現】	79
【地域福祉と生活支援の充実】	81
【計画的なまちづくりの推進】	87
【良好な住宅の形成と住環境の向上】	93
【便利で安全な道路・交通ネットワークの整備】	95
【災害に強い都市の形成】	97
【地域防災力の強化】	101
【犯罪のないまちづくり】	104
資料：調査票の見本	106

I. 調査の概要

・ 調査の目的

本調査は令和2年度から11年度までを計画期間とする「江東区長期計画」において、各施策に設定する施策実現に関する指標のうち、区民の意識や生活実態に基づくものについて、その現状値を把握することを目的として実施した。

・ 調査の方法

- ① 調査対象 区内在住の満18歳以上の人（令和5年1月1日時点での満年齢）
- ② 対象者数 3,000人
- ③ 抽出方法 住民基本台帳（令和5年1月1日現在）から無作為抽出
- ④ 調査方法 郵送配布、郵送回収及びインターネット（電子申請）による回収
- ⑤ 調査期間 令和5年1月18日送付、2月8日締切

・ 調査項目

- ・ みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現
- ・ 地球温暖化対策と環境保全
- ・ みんなで取り組む子育て家庭への支援
- ・ 多様なニーズに応じた教育環境の充実
- ・ こどもが安全に過ごせる居場所・環境づくり
- ・ 次代を担う青少年の健全育成の推進
- ・ 魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成
- ・ 人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化
- ・ 多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現
- ・ 生涯にわたり学習できる環境の充実
- ・ スポーツを楽しめる環境の充実
- ・ 文化・歴史の継承と観光振興
- ・ 切れ目のない支援による母子保健の充実
- ・ 健康づくりの推進と保健・医療体制の充実
- ・ 感染症対策と生活衛生の確保
- ・ 高齢者支援と活躍の推進
- ・ 障害者支援と共生社会の実現
- ・ 地域福祉と生活支援の充実
- ・ 計画的なまちづくりの推進
- ・ 良好な住宅の形成と住環境の向上
- ・ 便利で安全な道路・交通ネットワークの整備
- ・ 災害に強い都市の形成
- ・ 地域防災力の強化
- ・ 犯罪のないまちづくり

・ 回収結果

- ① 標本数 3,000票
- ② 有効回答数 1,294票（インターネット回答479票含む）
- ③ 有効回収率 43.1%

・ 報告書の見方

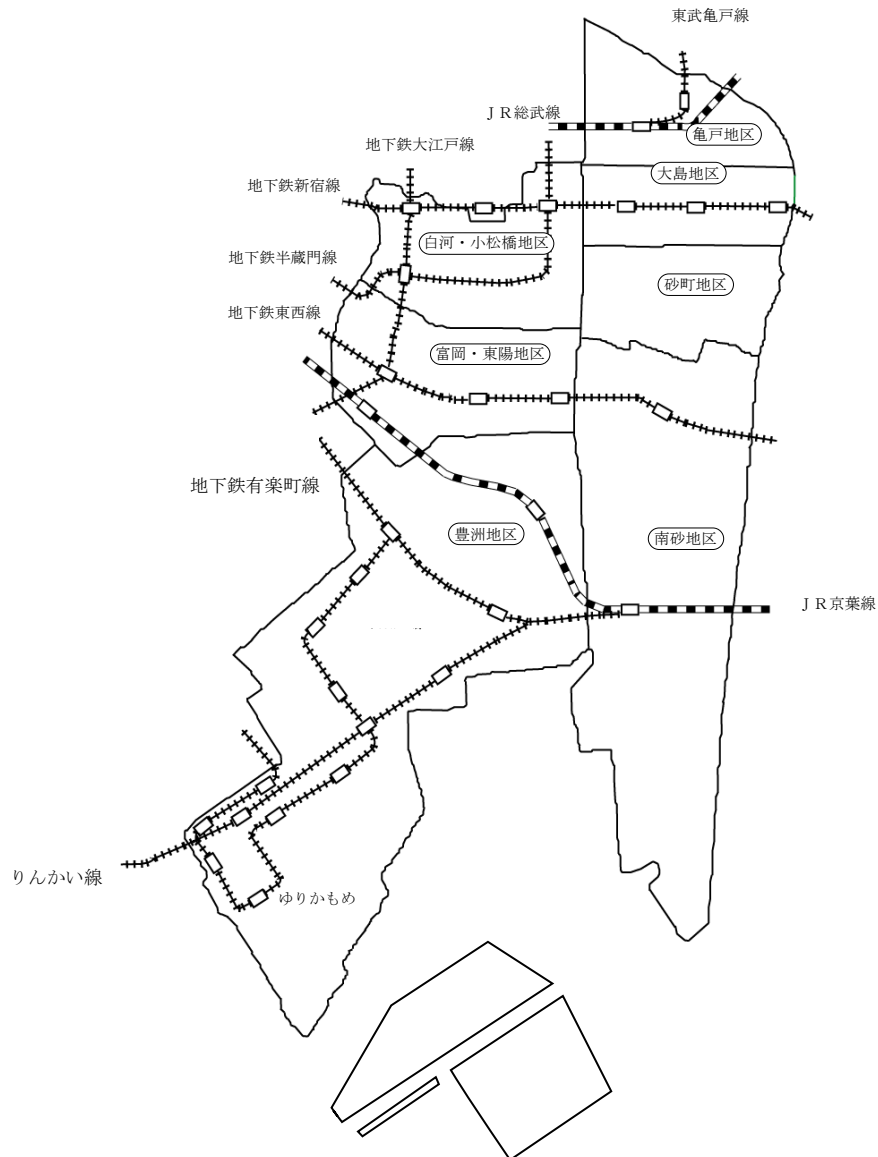
① 集計について

比率は全て百分率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。このため、比率の合計が100.0%にならない場合がある。

② 設問ごとの集計の基数

全員が回答すべき設問では、1,294となるが、回答者が限定される場合は、この数を下回る。なお、無回答・無効回答は基数から除いて算出している。

図表 I - 1 地区区分図



図表 I - 2 地区・町丁目対応表

地 区	該 当 町 丁 目
白 河	清澄、常盤、新大橋、森下、平野、三好、白河、高橋
小 松 橋	千石、石島、千田、海辺、扇橋、猿江、住吉、毛利
富 岡	佐賀、永代、福住、深川、冬木、門前仲町、富岡、牡丹、古石場、越中島
東 陽	木場、東陽、南砂 2 丁目 (1 番 1 号～5 号・5 番～7 番)、新砂 1 丁目 1 番、海の森
豊 洲	塩浜、枝川、豊洲、東雲、有明、辰巳、潮見、青海
亀 戸	亀戸
大 島	大島
砂 町	北砂、南砂 1 丁目・5 丁目、南砂 2 丁目 (24 番～34 番)、東砂 1 丁目～5 丁目
南 砂	東砂 6 丁目～8 丁目、南砂 2 丁目 (1 番 1 号～5 号・5 番～7 番・24 番～34 番を除く)・3・4・6・7 丁目、新砂 1 丁目 (1 番を除く)・2・3 丁目、新木場、夢の島、若洲

- ・ 標本誤差（サンプル誤差）はおおよそ下表のとおりである。標本誤差は次の式によって得られる。標本誤差の幅は、①比率算出の基数（n）、②回答比率（p）によって異なる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(100-p)}{n}}$$

N = 母集団
n = 回収数
p = 回答率

図表 I - 3 誤差率

回答比率 (p) (n)	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
1,294	1.67%	2.22%	2.55%	2.72%	2.78%
1,100	1.81%	2.41%	2.76%	2.95%	3.02%
1,000	1.90%	2.53%	2.90%	3.10%	3.16%
500	2.68%	3.58%	4.10%	4.38%	4.47%
300	3.46%	4.62%	5.29%	5.66%	5.77%
100	6.00%	8.00%	9.17%	9.80%	10.00%

※母集団は令和5年1月1日時点の住民基本台帳上の満18歳以上（人口：454,601人）

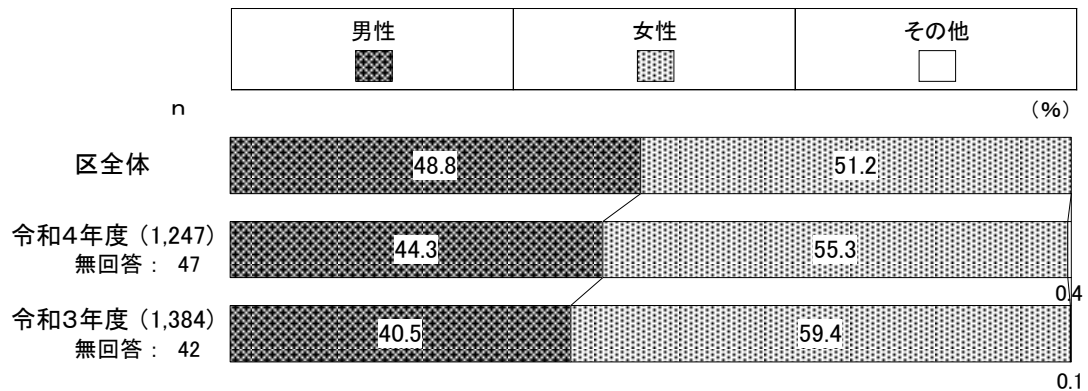
上表は、各設問における、各選択肢の回答率に応じた標本誤差の大きさを表している。本調査の場合は、回収数が1,294サンプルであったため、ある設問Aの選択肢aの回答率が50%であった場合（誤差が最も大きくなる場合）でも、その結果の誤差は±2.78%、すなわち、母集団（全区民）の回答率は47.22%～52.78%の範囲内に収まっていることを示している。

Ⅱ. サンプル（調査回答者）特性

F 1 性別

- 区全体では、男性、女性は概ね同じ割合であるが、回答者の性別では女性の割合が男性より11.0ポイント高くなっている。

図表Ⅱ－１ 性別

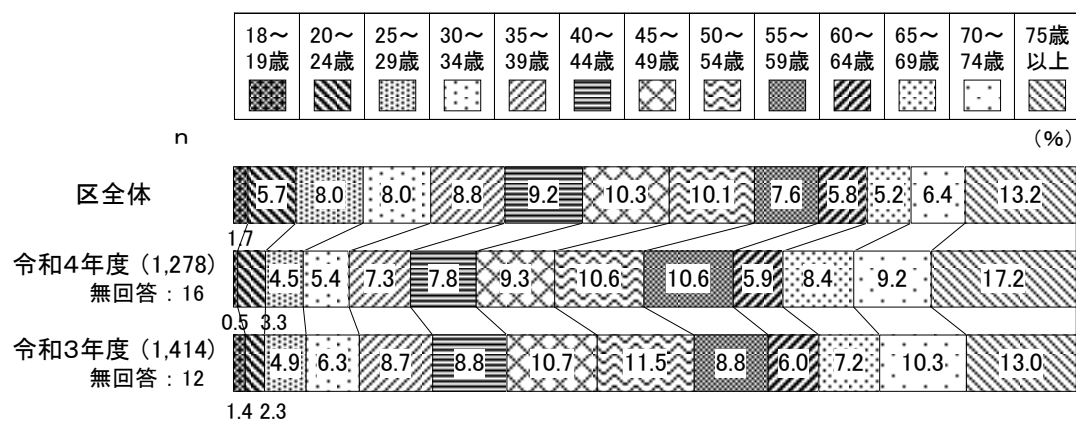


※区全体は令和5年1月1日時点の住民基本台帳上の満18歳以上（人口：454,601人）

F 2 年齢

- 年齢別では、75歳以上が17.2%で最も高く、70歳以上の回答者は全体の26.4%となっている。年代別でみると、10歳代は0.5%、20歳代は7.8%、30歳代は12.7%、40歳代は17.1%、50歳代は21.2%、60歳代は14.3%となっている。

図表Ⅱ－２ 年齢

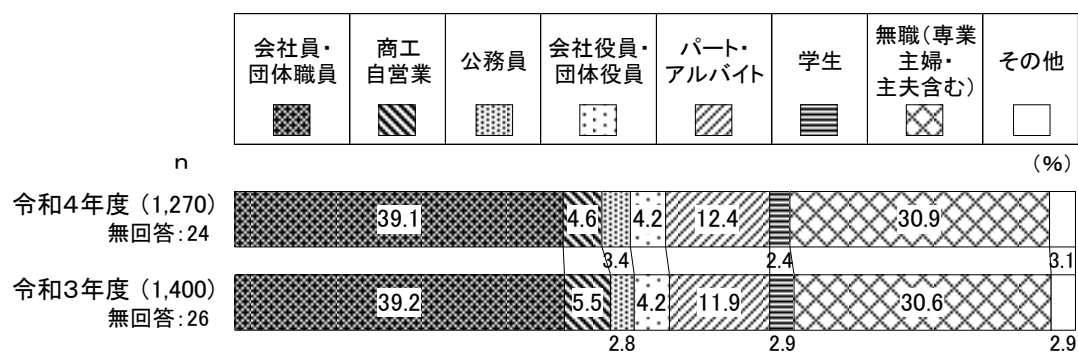


※区全体は令和5年1月1日時点の住民基本台帳上の満18歳以上（人口：454,601人）

F 3 職業

- ・職業別では、会社員・団体職員が39.1%で最も高く、次いで無職（専業主婦・主夫含む）が30.9%となっている。

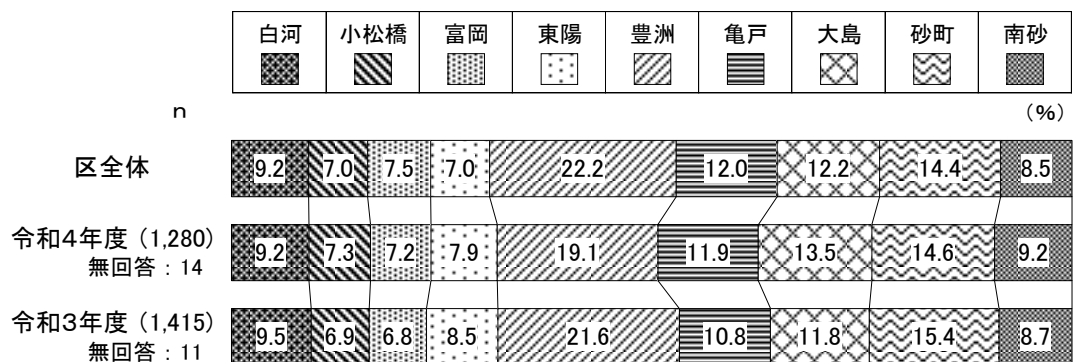
図表Ⅱ－3 職業



F 4 居住地区

- ・居住地区別では、豊洲地区が19.1%で最も高く、次いで砂町地区が14.6%となっている。

図表Ⅱ－4 居住地区

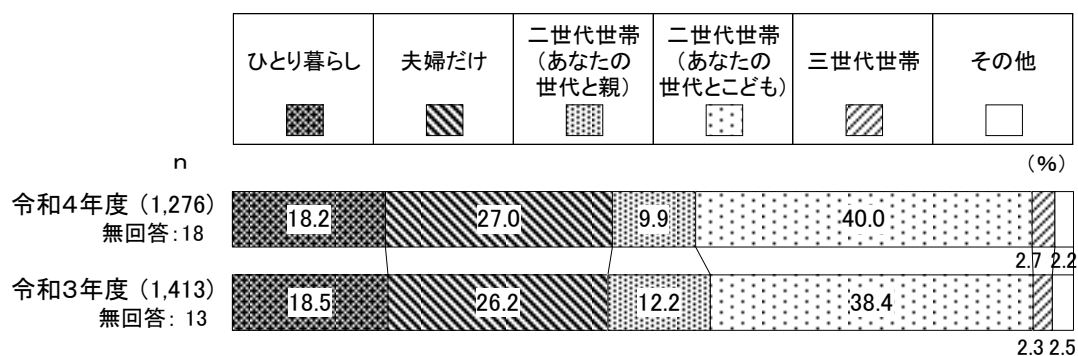


※区全体は令和5年1月1日時点の住民基本台帳上の満18歳以上（人口：454,601人）

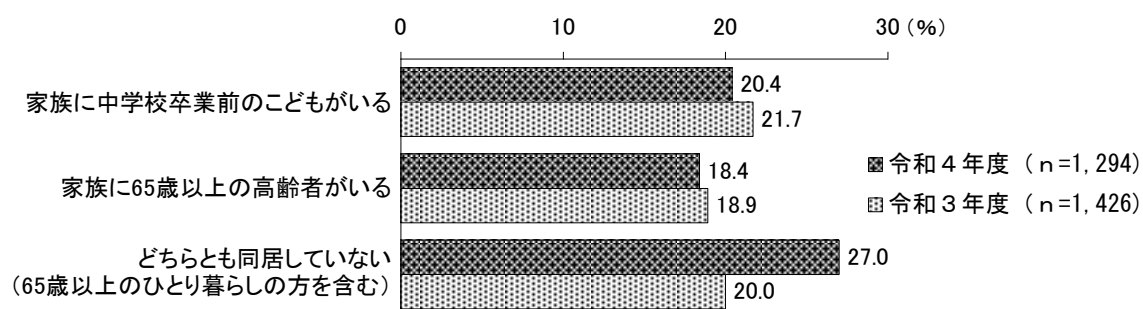
F 5 世帯の構成

- ・世帯の構成別では、二世世代世帯（あなたの世代と子ども）が40.0%で最も高く、次いで夫婦だけが27.0%となっている。また、家族に中学校卒業前の子どもがいる回答者が20.4%、家族に65歳以上の高齢者がいる回答者が18.4%となっている。

図表Ⅱ－5 世帯の構成



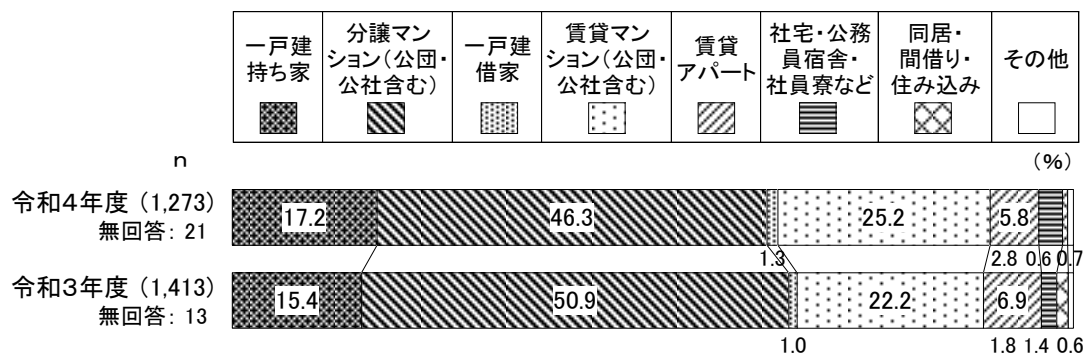
図表Ⅱ－6 世帯に中学校卒業前の子ども及び65歳以上の高齢者のいる回答者



F 6 住宅の形態

- ・住宅の形態別では、分譲マンション（公団・公社含む）が46.3%で最も高く、次いで賃貸マンション（公団・公社含む）が25.2%となっている。

図表Ⅱ－７ 住宅の形態



※公団とは「UR都市機構（旧日本住宅公団、住宅・都市整備公団、都市基盤整備公団）」、
公社とは「東京都住宅供給公社」を指す。

Ⅲ. 江東区長期計画における成果指標

- ・本アンケートの結果を利用した長期計画の各施策の指標について整理した。なお、単位は全て「%」である。
- ・全ての集計は小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、2つ以上の項目を合計した割合は、各集計値を合計した数値とは異なる場合がある。
- ・割合については、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、合計が100.0%にならない場合がある。
- ・成果指標の数値は母集団から無回答を除いて算出した。
- ・問3-1、4-1、15-1、19-1、23②③、26-1、26-2、29-1、29-2は、指標数値の取得とは直接関係がないため、本項では記載しない。これらの設問の結果は、「Ⅳ. 調査結果」を参照のこと。

■問1 みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現：施策1（詳細はP21）	
指標名：	水辺と緑に満足している区民の割合
算出方法：	「1. 満足している」及び「2. どちらかといえば満足している」の割合を算出
指標値：	75.0%

図表Ⅲ－1 みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現：施策1 集計結果

n=1,280	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である	わからない
回答数	382	578	182	68	23	47
割合	29.8	45.2	14.2	5.3	1.8	3.7

無回答：14

■問2 地球温暖化対策と環境保全：施策2（詳細はP23）	
指標名：	環境に配慮した行動に取り組む区民の割合
算出方法：	「12. 特に何もしていない」以外の選択肢を5個以上選んだ区民の割合を算出
指標値：	70.2%

図表Ⅲ－2 地球温暖化対策と環境保全：施策2 集計結果

n=1,287	1個選択	2個選択	3個選択	4個選択	5個選択	6個選択	7個選択	8個選択	9個選択	10個選択	11個選択	特に何もしていない
回答数	26	54	104	181	187	219	173	152	112	56	5	18
割合	2.0	4.2	8.1	14.1	14.5	17.0	13.4	11.8	8.7	4.4	0.4	1.4

無回答：7

■問3 みんなで取り組む子育て家庭への支援：施策5（詳細はP26）	
指標名：	地域に見守られて子育てしていると感じる保護者の割合
算出方法：	「1. そう感じる」及び「2. どちらかといえばそう感じる」の割合を算出
指標値：	61.2%

図表Ⅲ－3 みんなで取り組む子育て家庭への支援：施策5 集計結果

n=322	そう感じる	どちらかとい えばそう 感じる	どちらかとい えばそう 感じない	そう感じない	わからない
回答数	42	155	38	34	53
割合	13.0	48.1	11.8	10.6	16.5

■問4 みんなで取り組む子育て家庭への支援：施策5（詳細はP28）	
指標名：	必要な子育て情報が入手できる保護者の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	62.7%

図表Ⅲ－4 みんなで取り組む子育て家庭への支援：施策5 集計結果

n=399	そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらかとい えばそう 思わない	そう思わない	わからない
回答数	39	211	37	24	88
割合	9.8	52.9	9.3	6.0	22.1

■問5 みんなで取り組む子育て家庭への支援：施策5（詳細はP30）	
指標名：	しつけであっても子どもに体罰を与えてはならないと理解している区民の割合
算出方法：	「1. しつけであっても体罰はすべきでない」の割合を算出
指標値：	65.8%

図表Ⅲ－5 みんなで取り組む子育て家庭への支援：施策5 集計結果

n=1,020	しつけであっ ても体罰はす べきではない	しつけのため なら、ある程 度の体罰も やむを得ない	しつけのため なら、体罰は 必要である	わからない
回答数	671	270	7	72
割合	65.8	26.5	0.7	7.1

無回答：274

■問6 多様なニーズに応じた教育環境の充実：施策7 （詳細はP32）	
指標名：	一人一人を大切にされた教育が行われていると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	24.4%

図表Ⅲ－6 多様なニーズに応じた教育環境の充実：施策7 集計結果

n=1,155	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
回答数	47	235	209	52	43	569
割合	4.1	20.3	18.1	4.5	3.7	49.3

無回答：139

■問7 こどもが安全に過ごせる居場所・環境づくり：施策8 （詳細はP34）	
指標名：	行政・地域の活動により、こどもの安全・安心が確保されていると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	48.5%

図表Ⅲ－7 こどもが安全に過ごせる居場所・環境づくり：施策8 集計結果

n=1,164	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
回答数	165	399	179	49	54	318
割合	14.2	34.3	15.4	4.2	4.6	27.3

無回答：130

■問8 次代を担う青少年の健全育成の推進：施策9 （詳細はP36）	
指標名：	青少年が健全に育つことができる環境が整っていると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	19.5%

図表Ⅲ－8 次代を担う青少年の健全育成の推進：施策9 集計結果

n=1,166	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
回答数	44	183	210	75	43	611
割合	3.8	15.7	18.0	6.4	3.7	52.4

無回答：128

■問9 魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成：施策10 （詳細はP38）	
指標名：	区内の企業やお店が元気に活動していると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	43.7%

図表Ⅲ－9 魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成：施策10 集計結果

n=1,265	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
回答数	127	426	315	153	108	136
割合	10.0	33.7	24.9	12.1	8.5	10.8

無回答：29

■問10 魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成：施策10 （詳細はP40）	
指標名：	魅力ある商店街やお店が区内にあると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	62.1%

図表Ⅲ－10 魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成：施策10 集計結果

n=1,265	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
回答数	297	488	272	111	97
割合	23.5	38.6	21.5	8.8	7.7

無回答：29

■問11 人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化：施策11 （詳細はP42）	
指標名：	この1年間に地域活動に参加した区民の割合
算出方法：	「1. よく参加している」及び「2. ときどき参加している」の割合を算出
指標値：	14.7%

図表Ⅲ－11 人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化：施策11 集計結果

n=1,268	よく参加している	ときどき参加している	参加したことはあるが、今はほとんど参加していない	まったく参加したことはない
回答数	59	128	302	779
割合	4.7	10.1	23.8	61.4

無回答：26

■問12 人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化：施策11 （詳細はP44）	
指標名：	気軽に利用できる地域活動施設があると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	39.3%

図表Ⅲ－12 人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化：施策11 集計結果

n=1,266	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
回答数	131	367	189	99	85	395
割合	10.3	29.0	14.9	7.8	6.7	31.2

無回答：28

■問13 多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現：施策12 （詳細はP46）	
指標名：	江東区は多様性を認め合い、誰もが尊重され、暮らしやすいまちであると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	42.2%

図表Ⅲ－13 多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現：施策12 集計結果

n=1,267	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
回答数	127	408	259	55	56	362
割合	10.0	32.2	20.4	4.3	4.4	28.6

無回答：27

■問14 多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現：施策12 （詳細はP48）	
指標名：	仕事と生活の調和がとれた生き方を実現することができていると答えた区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	53.8%

図表Ⅲ－14 多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現：施策12 集計結果

n=1,269	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
回答数	193	490	217	136	118	115
割合	15.2	38.6	17.1	10.7	9.3	9.1

無回答：25

■問15 多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現：施策12 （詳細はP50）	
指標名：	DV相談窓口を知っている区民の割合
算出方法：	「1. 知っている」の割合を算出
指標値：	32.2%

図表Ⅲ－15 多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現：施策12 集計結果

n=1,228	知っている	知らない
回答数	395	833
割合	32.2	67.8

無回答：66

■問16 生涯にわたり学習できる環境の充実：施策13 （詳細はP53）	
指標名：	趣味や学習などに取り組んでいる区民の割合
算出方法：	「1. よく参加している」及び「2. ときどき参加している」の割合を算出
指標値：	7.1%

図表Ⅲ－16 生涯にわたり学習できる環境の充実：施策13 集計結果

n=1,258	よく参加している	ときどき参加している	参加したことはあるが、今はほとんど参加していない	まったく参加したことはない
回答数	34	55	208	961
割合	2.7	4.4	16.5	76.4

無回答：36

■問17 生涯にわたり学習できる環境の充実：施策13 （詳細はP55）	
指標名：	図書館が学びの場として役立っていると感じている区民の割合
算出方法：	「1. そう感じる」及び「2. どちらかといえばそう感じる」の割合を算出
指標値：	72.1%

図表Ⅲ－17 生涯にわたり学習できる環境の充実：施策13 集計結果

n=1,274	そう感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	そう感じない	わからない
回答数	406	512	81	68	207
割合	31.9	40.2	6.4	5.3	16.2

無回答：20

■問18 スポーツを楽しめる環境の充実：施策14 （詳細はP57）	
指標名：	週1回以上スポーツ・運動を行う区民の割合
算出方法：	週1日以上を選んだ区民の割合を算出
指標値：	61.5%

図表Ⅲ－18 スポーツを楽しめる環境の充実：施策14 集計結果

n=1,273	週1日	週2日	週3日以上 週6日以下	毎日	しない
回答数	262	163	240	118	490
割合	20.6	12.8	18.9	9.3	38.5

無回答：21

■問19 文化・歴史の継承と観光振興：施策15 （詳細はP59）	
指標名：	江東区は魅力的な文化観光資源があると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	71.3%

図表Ⅲ－19 文化・歴史の継承と観光振興：施策15 集計結果

n=1,252	そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらかとい えばそう 思わない	そう思わない	わからない
回答数	323	570	97	56	206
割合	25.8	45.5	7.7	4.5	16.5

無回答：42

■問20 切れ目のない支援による母子保健の充実：施策16 （詳細はP62）	
指標名：	母子保健サービスが充実していると思う保護者の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	62.1%

図表Ⅲ－20 切れ目のない支援による母子保健の充実：施策16 集計結果

n=351	そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらとも いえない	どちらかとい えばそう 思わない	そう思わない	わからない
回答数	70	148	39	20	10	64
割合	19.9	42.2	11.1	5.7	2.8	18.2

■問21 健康づくりの推進と保健・医療体制の充実：施策17 （詳細はP63）	
指標名：	自分は健康だと思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	70.8%

図表Ⅲ－21 健康づくりの推進と保健・医療体制の充実：施策17 集計結果

n=1,273	そう思う	どちらかとい えぱそう 思う	どちらとも いえない	どちらかとい えぱそう 思わない	そう思わない	わからない
回答数	318	583	162	85	110	15
割合	25.0	45.8	12.7	6.7	8.6	1.2

無回答：21

■問22 健康づくりの推進と保健・医療体制の充実：施策17 （詳細はP65）	
指標名：	この1年間でがん検診を受診した区民の割合
算出方法：	「5. がん検診は受けていない」と回答した区民を除く割合を算出 (n-「がん検診を受けていない」)／n
指標値：	54.1%

図表Ⅲ－22 健康づくりの推進と保健・医療体制の充実：施策17 集計結果

n=1,247	区のがん検診	職場の がん検診	人間ドックな どのがん検診	その他	がん検診は 受けていない
回答数	278	220	176	71	572
割合	22.3	17.6	14.1	5.7	45.9

無回答：47

■問23 健康づくりの推進と保健・医療体制の充実：施策17 （詳細はP67）	
指標名：	かかりつけ医を持つ区民の割合
算出方法：	「1. もっている」の割合を算出
指標値：	64.9%

図表Ⅲ－23 健康づくりの推進と保健・医療体制の充実：施策17 集計結果

n=1,266	もっている	もっていない
回答数	822	444
割合	64.9	35.1

無回答：28

■問24 感染症対策と生活衛生の確保：施策18 （詳細はP70）	
指標名：	感染症予防のため「手洗い」「咳エチケット」を実施している区民の割合
算出方法：	「手洗い」「咳エチケット」全てについて「行っている」と回答した区民の割合を算出
指標値：	97.4%

図表Ⅲ－24 感染症対策と生活衛生の確保：施策18 集計結果

n=1,270	全てを行っている	それ以外
回答数	1,237	33
割合	97.4	2.6

無回答：24

■問25 高齢者支援と活躍の推進：施策19 （詳細はP73）	
指標名：	生きがいや幸せを感じている高齢者の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	70.8%

図表Ⅲ－25 高齢者支援と活躍の推進：施策19 集計結果

n=435	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
回答数	128	180	64	26	24	13
割合	29.4	41.4	14.7	6.0	5.5	3.0

無回答：9

■問26 高齢者支援と活躍の推進：施策19 （詳細はP74）	
指標名：	地域活動や就労をしている高齢者の割合
算出方法：	「1. 就労をしている」及び「2. 地域活動をしている」の割合を算出
指標値：	29.3%

図表Ⅲ－26 高齢者支援と活躍の推進：施策19 集計結果

n=430	就労をしている	地域活動をしている	就労も地域活動もしている	何もしていない
回答数	49	69	8	304
割合	11.4	16.0	1.9	70.7

無回答：14

■問27 高齢者支援と活躍の推進：施策19 （詳細はP77）	
指標名：	地域包括支援センター（長寿サポートセンター）の活動内容を知っている区民の割合
算出方法：	「1. 内容を知っている」及び「2. ある程度の内容は知っている」の割合を算出
指標値：	25.1%

図表Ⅲ－27 高齢者支援と活躍の推進：施策19 集計結果

n=1,229	内容を 知っている	ある程度 の内容は知っ ている	内容は知ら ないが、聞 いたこと はある	知らない
回答数	113	195	276	645
割合	9.2	15.9	22.5	52.5

無回答：65

■問28 障害者支援と共生社会の実現：施策20 （詳細はP79）	
指標名：	障害者が社会参加しやすいまちだと思ふ区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	25.2%

図表Ⅲ－28 障害者支援と共生社会の実現：施策20 集計結果

n=1,264	そう思う	どちらか といえ ばそう 思う	どちら とも いえ ない	どちら かとい え ば そう 思 わ ない	そう 思 わ な い	わ か ら な い
回答数	57	262	178	29	29	709
割合	4.5	20.7	14.1	2.3	2.3	56.1

無回答：30

■問29 地域福祉と生活支援の充実：施策21 （詳細はP81）	
指標名：	身近に生活の相談をすることができる人がいる区民の割合
算出方法：	「1. いる」の割合を算出
指標値：	75.1%

図表Ⅲ－29 地域福祉と生活支援の充実：施策21 集計結果

n=1,275	いる	いない	どちら とも いえ ない
回答数	957	185	133
割合	75.1	14.5	10.4

無回答：19

■問30 計画的なまちづくりの推進：施策22 （詳細はP87）	
指標名：	地域の特色を活かしたまちづくりが進んでいると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	51.7%

図表Ⅲ－30 計画的なまちづくりの推進：施策22 集計結果

n=1,274	そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらとも いえない	どちらかとい えばそう 思わない	そう思わない	わからない
回答数	144	515	195	73	62	285
割合	11.3	40.4	15.3	5.7	4.9	22.4

無回答：20

■問31 計画的なまちづくりの推進：施策22 （詳細はP89）	
指標名：	江東区のまち並みが美しいと思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	57.8%

図表Ⅲ－31 計画的なまちづくりの推進：施策22 集計結果

n=1,276	そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらとも いえない	どちらかとい えばそう 思わない	そう思わない
回答数	195	543	330	109	99
割合	15.3	42.6	25.9	8.5	7.8

無回答：18

■問32 計画的なまちづくりの推進：施策22 （詳細はP91）	
指標名：	ユニバーサルデザインの理念を理解している区民の割合
算出方法：	「1. 内容を知っている」の割合を算出
指標値：	38.4%

図表Ⅲ－32 計画的なまちづくりの推進：施策22 集計結果

n=1,276	内容を 知っている	内容は知らな いが、聞いた ことがある	わからない
回答数	490	363	423
割合	38.4	28.4	33.2

無回答：18

■問33 良好な住宅の形成と住環境の向上：施策23 （詳細はP93）	
指標名：	住環境に満足している区民の割合
算出方法：	「1. 満足している」及び「2. どちらかといえば満足している」の割合を算出
指標値：	75.9%

図表Ⅲ－33 良好な住宅の形成と住環境の向上：施策23 集計結果

n=1,276	満足している	どちらかとい えれば満足 している	どちらとも いえない	どちらかとい えれば不満 である	不満である
回答数	317	651	177	85	46
割合	24.8	51.0	13.9	6.7	3.6

無回答：18

■問34 便利で安全な道路・交通ネットワークの整備：施策24 （詳細はP95）	
指標名：	区内の移動環境に対する区民の満足度
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	62.0%

図表Ⅲ－34 便利で安全な道路・交通ネットワークの整備：施策24 集計結果

n=1,277	そう思う	どちらかとい えればそう 思う	どちらとも いえない	どちらかとい えればそう 思わない	そう思わない	わからない
回答数	283	509	184	145	128	28
割合	22.2	39.9	14.4	11.4	10.0	2.2

無回答：17

■問35 災害に強い都市の形成：施策25 （詳細はP97）	
指標名：	災害に強いまちづくりが進んでいると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	36.1%

図表Ⅲ－35 災害に強い都市の形成：施策25 集計結果

n=1,285	そう思う	どちらかとい えればそう 思う	どちらとも いえない	どちらかとい えればそう 思わない	そう思わない	わからない
回答数	91	373	279	163	116	263
割合	7.1	29.0	21.7	12.7	9.0	20.5

無回答：9

■問36 災害に強い都市の形成：施策25 （詳細はP99）	
指標名：	江東区洪水ハザードマップを見たことがあり、自宅周辺の状況を理解している区民の割合
算出方法：	「1. 見たことがあり、自宅周辺の状況も把握している」の割合を算出
指標値：	64.4%

図表Ⅲ－36 災害に強い都市の形成：施策25 集計結果

n=1,285	見たことがあり、自宅周辺の状況も把握している	見たことはあるが、自宅周辺の状況はわからない	見たことはない	あることも知らない
回答数	827	349	92	17
割合	64.4	27.2	7.2	1.3

無回答：9

■問37 地域防災力の強化：施策26 （詳細はP101）	
指標名：	家具などの転倒防止策を行っている区民の割合
算出方法：	「1. 家具などの転倒防止対策」の割合を算出
指標値：	43.3%

図表Ⅲ－37 地域防災力の強化：施策26 集計結果

n=1,288	家具などの転倒防止対策	1. を未選択
回答数	558	730
割合	43.3	56.7

無回答：6

■問38 犯罪のないまちづくり：施策27 （詳細はP104）	
指標名：	治安が良いと思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	66.8%

図表Ⅲ－38 犯罪のないまちづくり：施策27 集計結果

n=1,286	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
回答数	209	650	301	76	50
割合	16.3	50.5	23.4	5.9	3.9

無回答：8

IV. 調査結果

- ・各設問について、分析を行った。なお、分析にあたっては、成果指標同様に無回答は割合に含めない。また、各設問の無回答数は記載していない。
- ・全ての集計は小数点以下第2位を四捨五入して算出しており、2つ以上の項目を合計した割合は、それぞれの四捨五入した数値を合計したものである。そのため、「Ⅲ. 江東区長期計画における成果指標」で表示されている指標値の合計値と数値が異なる場合がある。
- ・回答者が限定される設問は標本数が少なくなるため、単純集計のみとなっている。
- ・属性別の集計において塗りつぶしをしている項目は、その区分の上位2つまでの項目を示している。
- ・性年齢別分析は、「その他」が極少数であったため、「その他」を除く男性・女性別のみで実施している。

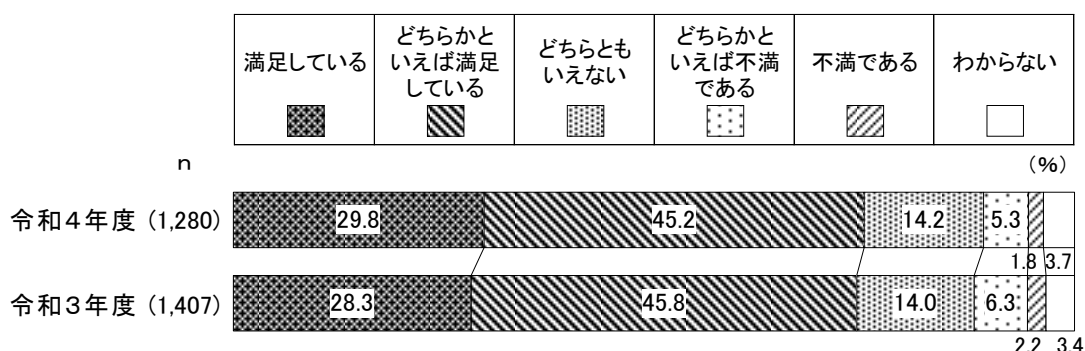
【みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現】

問1 あなたは、江東区内の水辺と緑に満足していますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

＜全体／経年比較＞

- ・「どちらかといえば満足している」が45.2%で最も高く、次いで「満足している」(29.8%)となっている。
- ・これらを合わせた『満足している (計)』の割合は75.0%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－1 水辺と緑に対する満足度



① 地区別

- ・地区別では、『満足している (計)』の割合は、富岡地区 (82.5%)、小松橋地区 (80.8%)、東陽地区 (80.2%)、豊洲地区 (79.0%)、南砂地区 (77.1%)、白河地区 (76.9%) で全体を上回っている。

図表Ⅳ－2 水辺と緑に対する満足度 (地区別)

	n	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である	わからない
全 体	1,280	29.8	45.2	14.2	5.3	1.8	3.7
白河	117	31.6	45.3	12.0	5.1	0.9	5.1
小松橋	94	34.0	46.8	14.9	1.1	1.1	2.1
富岡	91	36.3	46.2	12.1	2.2	1.1	2.2
東陽	101	36.6	43.6	13.9	3.0	0.0	3.0
豊洲	242	39.3	39.7	11.2	5.4	2.1	2.5
亀戸	152	15.8	42.1	27.0	6.6	2.6	5.9
大島	171	23.4	49.1	14.0	7.0	1.8	4.7
砂町	186	24.7	48.9	14.5	5.4	3.2	3.2
南砂	118	30.5	46.6	8.5	9.3	1.7	3.4
居住地区不詳	8	25.0	62.5	0.0	0.0	0.0	12.5

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『満足している（計）』の割合は、女性（76.8%）の方が男性（72.2%）より4.6ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『満足している（計）』の割合は、男性では25～34歳、45～54歳、60～69歳、75歳以上で男性全体を上回っている。女性では18～19歳、25～29歳、35～39歳、50～54歳、60～64歳、75歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－3 水辺と緑に対する満足度（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	満足している	どちらかといえ ば満足している	どちらとも いえない	どちらかといえ ば不満である	不満である	わからない
全 体	550	28.7	43.5	13.6	8.0	2.7	3.5
18～19歳	3	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
20～24歳	21	33.3	38.1	14.3	4.8	0.0	9.5
25～29歳	24	33.3	50.0	8.3	0.0	4.2	4.2
30～34歳	29	31.0	44.8	0.0	17.2	6.9	0.0
35～39歳	38	23.7	39.5	18.4	7.9	2.6	7.9
40～44歳	37	27.0	35.1	13.5	16.2	5.4	2.7
45～49歳	48	35.4	37.5	10.4	6.3	6.3	4.2
50～54歳	51	33.3	49.0	11.8	5.9	0.0	0.0
55～59歳	65	24.6	46.2	16.9	4.6	4.6	3.1
60～64歳	36	27.8	50.0	8.3	5.6	2.8	5.6
65～69歳	44	20.5	52.3	13.6	9.1	2.3	2.3
70～74歳	57	29.8	38.6	15.8	12.3	1.8	1.8
75歳以上	95	30.5	43.2	17.9	6.3	0.0	2.1
年齢不詳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

<女 性>

(%)

	n	満足している	どちらかといえ ば満足している	どちらとも いえない	どちらかといえ ば不満である	不満である	わからない
全 体	685	30.7	46.1	14.9	3.5	1.0	3.8
18～19歳	4	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	20	45.0	25.0	15.0	0.0	0.0	15.0
25～29歳	33	36.4	51.5	6.1	6.1	0.0	0.0
30～34歳	40	32.5	35.0	20.0	2.5	2.5	7.5
35～39歳	53	35.8	47.2	3.8	5.7	3.8	3.8
40～44歳	62	19.4	56.5	17.7	1.6	1.6	3.2
45～49歳	70	31.4	44.3	17.1	2.9	0.0	4.3
50～54歳	84	29.8	51.2	10.7	2.4	1.2	4.8
55～59歳	66	18.2	51.5	16.7	4.5	3.0	6.1
60～64歳	34	32.4	47.1	17.6	2.9	0.0	0.0
65～69歳	58	24.1	51.7	15.5	6.9	0.0	1.7
70～74歳	59	28.8	44.1	23.7	1.7	0.0	1.7
75歳以上	101	41.6	36.6	14.9	4.0	0.0	3.0
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

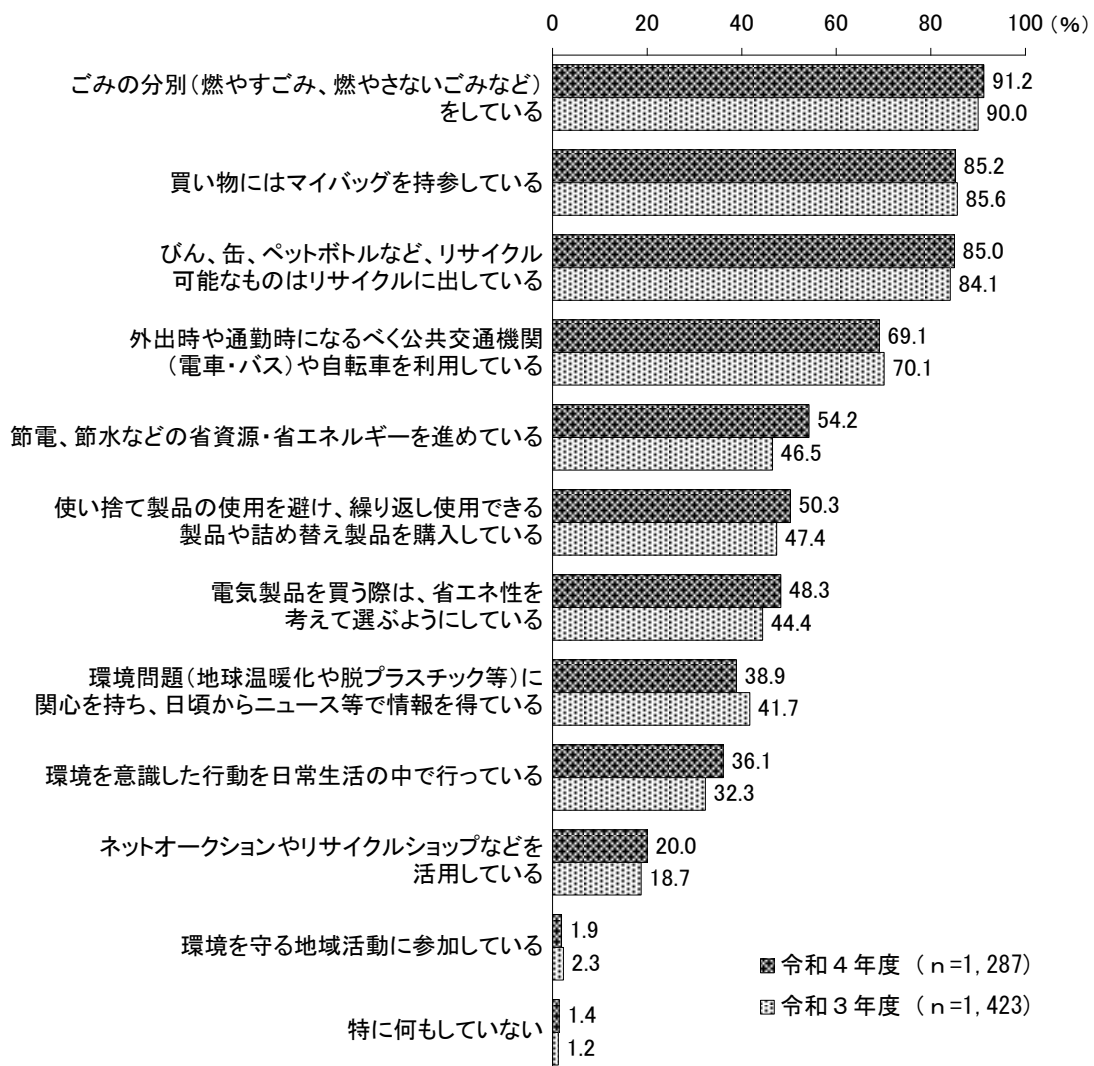
【地球温暖化対策と環境保全】

問2 あなたは、以下のような環境に配慮した行動に取り組んでいますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

＜全体／経年比較＞

- ・「ごみの分別（燃やすごみ、燃やさないごみなど）をしている」が91.2%で最も高く、次いで「買い物にはマイバッグを持参している」（85.2%）、「びん、缶、ペットボトルなど、リサイクル可能なものはリサイクルに出している」（85.0%）となっている。
- ・前回調査と比較すると、「節電、節水などの省資源・省エネルギーを進めている」が7.7ポイント増加している。

図表Ⅳ－4 環境に配慮した行動



① 地区別

- ・地区別では、すべての地区で1位は「ごみの分別（燃やすごみ、燃やさないごみなど）をしている」となっている。

図表Ⅳ－５ 環境に配慮した行動（地区別）

(%)

	n	環境を 意識した行動 を日常生活の中 で行っている	外出時 や通勤 時になるべく 公共交通機関 (電車・バス) や自転車を利用 している	節電、 節水などの省 資源・省エネ を進めている	電気製 品を買う際 は、省エネ性 を考えて選ぶ ようしている	使い捨て 製品の使用 を避け、繰 り返し使用で きる製品や詰 め替え製品を 購入している	ネット オーク ション やリサ イクル ショップ などを 活用している	ごみの 分別 (燃やすご み、燃や さないご みなど)を している	びん、 缶、 ペット ボトル など、 リサイ クル可 能なも のはリ サイクル に出 している	買い物 には マイ バッグ を持参 している	環境問 題(地球 温暖化 や脱プ ラスチック 等)に関 心を持 ち、日頃 から ニュース 等で情 報を得 ている	環境を 守る 地域 活動に 参加 している	特に 何も して いない
全 体	1,287	36.1	69.1	54.2	48.3	50.3	20.0	91.2	85.0	85.2	38.9	1.9	1.4
白河	118	37.3	67.8	51.7	44.9	47.5	21.2	89.0	84.7	85.6	37.3	1.7	2.5
小松橋	94	39.4	70.2	62.8	45.7	48.9	18.1	93.6	86.2	81.9	34.0	3.2	0.0
富岡	92	45.7	73.9	56.5	52.2	54.3	23.9	93.5	87.0	83.7	42.4	2.2	0.0
東陽	101	28.7	71.3	58.4	44.6	48.5	18.8	91.1	77.2	85.1	33.7	0.0	3.0
豊洲	245	36.7	64.5	49.8	51.8	51.0	22.4	91.0	85.3	82.9	37.6	2.9	2.0
亀戸	152	27.6	69.7	52.0	43.4	49.3	17.1	92.1	84.2	87.5	35.5	2.0	1.3
大島	172	35.5	64.0	54.1	43.6	47.1	18.6	89.5	84.3	85.5	43.0	2.3	0.6
砂町	187	40.6	72.2	58.8	52.9	58.3	19.3	91.4	88.2	87.7	42.8	1.6	1.6
南砂	118	34.7	72.9	50.8	52.5	45.8	21.2	91.5	84.7	87.3	41.5	0.8	0.8
居住地区不詳	8	37.5	100.0	37.5	50.0	37.5	12.5	87.5	100.0	62.5	25.0	0.0	0.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、ほとんどの項目において、割合は女性の方が男性よりポイントが高くなっている。男性では「ごみの分別（燃やすごみ、燃やさないごみなど）をしている」が1位となっている。女性では「買い物にはマイバッグを持参している」が1位となっている。
- ・年齢別にみると、男性では「ごみの分別（燃やすごみ、燃やさないごみなど）をしている」の割合は、18～19歳、40～44歳、50～54歳、60歳以上で男性全体を上回っている。女性では「買い物にはマイバッグを持参している」の割合は、30～34歳、40～44歳、50～59歳、70～74歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－6 環境に配慮した行動（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	環境を 意識した行動 を日常生活 で行っている	外出時 や通勤 時になるべく 公共交通機関 (電車・バス) や自転車を利用 している	節電、 節水などの省 資源・省エネ を進めている	電気製 品を買う際 は、省エネ 性を考えて選 ぶようしている	使い捨て 製品の使 用を避け、繰 り返し使用で きる製品や詰 め替え製品を 購入している	ネット オーク ション やリサイ クルショッ プなどを活用 している	ごみの 分別(燃や すごみ、燃 やさないご みなど)をし ている	びん、 缶、ペ ットボ トルな ど、リ サイク ル可能 なもの はリサ イクル に出 して いる	買い物 には マイ バッ グを持 参し て いる	環境問 題(地球 温暖化 や脱ブ ラステ ック等) に関心 を持ち、 日頃から ニュース 等で情 報を得 ている	環境を 守る地 域活動 に参加 してい る	特に 何も して ない
全 体	553	35.6	62.9	49.5	44.7	41.8	17.7	90.1	82.5	76.1	37.6	2.0	2.2
18～19歳	3	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	66.7	0.0	0.0
20～24歳	21	28.6	76.2	33.3	28.6	23.8	28.6	76.2	57.1	42.9	23.8	0.0	4.8
25～29歳	24	16.7	70.8	37.5	16.7	29.2	20.8	87.5	70.8	62.5	33.3	0.0	8.3
30～34歳	29	31.0	69.0	44.8	37.9	58.6	34.5	86.2	72.4	75.9	24.1	0.0	0.0
35～39歳	38	23.7	57.9	26.3	28.9	34.2	26.3	81.6	76.3	76.3	13.2	5.3	2.6
40～44歳	37	32.4	59.5	40.5	48.6	45.9	18.9	91.9	81.1	67.6	29.7	2.7	2.7
45～49歳	48	35.4	62.5	45.8	47.9	43.8	27.1	89.6	77.1	85.4	25.0	0.0	2.1
50～54歳	51	41.2	54.9	49.0	54.9	56.9	21.6	90.2	90.2	78.4	43.1	7.8	0.0
55～59歳	66	47.0	60.6	48.5	51.5	40.9	25.8	86.4	90.9	90.9	42.4	0.0	0.0
60～64歳	37	35.1	56.8	73.0	54.1	45.9	5.4	91.9	91.9	62.2	37.8	0.0	2.7
65～69歳	44	34.1	65.9	54.5	52.3	47.7	9.1	93.2	86.4	84.1	43.2	2.3	2.3
70～74歳	57	40.4	63.2	57.9	45.6	45.6	15.8	93.0	75.4	75.4	50.9	1.8	5.3
75歳以上	96	37.5	66.7	56.3	44.8	32.3	4.2	96.9	87.5	75.0	47.9	2.1	1.0
年齢不詳	2	50.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0

<女 性>

(%)

	n	環境を 意識した行動 を日常生活 で行っている	外出時 や通勤 時になるべく 公共交通機関 (電車・バス) や自転車を利用 している	節電、 節水などの省 資源・省エネ を進めている	電気製 品を買う際 は、省エネ 性を考えて選 ぶようしている	使い捨て 製品の使 用を避け、繰 り返し使用で きる製品や詰 め替え製品を 購入している	ネット オーク ション やリサイ クルショッ プなどを活用 している	ごみの 分別(燃や すごみ、燃 やさないご みなど)をし ている	びん、 缶、ペ ットボ トルな ど、リ サイク ル可能 なもの はリサ イクル に出 して いる	買い物 には マイ バッ グを持 参し て いる	環境問 題(地球 温暖化 や脱ブ ラステ ック等) に関心 を持ち、 日頃から ニュース 等で情 報を得 ている	環境を 守る地 域活動 に参加 してい る	特に 何も して ない
全 体	688	36.0	73.3	57.1	50.9	56.5	22.1	92.2	86.3	92.3	38.8	1.6	0.9
18～19歳	4	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	50.0	75.0	75.0	75.0	25.0	0.0	25.0
20～24歳	20	25.0	75.0	30.0	15.0	60.0	40.0	65.0	35.0	75.0	5.0	0.0	5.0
25～29歳	33	33.3	57.6	51.5	21.2	39.4	30.3	75.8	66.7	81.8	27.3	3.0	3.0
30～34歳	40	37.5	70.0	45.0	32.5	42.5	27.5	85.0	67.5	92.5	22.5	0.0	0.0
35～39歳	53	32.1	69.8	47.2	45.3	54.7	22.6	86.8	84.9	90.6	28.3	0.0	0.0
40～44歳	62	30.6	75.8	46.8	48.4	50.0	35.5	90.3	85.5	98.4	25.8	0.0	0.0
45～49歳	70	41.4	72.9	58.6	61.4	51.4	28.6	97.1	92.9	90.0	37.1	4.3	1.4
50～54歳	84	38.1	75.0	63.1	50.0	61.9	26.2	95.2	91.7	96.4	35.7	0.0	0.0
55～59歳	66	39.4	71.2	72.7	63.6	63.6	34.8	98.5	92.4	97.0	48.5	1.5	0.0
60～64歳	36	41.7	69.4	75.0	58.3	61.1	11.1	91.7	94.4	91.7	50.0	0.0	0.0
65～69歳	58	29.3	72.4	56.9	69.0	60.3	12.1	96.6	96.6	89.7	44.8	1.7	1.7
70～74歳	60	26.7	81.7	43.3	55.0	63.3	8.3	96.7	88.3	96.7	38.3	5.0	0.0
75歳以上	101	44.6	77.2	67.3	51.5	60.4	5.9	95.0	89.1	91.1	60.4	2.0	1.0
年齢不詳	1	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0

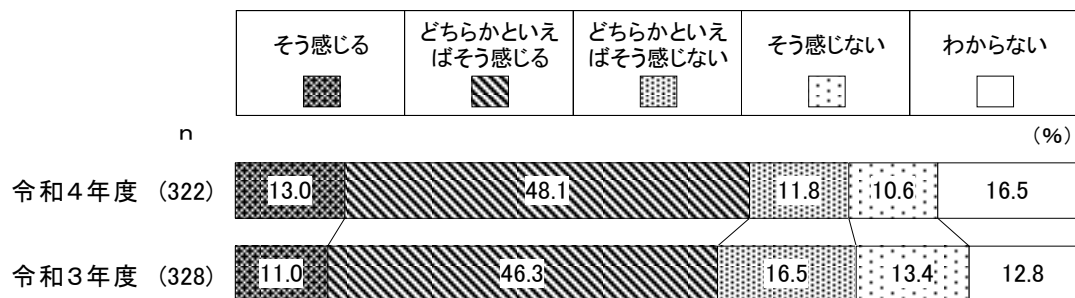
【みんなで取り組む子育て家庭への支援】

問3 中学生以下のお子さんがある保護者の方におたずねします。
あなたは、地域に見守られて子育てしていると感じますか。あてはまるものを選び
○印をおつけください。(○は1つ)

＜全体／経年比較＞

- ・「どちらかといえばそう感じる」が48.1%で最も高く、次いで「わからない」(16.5%)となっている。
- ・「そう感じる」(13.0%)と「どちらかといえばそう感じる」(48.1%)を合わせた『そう感じる(計)』の割合は61.1%となっている。
- ・前回調査と比較すると、『そう感じる(計)』が3.8ポイント増加している。

図表Ⅳ－7 地域に見守られた子育てに対する評価



問３－１ 問３で「３．どちらかといえばそう感じない」「４．そう感じない」を選んだ方におたずねします。
地域に見守られて子育てしていると感じない理由について、自由にご記入ください。

- ・問３の質問において「どちらかといえばそう感じない」または「そう感じない」と回答された方に、その（地域に見守られて子育てしていると感じない）理由を自由記述でたずねたところ、67人から延べ75件の回答をいただいた。
- ・回答を分類した結果、「近所付き合い等、地域での接点がない」が27件で最も多く、次いで「実体験がないなど、具体的に思い当たらない」（15件）、「子育て支援に関する情報やサービスが不足していたり、利用しにくい」（11件）となっている。
- ・最も多かった「近所付き合い等、地域での接点がない」の具体的な内容をみると、「地域や近所との付き合いがほとんどない」といった意見がみられた。

図表Ⅳ－８ 地域に見守られて子育てしていると感じない理由

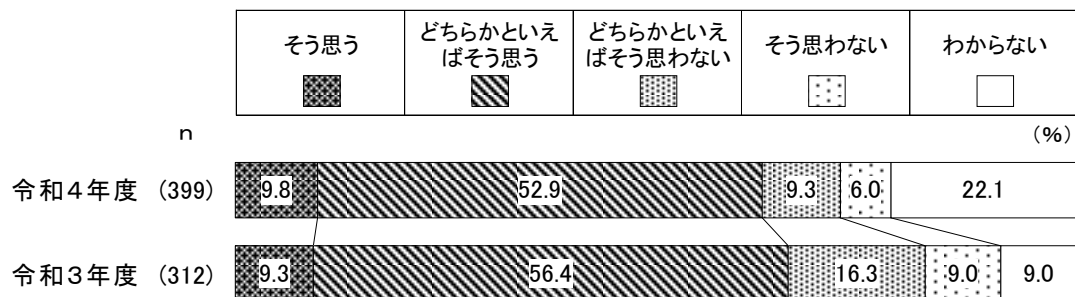
近所付き合い等、地域での接点がない	27件
実体験がないなど、具体的に思い当たらない	15件
子育て支援に関する情報やサービスが不足していたり、利用しにくい	11件
子育てやこどもに対する職場や地域の理解、配慮が乏しい	6件
防犯・安全面での不安	6件
コロナ禍の影響で交流ができない	2件
定義がわからない	1件
その他	7件

問4 中学生以下のお子さんがある保護者の方におたずねします。
あなたは、必要な子育て情報を入手しやすいと思いますか。あてはまるものを選び
○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「どちらかといえばそう思う」が52.9%で最も高く、次いで「わからない」(22.1%)となっている。
- ・「そう思う」(9.8%)と「どちらかといえばそう思う」(52.9%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は62.7%となっている。
- ・前回調査と比較すると、「わからない」が13.1ポイント増加している。

図表Ⅳ－9 子育て情報の入手の容易さ



問４－１ 問４で「３．どちらかといえばそう思わない」「４．そう思わない」を選んだ方におたずねします。
必要な子育て情報を入手しやすいと思わない理由について、自由にご記入ください。

- ・問４の質問において「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答された方に、その（必要な子育て情報を入手しやすいと思わない）理由を自由記述でたずねたところ、47人から延べ49件の回答をいただいた。
- ・回答を分類した結果、「区の情報発信が不足している」が13件で最も多く、次いで「区の情報がわかりにくい」（12件）となっている。
- ・最も多かった「区の情報発信が不足している」の具体的な内容をみると、「自治体からの情報発信が少ない」、「必要な情報が少なすぎる」といった意見がみられた。

図表Ⅳ－10 必要な子育て情報を入手しやすいと思わない理由

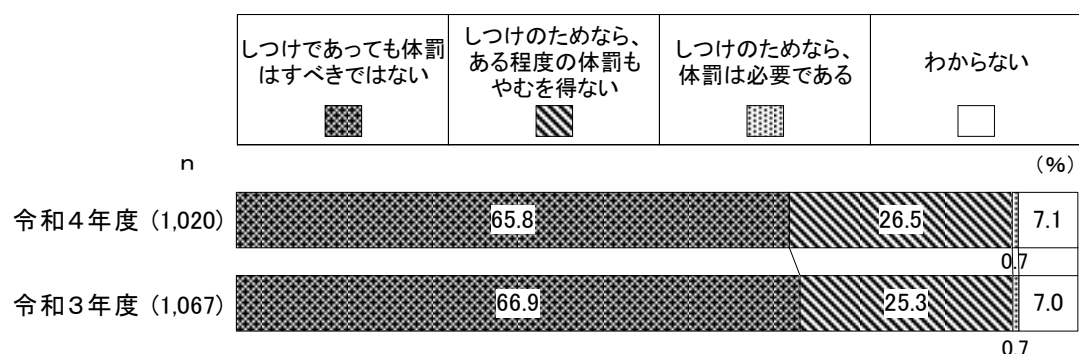
区の情報発信が不足している	13件
区の情報がわかりにくい	12件
情報の入手方法がわからない	8件
必要な情報が受動的だと届かない	8件
その他	8件

問5 こどものしつけと体罰の考え方についてうかがいます。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

＜全体／経年比較＞

- ・「しつけであっても体罰はすべきではない」が65.8%で最も高く、次いで「しつけのためなら、ある程度の体罰もやむを得ない」(26.5%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－11 しつけと体罰の認識



① 地区別

- ・地区別では、「しつけであっても体罰はすべきではない」の割合は、富岡地区 (73.3%)、砂町地区 (70.4%)、大島地区 (69.4%)、東陽地区 (67.1%)、小松橋地区 (66.7%)、豊洲地区 (66.2%) で全体を上回っている。

図表Ⅳ－12 しつけと体罰の認識 (地区別)

	n	しつけであっても体罰はすべきではない	しつけのためなら、ある程度の体罰もやむを得ない	しつけのためなら、体罰は必要である	わからない
全 体	1,020	65.8	26.5	0.7	7.1
白河	95	58.9	31.6	0.0	9.5
小松橋	72	66.7	31.9	0.0	1.4
富岡	75	73.3	18.7	0.0	8.0
東陽	85	67.1	27.1	1.2	4.7
豊洲	204	66.2	25.0	2.0	6.9
亀戸	123	60.2	30.9	0.0	8.9
大島	134	69.4	21.6	0.0	9.0
砂町	135	70.4	23.0	0.7	5.9
南砂	90	60.0	32.2	1.1	6.7
居住地区不詳	7	57.1	28.6	0.0	14.3

② 性年齢別

- ・男女別にみると、「しつけであっても体罰はすべきではない」の割合は、女性（69.4％）の方が男性（61.2％）より8.2ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、「しつけであっても体罰はすべきではない」の割合は、男性では18～34歳、40～49歳、55～59歳で男性全体を上回っている。女性では18～24歳、30～44歳、50～54歳、70～74歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－13 しつけと体罰の認識（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	しつけであっても 体罰はすべきでは ない	しつけのためなら、 ある程度の体罰も やむを得ない	しつけのためなら、 体罰は必要である	わからない
全 体	449	61.2	30.5	1.3	6.9
18～19歳	3	66.7	0.0	0.0	33.3
20～24歳	17	64.7	23.5	0.0	11.8
25～29歳	23	65.2	26.1	0.0	8.7
30～34歳	27	74.1	14.8	0.0	11.1
35～39歳	36	61.1	33.3	0.0	5.6
40～44歳	36	63.9	30.6	2.8	2.8
45～49歳	46	76.1	19.6	0.0	4.3
50～54歳	47	59.6	38.3	2.1	0.0
55～59歳	58	62.1	27.6	3.4	6.9
60～64歳	29	51.7	41.4	3.4	3.4
65～69歳	38	50.0	42.1	0.0	7.9
70～74歳	36	61.1	27.8	0.0	11.1
75歳以上	52	50.0	36.5	1.9	11.5
年齢不詳	1	100.0	0.0	0.0	0.0

<女 性>

(%)

	n	しつけであっても 体罰はすべきでは ない	しつけのためなら、 ある程度の体罰も やむを得ない	しつけのためなら、 体罰は必要である	わからない
全 体	549	69.4	23.5	0.2	6.9
18～19歳	4	75.0	25.0	0.0	0.0
20～24歳	18	94.4	5.6	0.0	0.0
25～29歳	30	60.0	30.0	0.0	10.0
30～34歳	37	78.4	16.2	0.0	5.4
35～39歳	51	82.4	17.6	0.0	0.0
40～44歳	61	72.1	19.7	0.0	8.2
45～49歳	68	69.1	25.0	0.0	5.9
50～54歳	70	70.0	22.9	0.0	7.1
55～59歳	57	50.9	35.1	0.0	14.0
60～64歳	30	66.7	30.0	0.0	3.3
65～69歳	42	69.0	21.4	0.0	9.5
70～74歳	31	71.0	25.8	0.0	3.2
75歳以上	49	63.3	24.5	2.0	10.2
年齢不詳	1	100.0	0.0	0.0	0.0

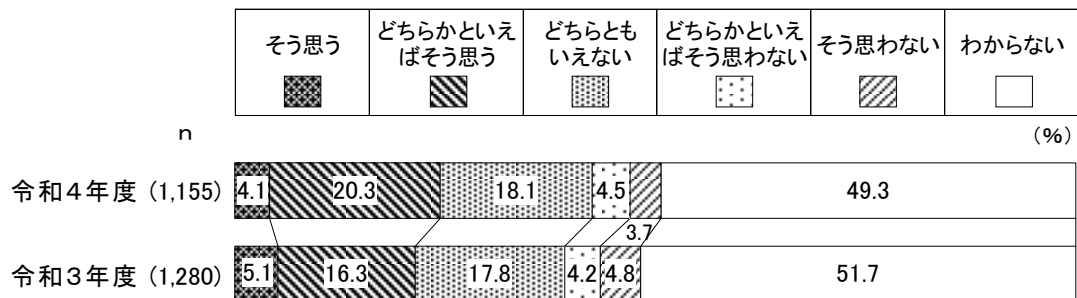
【多様なニーズに応じた教育環境の充実】

問6 江東区では、一人一人を大切にした教育が行われていると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

＜全体／経年比較＞

- ・「わからない」が49.3%で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」(20.3%)となっている。
- ・「そう思う」(4.1%)と「どちらかといえばそう思う」(20.3%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は24.4%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ-14 一人一人を大切にした教育への認知度



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、小松橋地区(30.6%)、南砂地区(28.4%)、豊洲地区(28.3%)、東陽地区(27.2%)、砂町地区(25.1%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-15 一人一人を大切にした教育への認知度(地区別)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	1,155	4.1	20.3	18.1	4.5	3.7	49.3
白河	109	6.4	17.4	11.9	2.8	0.9	60.6
小松橋	85	8.2	22.4	14.1	5.9	0.0	49.4
富岡	82	4.9	13.4	22.0	3.7	2.4	53.7
東陽	92	2.2	25.0	23.9	3.3	3.3	42.4
豊洲	219	3.2	25.1	16.4	3.7	3.2	48.4
亀戸	140	4.3	17.9	19.3	5.7	3.6	49.3
大島	153	1.3	15.7	19.6	4.6	6.5	52.3
砂町	163	5.5	19.6	21.5	4.9	4.3	44.2
南砂	102	2.9	25.5	13.7	6.9	6.9	44.1
居住地区不詳	10	0.0	10.0	20.0	0.0	10.0	60.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～24歳、40～54歳で男性全体を上回っている。女性では18～29歳、45～49歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－16 一人一人を大切にしたい教育への認知度（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	511	4.7	20.4	19.0	5.5	3.5	47.0
18～19歳	3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3
20～24歳	21	4.8	33.3	19.0	4.8	0.0	38.1
25～29歳	24	8.3	8.3	12.5	0.0	4.2	66.7
30～34歳	29	10.3	10.3	24.1	0.0	0.0	55.2
35～39歳	38	2.6	18.4	15.8	7.9	2.6	52.6
40～44歳	37	8.1	29.7	16.2	8.1	5.4	32.4
45～49歳	48	4.2	22.9	22.9	10.4	4.2	35.4
50～54歳	51	2.0	43.1	9.8	7.8	2.0	35.3
55～59歳	65	1.5	18.5	18.5	4.6	3.1	53.8
60～64歳	36	2.8	13.9	19.4	2.8	5.6	55.6
65～69歳	43	4.7	9.3	39.5	7.0	9.3	30.2
70～74歳	45	6.7	13.3	20.0	2.2	4.4	53.3
75歳以上	70	5.7	18.6	14.3	4.3	1.4	55.7
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

<女 性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	612	3.6	20.3	17.3	3.8	3.6	51.5
18～19歳	4	0.0	50.0	0.0	0.0	25.0	25.0
20～24歳	20	5.0	25.0	20.0	15.0	0.0	35.0
25～29歳	32	9.4	21.9	3.1	3.1	3.1	59.4
30～34歳	38	7.9	13.2	15.8	2.6	5.3	55.3
35～39歳	53	1.9	11.3	18.9	0.0	11.3	56.6
40～44歳	61	1.6	19.7	19.7	8.2	3.3	47.5
45～49歳	70	8.6	34.3	17.1	8.6	4.3	27.1
50～54歳	80	1.3	21.3	18.8	3.8	2.5	52.5
55～59歳	62	3.2	16.1	17.7	0.0	0.0	62.9
60～64歳	34	2.9	20.6	17.6	2.9	0.0	55.9
65～69歳	54	0.0	22.2	24.1	1.9	3.7	48.1
70～74歳	43	2.3	20.9	20.9	0.0	4.7	51.2
75歳以上	60	3.3	11.7	11.7	3.3	1.7	68.3
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

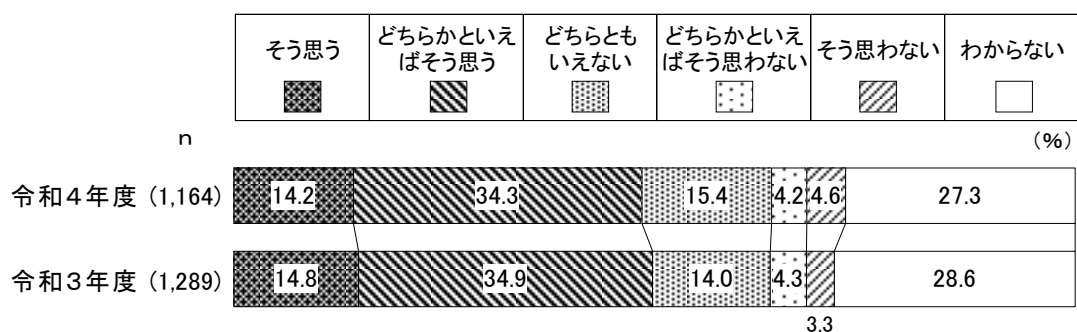
【こどもが安全に過ごせる居場所・環境づくり】

問7 あなたは、行政や地域の活動（こども110番の家、地域でのパトロールなど）が、こどもたちを犯罪や事故から守る地域環境づくりに役立っていると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

＜全体／経年比較＞

- ・「どちらかといえばそう思う」が34.3%で最も高く、次いで「わからない」（27.3%）となっている。
- ・「そう思う」（14.2%）と「どちらかといえばそう思う」（34.3%）を合わせた『そう思う（計）』の割合は48.5%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－17 行政地域の活動がこどもたちの安全な地域環境づくりに役立っているという認識



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う（計）』の割合は、小松橋地区（61.1%）、白河地区（52.7%）、砂町地区（51.5%）、豊洲地区（49.3%）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－18 行政地域の活動がこどもたちの安全な地域環境づくりに役立っているという認識（地区別）

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう 思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう 思わない	そう思わない	わからない
全 体	1,164	14.2	34.3	15.4	4.2	4.6	27.3
白河	108	12.0	40.7	10.2	2.8	0.9	33.3
小松橋	85	23.5	37.6	11.8	5.9	3.5	17.6
富岡	82	11.0	32.9	17.1	2.4	4.9	31.7
東陽	93	11.8	34.4	18.3	6.5	4.3	24.7
豊洲	219	14.6	34.7	12.3	4.1	5.0	29.2
亀戸	140	14.3	32.1	22.1	3.6	5.7	22.1
大島	156	12.2	32.1	14.1	5.1	6.4	30.1
砂町	167	15.6	35.9	13.8	3.6	4.8	26.3
南砂	105	12.4	29.5	21.9	4.8	4.8	26.7
居住地区不詳	9	22.2	22.2	11.1	0.0	0.0	44.4

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～29歳、35～39歳、50～54歳、60～64歳で男性全体を上回っている。女性では18～29歳、35～39歳、45～49歳、55～64歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－19 行政地域の活動が子どもたちの安全な地域環境づくりに役立っているという認識（性年齢別）

＜男 性＞		（％）					
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	513	15.4	34.5	15.4	3.3	5.5	25.9
18～19歳	3	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	21	14.3	47.6	4.8	0.0	4.8	28.6
25～29歳	24	20.8	33.3	12.5	0.0	8.3	25.0
30～34歳	29	20.7	27.6	20.7	0.0	0.0	31.0
35～39歳	38	13.2	42.1	13.2	2.6	2.6	26.3
40～44歳	37	16.2	32.4	18.9	5.4	5.4	21.6
45～49歳	48	16.7	18.8	20.8	8.3	10.4	25.0
50～54歳	51	15.7	47.1	7.8	2.0	3.9	23.5
55～59歳	65	9.2	33.8	15.4	4.6	6.2	30.8
60～64歳	36	16.7	52.8	8.3	0.0	5.6	16.7
65～69歳	42	19.0	26.2	16.7	2.4	9.5	26.2
70～74歳	46	10.9	32.6	23.9	4.3	8.7	19.6
75歳以上	72	18.1	27.8	16.7	4.2	1.4	31.9
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

＜女 性＞		（％）					
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	618	12.9	34.1	15.7	4.5	4.2	28.5
18～19歳	4	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0
20～24歳	20	20.0	35.0	10.0	5.0	0.0	30.0
25～29歳	33	15.2	42.4	15.2	0.0	6.1	21.2
30～34歳	38	7.9	34.2	13.2	2.6	13.2	28.9
35～39歳	53	11.3	39.6	13.2	3.8	5.7	26.4
40～44歳	62	9.7	30.6	19.4	4.8	4.8	30.6
45～49歳	70	14.3	35.7	18.6	8.6	5.7	17.1
50～54歳	80	8.8	37.5	13.8	10.0	6.3	23.8
55～59歳	62	12.9	40.3	12.9	0.0	3.2	30.6
60～64歳	34	11.8	41.2	14.7	2.9	0.0	29.4
65～69歳	55	9.1	30.9	20.0	5.5	3.6	30.9
70～74歳	45	13.3	24.4	22.2	2.2	0.0	37.8
75歳以上	61	21.3	24.6	11.5	3.3	0.0	39.3
年齢不詳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

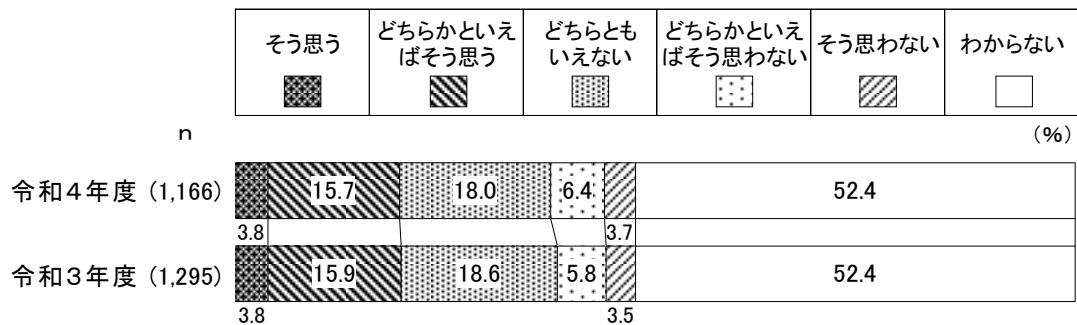
【次代を担う青少年の健全育成の推進】

問8 江東区は、青少年への支援や相談窓口の定着・充実など、青少年が健全に育つ環境が整っていると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

＜全体／経年比較＞

- ・「わからない」が52.4%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(18.0%)となっている。
- ・「そう思う」(3.8%)と「どちらかといえばそう思う」(15.7%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は19.5%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－20 青少年が健全に育つ環境が整備されているという認識



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、小松橋地区(24.7%)、砂町地区(22.1%)、富岡地区(21.0%)、南砂地区(20.0%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－21 青少年が健全に育つ環境が整備されているという認識(地区別)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	1,166	3.8	15.7	18.0	6.4	3.7	52.4
白河	108	3.7	15.7	11.1	2.8	2.8	63.9
小松橋	85	5.9	18.8	17.6	8.2	2.4	47.1
富岡	81	2.5	18.5	19.8	4.9	1.2	53.1
東陽	93	4.3	15.1	19.4	7.5	3.2	50.5
豊洲	220	3.2	15.9	14.1	7.7	4.5	54.5
亀戸	140	5.0	10.7	22.9	6.4	5.0	50.0
大島	156	1.9	14.7	19.9	7.7	7.1	48.7
砂町	168	5.4	16.7	21.4	3.6	2.4	50.6
南砂	105	2.9	17.1	17.1	9.5	1.9	51.4
居住地区不詳	10	0.0	20.0	10.0	0.0	0.0	70.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性（22.7％）の方が女性（16.3％）より6.4ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～34歳、50～64歳で男性全体を上回っている。女性では18～34歳、45～49歳、75歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－22 青少年が健全に育つ環境が整備されているという認識（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	513	5.7	17.0	18.3	5.7	4.5	48.9
18～19歳	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7
20～24歳	21	4.8	19.0	14.3	0.0	0.0	61.9
25～29歳	24	12.5	12.5	20.8	0.0	4.2	50.0
30～34歳	29	10.3	13.8	20.7	6.9	3.4	44.8
35～39歳	38	7.9	5.3	18.4	0.0	5.3	63.2
40～44歳	37	2.7	18.9	13.5	10.8	5.4	48.6
45～49歳	48	8.3	8.3	20.8	8.3	2.1	52.1
50～54歳	51	3.9	37.3	9.8	7.8	2.0	39.2
55～59歳	65	3.1	20.0	10.8	10.8	4.6	50.8
60～64歳	36	5.6	22.2	19.4	0.0	2.8	50.0
65～69歳	42	0.0	14.3	26.2	9.5	7.1	42.9
70～74歳	47	6.4	12.8	23.4	2.1	6.4	48.9
75歳以上	71	7.0	14.1	23.9	4.2	7.0	43.7
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

<女 性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	617	2.4	13.9	18.3	6.6	3.2	55.4
18～19歳	4	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	50.0
20～24歳	20	10.0	20.0	10.0	5.0	10.0	45.0
25～29歳	33	6.1	21.2	9.1	9.1	0.0	54.5
30～34歳	38	2.6	18.4	7.9	5.3	5.3	60.5
35～39歳	53	0.0	13.2	15.1	11.3	5.7	54.7
40～44歳	62	3.2	8.1	21.0	6.5	3.2	58.1
45～49歳	70	0.0	21.4	14.3	11.4	7.1	45.7
50～54歳	80	2.5	13.8	17.5	7.5	1.3	57.5
55～59歳	62	0.0	9.7	22.6	6.5	1.6	59.7
60～64歳	34	2.9	8.8	17.6	2.9	0.0	67.6
65～69歳	54	0.0	13.0	29.6	7.4	5.6	44.4
70～74歳	45	4.4	4.4	26.7	2.2	2.2	60.0
75歳以上	61	3.3	18.0	19.7	0.0	0.0	59.0
年齢不詳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

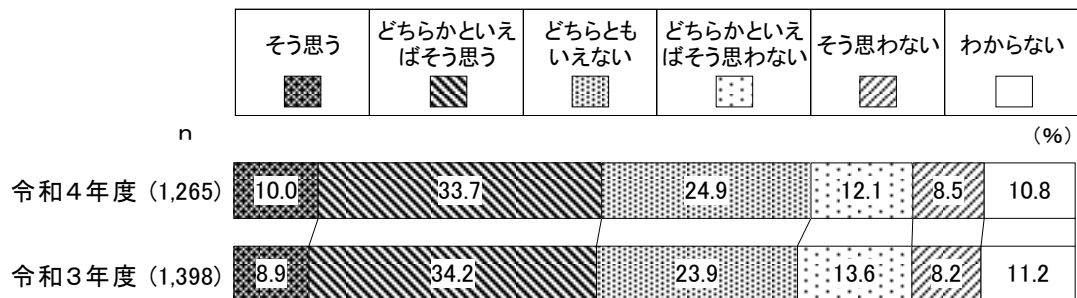
【魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成】

問9 あなたは、区内の企業やお店が元気に活動していると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

＜全体／経年比較＞

- ・「どちらかといえばそう思う」が33.7%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(24.9%)となっている。
- ・「そう思う」(10.0%)と「どちらかといえばそう思う」(33.7%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は43.7%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ-23 区内の産業やお店が元気に活動している認識



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、東陽地区(57.1%)、豊洲地区(53.6%)、富岡地区(52.2%)、白河地区(45.2%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-24 区内の産業やお店が元気に活動している認識(地区別)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	1,265	10.0	33.7	24.9	12.1	8.5	10.8
白河	115	7.8	37.4	27.0	7.8	10.4	9.6
小松橋	92	8.7	32.6	19.6	21.7	9.8	7.6
富岡	92	15.2	37.0	21.7	7.6	8.7	9.8
東陽	98	16.3	40.8	19.4	6.1	7.1	10.2
豊洲	239	13.4	40.2	20.1	8.4	6.3	11.7
亀戸	147	4.8	29.9	33.3	13.6	6.1	12.2
大島	168	5.4	29.8	29.8	10.1	9.5	15.5
砂町	184	11.4	26.1	25.5	17.9	10.3	8.7
南砂	117	6.8	32.5	25.6	17.1	10.3	7.7
居住地区不詳	13	23.1	23.1	23.1	7.7	7.7	15.4

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～54歳で男性全体を上回っている。女性では18～39歳、45～59歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－25 区内の産業やお店が元気に活動している認識（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	544	10.5	34.7	23.9	11.9	9.2	9.7
18～19歳	3	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
20～24歳	21	9.5	57.1	4.8	9.5	9.5	9.5
25～29歳	24	20.8	37.5	16.7	8.3	12.5	4.2
30～34歳	29	17.2	44.8	24.1	13.8	0.0	0.0
35～39歳	38	7.9	39.5	26.3	7.9	0.0	18.4
40～44歳	37	8.1	51.4	13.5	10.8	5.4	10.8
45～49歳	48	12.5	47.9	16.7	10.4	8.3	4.2
50～54歳	51	13.7	43.1	31.4	3.9	5.9	2.0
55～59歳	66	12.1	27.3	27.3	13.6	13.6	6.1
60～64歳	37	5.4	27.0	27.0	16.2	8.1	16.2
65～69歳	44	2.3	20.5	38.6	15.9	9.1	13.6
70～74歳	55	5.5	29.1	20.0	14.5	12.7	18.2
75歳以上	89	11.2	24.7	25.8	13.5	13.5	11.2
年齢不詳	2	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0

<女 性>

(%)

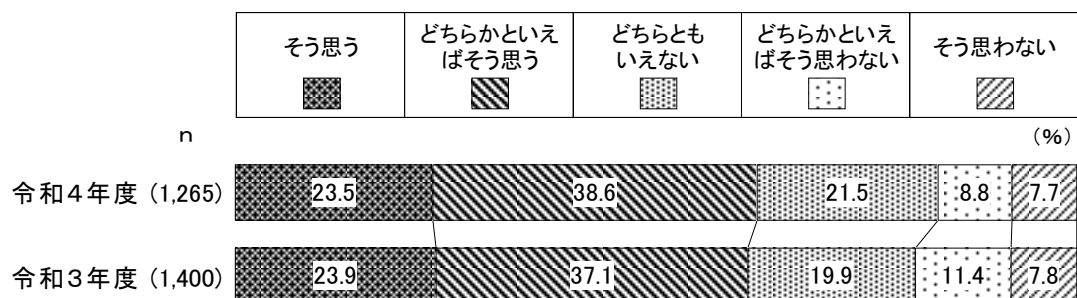
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	672	9.1	33.6	25.7	12.1	7.9	11.6
18～19歳	4	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	20	30.0	45.0	10.0	0.0	10.0	5.0
25～29歳	33	12.1	36.4	18.2	18.2	6.1	9.1
30～34歳	39	12.8	41.0	15.4	5.1	7.7	17.9
35～39歳	53	7.5	35.8	18.9	18.9	7.5	11.3
40～44歳	62	4.8	37.1	30.6	6.5	8.1	12.9
45～49歳	70	8.6	34.3	27.1	12.9	7.1	10.0
50～54歳	82	11.0	39.0	24.4	8.5	8.5	8.5
55～59歳	65	1.5	44.6	30.8	12.3	1.5	9.2
60～64歳	36	5.6	13.9	33.3	22.2	11.1	13.9
65～69歳	57	7.0	24.6	29.8	14.0	10.5	14.0
70～74歳	55	5.5	34.5	23.6	18.2	7.3	10.9
75歳以上	95	10.5	25.3	30.5	8.4	10.5	14.7
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

問10 あなたは、魅力のある商店街やお店が区内にあると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「どちらかといえばそう思う」が38.6%で最も高く、次いで「そう思う」(23.5%)となっている。
- ・これらを合わせた『そう思う(計)』の割合は62.1%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－26 魅力ある商店街やお店があると思う区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、富岡地区(68.5%)、南砂地区(67.5%)、東陽地区(67.4%)、砂町地区(63.8%)、豊洲地区(63.2%)、白河地区(62.7%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－27 魅力ある商店街やお店があると思う区民の割合(地区別)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
全 体	1,265	23.5	38.6	21.5	8.8	7.7
白河	115	27.0	35.7	22.6	7.0	7.8
小松橋	92	17.4	30.4	26.1	14.1	12.0
富岡	92	23.9	44.6	18.5	9.8	3.3
東陽	98	27.6	39.8	18.4	7.1	7.1
豊洲	239	27.6	35.6	21.8	8.4	6.7
亀戸	145	20.0	37.9	19.3	10.3	12.4
大島	169	17.2	42.0	25.4	7.7	7.7
砂町	185	26.5	37.3	21.6	7.0	7.6
南砂	117	20.5	47.0	17.1	10.3	5.1
居住地区不詳	13	30.8	30.8	30.8	7.7	0.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合は、女性（63.6％）の方が男性（60.4％）より3.2ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～54歳で男性全体を上回っている。女性では18～49歳、55～59歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－28 魅力ある商店街やお店があると思う区民の割合（性年齢別）

＜男 性＞		（％）				
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
全 体	545	24.4	36.0	21.8	10.1	7.7
18～19歳	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
20～24歳	21	33.3	33.3	19.0	4.8	9.5
25～29歳	24	41.7	37.5	4.2	8.3	8.3
30～34歳	29	44.8	34.5	17.2	3.4	0.0
35～39歳	38	39.5	28.9	15.8	10.5	5.3
40～44歳	37	27.0	37.8	13.5	16.2	5.4
45～49歳	48	16.7	43.8	20.8	12.5	6.3
50～54歳	51	33.3	39.2	19.6	5.9	2.0
55～59歳	66	21.2	37.9	16.7	13.6	10.6
60～64歳	37	10.8	35.1	37.8	10.8	5.4
65～69歳	44	4.5	52.3	34.1	2.3	6.8
70～74歳	55	21.8	27.3	27.3	14.5	9.1
75歳以上	90	21.1	27.8	25.6	11.1	14.4
年齢不詳	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

＜女 性＞		（％）				
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
全 体	671	22.2	41.4	21.5	7.5	7.5
18～19歳	4	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	20	50.0	35.0	5.0	0.0	10.0
25～29歳	33	36.4	48.5	9.1	3.0	3.0
30～34歳	39	23.1	51.3	10.3	10.3	5.1
35～39歳	53	24.5	39.6	15.1	13.2	7.5
40～44歳	62	27.4	46.8	14.5	8.1	3.2
45～49歳	70	22.9	44.3	20.0	8.6	4.3
50～54歳	82	19.5	42.7	25.6	4.9	7.3
55～59歳	65	18.5	47.7	21.5	7.7	4.6
60～64歳	36	19.4	30.6	30.6	5.6	13.9
65～69歳	57	10.5	50.9	21.1	7.0	10.5
70～74歳	55	9.1	38.2	34.5	10.9	7.3
75歳以上	94	23.4	27.7	29.8	6.4	12.8
年齢不詳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

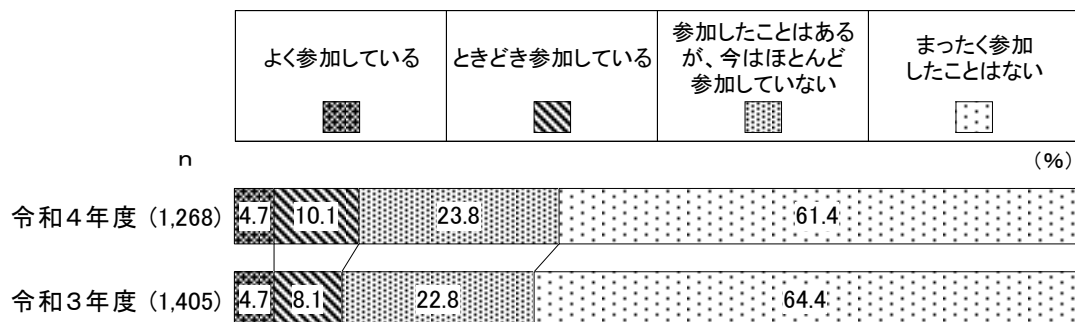
【人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化】

問11 町会・自治会、NP0、ボランティアなどが日頃より様々な地域活動を主催しています。この一年間、あなたはこれらの地域活動に参加したことがありますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

＜全体／経年比較＞

- ・「まったく参加したことはない」が61.4%で最も高く、次いで「参加したことはあるが、今はほとんど参加していない」（23.8%）となっている。
- ・「よく参加している」（4.7%）と「ときどき参加している」（10.1%）を合わせた『参加している（計）』の割合は14.8%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－29 地域活動に参加したことがある区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、『参加している（計）』の割合は、小松橋地区（22.8%）、白河地区（18.3%）、東陽地区（15.3%）、亀戸地区（14.9%）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－30 地域活動に参加したことがある区民の割合（地区別）

	n	よく参加している	ときどき参加している	参加したことはあるが、今はほとんど参加していない	まったく参加したことはない
全 体	1,268	4.7	10.1	23.8	61.4
白河	115	7.0	11.3	24.3	57.4
小松橋	92	9.8	13.0	17.4	59.8
富岡	92	3.3	10.9	22.8	63.0
東陽	98	3.1	12.2	20.4	64.3
豊洲	240	4.2	7.9	21.7	66.3
亀戸	147	5.4	9.5	17.7	67.3
大島	170	2.9	8.8	30.6	57.6
砂町	185	4.3	9.7	29.7	56.2
南砂	117	3.4	11.1	25.6	59.8
居住地区不詳	12	8.3	16.7	16.7	58.3

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『参加している（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『参加している（計）』の割合は、男性では50～54歳、60～64歳、70歳以上で男性全体を上回っている。女性では40～49歳、70歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－31 地域活動に参加したことがある区民の割合（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	よく参加している	ときどき参加している	参加したことはあるが、今はほとんど参加していない	まったく参加したことはない
全 体	547	4.8	9.5	21.4	64.4
18～19歳	3	0.0	0.0	0.0	100.0
20～24歳	21	0.0	0.0	28.6	71.4
25～29歳	24	0.0	8.3	4.2	87.5
30～34歳	29	0.0	10.3	17.2	72.4
35～39歳	38	0.0	2.6	2.6	94.7
40～44歳	37	2.7	10.8	16.2	70.3
45～49歳	48	2.1	8.3	20.8	68.8
50～54歳	51	9.8	11.8	31.4	47.1
55～59歳	66	3.0	7.6	19.7	69.7
60～64歳	37	2.7	16.2	27.0	54.1
65～69歳	44	4.5	9.1	27.3	59.1
70～74歳	55	10.9	14.5	21.8	52.7
75歳以上	92	8.7	9.8	27.2	54.3
年齢不詳	2	0.0	0.0	0.0	100.0

<女 性>

(%)

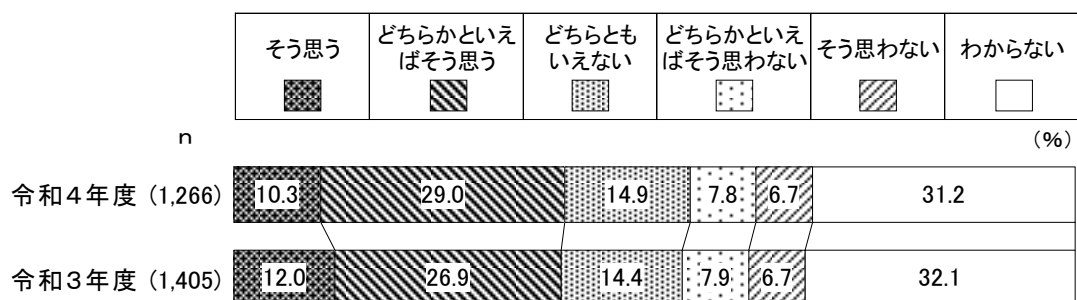
	n	よく参加している	ときどき参加している	参加したことはあるが、今はほとんど参加していない	まったく参加したことはない
全 体	672	4.2	10.1	25.7	60.0
18～19歳	4	0.0	0.0	25.0	75.0
20～24歳	20	0.0	0.0	30.0	70.0
25～29歳	33	0.0	6.1	15.2	78.8
30～34歳	39	0.0	5.1	12.8	82.1
35～39歳	53	1.9	11.3	11.3	75.5
40～44歳	62	4.8	9.7	17.7	67.7
45～49歳	70	5.7	17.1	22.9	54.3
50～54歳	82	1.2	9.8	22.0	67.1
55～59歳	65	1.5	1.5	40.0	56.9
60～64歳	36	8.3	5.6	33.3	52.8
65～69歳	57	3.5	10.5	40.4	45.6
70～74歳	56	5.4	19.6	23.2	51.8
75歳以上	94	10.6	12.8	33.0	43.6
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	100.0

問12 江東区には、気軽に利用できる地域活動施設があると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「わからない」が31.2%で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」(29.0%)となっている。
- ・「そう思う」(10.3%)と「どちらかといえばそう思う」(29.0%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は39.3%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－32 気軽に利用できる地域活動施設があると思う区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、小松橋地区(46.7%)、富岡地区(45.6%)、白河地区(45.2%)、東陽地区(43.8%)、南砂地区(41.6%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－33 気軽に利用できる地域活動施設があると思う区民の割合(地区別)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう 思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう 思わない	そう思わない	わからない
全 体	1,266	10.3	29.0	14.9	7.8	6.7	31.2
白河	115	14.8	30.4	10.4	5.2	7.0	32.2
小松橋	92	13.0	33.7	17.4	7.6	3.3	25.0
富岡	92	6.5	39.1	15.2	6.5	5.4	27.2
東陽	98	12.2	31.6	15.3	4.1	7.1	29.6
豊洲	239	8.8	30.5	12.6	7.9	7.5	32.6
亀戸	145	6.2	25.5	13.1	13.8	7.6	33.8
大島	170	6.5	26.5	14.7	7.6	8.2	36.5
砂町	185	15.7	22.2	18.9	8.1	5.4	29.7
南砂	118	10.2	31.4	15.3	7.6	7.6	28.0
居住地区不詳	12	16.7	8.3	41.7	0.0	0.0	33.3

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性（41.6％）の方が女性（37.6％）より4.0ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～54歳、60～64歳で男性全体を上回っている。女性では18～49歳、65～69歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－34 気軽に利用できる地域活動施設があると思う区民の割合（性年齢別）

＜男 性＞		（％）					
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	545	11.0	30.6	14.3	9.2	6.1	28.8
18～19歳	3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	21	9.5	38.1	4.8	4.8	9.5	33.3
25～29歳	24	16.7	29.2	12.5	4.2	4.2	33.3
30～34歳	29	10.3	37.9	17.2	6.9	3.4	24.1
35～39歳	38	10.5	31.6	7.9	7.9	7.9	34.2
40～44歳	37	13.5	35.1	0.0	13.5	2.7	35.1
45～49歳	48	14.6	29.2	10.4	18.8	4.2	22.9
50～54歳	51	15.7	31.4	15.7	11.8	3.9	21.6
55～59歳	66	7.6	24.2	18.2	9.1	10.6	30.3
60～64歳	37	5.4	43.2	16.2	2.7	8.1	24.3
65～69歳	44	6.8	34.1	22.7	11.4	4.5	20.5
70～74歳	55	9.1	27.3	12.7	7.3	5.5	38.2
75歳以上	90	12.2	24.4	20.0	7.8	6.7	28.9
年齢不詳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

＜女 性＞		（％）					
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	673	9.8	27.8	14.7	7.0	7.4	33.3
18～19歳	4	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0
20～24歳	20	20.0	35.0	5.0	15.0	0.0	25.0
25～29歳	33	15.2	27.3	9.1	6.1	9.1	33.3
30～34歳	39	10.3	33.3	23.1	5.1	5.1	23.1
35～39歳	53	9.4	28.3	9.4	11.3	11.3	30.2
40～44歳	62	6.5	37.1	9.7	9.7	4.8	32.3
45～49歳	70	14.3	24.3	15.7	5.7	8.6	31.4
50～54歳	82	6.1	30.5	13.4	6.1	7.3	36.6
55～59歳	65	0.0	30.8	18.5	7.7	6.2	36.9
60～64歳	36	5.6	27.8	19.4	5.6	0.0	41.7
65～69歳	57	12.3	29.8	19.3	7.0	5.3	26.3
70～74歳	56	5.4	21.4	17.9	7.1	12.5	35.7
75歳以上	95	16.8	17.9	13.7	4.2	9.5	37.9
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

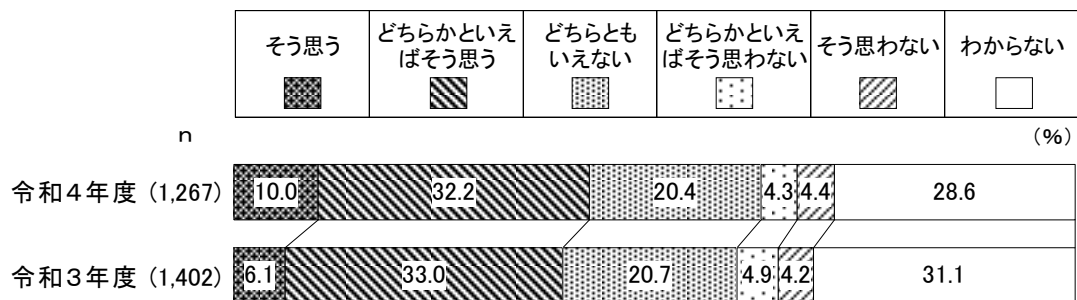
【多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現】

問13 江東区は、性別、年齢、国籍、価値観、生き方など様々な違いを認め合い、誰もが尊重され、暮らしやすいまちであると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

＜全体／経年比較＞

- ・「どちらかといえばそう思う」が32.2%で最も高く、次いで「わからない」（28.6%）となっている。
- ・「そう思う」（10.0%）と「どちらかといえばそう思う」（32.2%）を合わせた『そう思う（計）』の割合は42.2%となっている。
- ・前回調査と比較すると、『そう思う（計）』が3.1ポイント増加している。

図表Ⅳ－35 多様性を認め合い暮らしやすいまちだと思う区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う（計）』の割合は、東陽地区（52.1%）、砂町地区（46.8%）、小松橋地区（46.2%）、大島地区（42.3%）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－36 多様性を認め合い暮らしやすいまちだと思う区民の割合（地区別）

	n	そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらとも いえない	どちらかとい えばそう 思わない	そう思わない	わからない
全 体	1,267	10.0	32.2	20.4	4.3	4.4	28.6
白河	115	9.6	31.3	12.2	1.7	4.3	40.9
小松橋	91	14.3	31.9	17.6	2.2	2.2	31.9
富岡	92	5.4	29.3	27.2	7.6	2.2	28.3
東陽	98	14.3	37.8	20.4	1.0	2.0	24.5
豊洲	240	10.0	30.8	21.3	6.7	3.8	27.5
亀戸	147	4.1	33.3	17.7	4.1	8.2	32.7
大島	170	8.2	34.1	18.8	6.5	7.6	24.7
砂町	184	15.8	31.0	25.5	3.8	2.7	21.2
南砂	118	7.6	31.4	22.9	2.5	5.1	30.5
居住地区不詳	12	16.7	33.3	8.3	0.0	0.0	41.7

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～54歳、75歳以上で男性全体を上回っている。女性では18～29歳、40～54歳、65～69歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－37 多様性を認め合い暮らしやすいまちだと思ふ区民の割合（性年齢別）

＜男 性＞								(%)
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない	
全 体	545	10.8	29.9	22.0	4.4	4.8	28.1	
18～19歳	3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	
20～24歳	21	23.8	28.6	9.5	4.8	0.0	33.3	
25～29歳	24	25.0	37.5	16.7	0.0	8.3	12.5	
30～34歳	29	6.9	44.8	13.8	13.8	3.4	17.2	
35～39歳	38	7.9	36.8	18.4	2.6	5.3	28.9	
40～44歳	37	5.4	40.5	13.5	5.4	5.4	29.7	
45～49歳	48	12.5	41.7	12.5	6.3	2.1	25.0	
50～54歳	51	13.7	31.4	27.5	5.9	2.0	19.6	
55～59歳	66	3.0	24.2	30.3	4.5	6.1	31.8	
60～64歳	37	10.8	24.3	32.4	2.7	8.1	21.6	
65～69歳	44	13.6	6.8	40.9	4.5	6.8	27.3	
70～74歳	54	3.7	29.6	18.5	1.9	7.4	38.9	
75歳以上	91	15.4	26.4	19.8	3.3	2.2	33.0	
年齢不詳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	

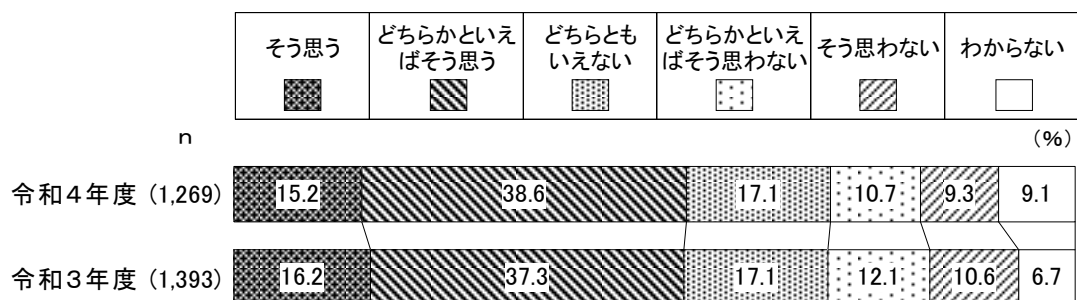
＜女 性＞								(%)
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない	
全 体	674	9.2	34.3	19.7	4.2	4.2	28.5	
18～19歳	4	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	
20～24歳	20	25.0	35.0	5.0	10.0	0.0	25.0	
25～29歳	33	21.2	39.4	3.0	9.1	0.0	27.3	
30～34歳	39	17.9	20.5	10.3	10.3	10.3	30.8	
35～39歳	53	3.8	37.7	18.9	5.7	5.7	28.3	
40～44歳	62	4.8	41.9	19.4	0.0	8.1	25.8	
45～49歳	70	11.4	42.9	14.3	10.0	4.3	17.1	
50～54歳	82	4.9	45.1	23.2	2.4	2.4	22.0	
55～59歳	65	6.2	24.6	18.5	6.2	4.6	40.0	
60～64歳	36	8.3	27.8	13.9	2.8	0.0	47.2	
65～69歳	57	5.3	38.6	28.1	3.5	5.3	19.3	
70～74歳	56	8.9	33.9	19.6	0.0	3.6	33.9	
75歳以上	96	10.4	20.8	33.3	0.0	2.1	33.3	
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

問14 あなたは現在、仕事、家庭生活（家事・子育て・介護・家族との交流）、地域・個人の生活（地域活動・趣味・学習・休養）を自分が希望するバランスで実現することが出来ていると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

＜全体／経年比較＞

- ・「どちらかといえばそう思う」が38.6%で最も高く、次いで「どちらともいえない」（17.1%）となっている。
- ・「そう思う」（15.2%）と「どちらかといえばそう思う」（38.6%）を合わせた『そう思う（計）』の割合は53.8%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－38 仕事、家庭生活などと自分が希望するバランスがとれていると思う区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う（計）』の割合は、東陽地区（64.6%）、豊洲地区（59.1%）、富岡地区（58.3%）、小松橋地区（56.6%）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－39 仕事、家庭生活などと自分が希望するバランスがとれていると思う区民の割合（地区別）

	n	そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらとも いえない	どちらかとい えばそう 思わない	そう思わない	わからない
全 体	1,269	15.2	38.6	17.1	10.7	9.3	9.1
白河	116	19.0	32.8	17.2	11.2	7.8	12.1
小松橋	92	20.7	35.9	15.2	14.1	7.6	6.5
富岡	91	14.3	44.0	17.6	13.2	6.6	4.4
東陽	99	21.2	43.4	15.2	6.1	8.1	6.1
豊洲	242	12.8	46.3	16.1	10.3	7.4	7.0
亀戸	147	10.2	40.1	15.0	12.2	11.6	10.9
大島	172	11.0	36.0	23.8	9.9	7.6	11.6
砂町	184	17.4	31.0	20.1	9.8	12.5	9.2
南砂	114	15.8	37.7	8.8	12.3	14.0	11.4
居住地区不詳	12	25.0	25.0	25.0	0.0	8.3	16.7

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合は、女性（55.9%）の方が男性（52.3%）より3.6ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では25～34歳、40～64歳で男性全体を上回っている。女性では18～29歳、35～39歳、45～49歳、55～59歳、70～74歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－40 仕事、家庭生活などと自分が希望するバランスがとれていると思う区民の割合（性年齢別）

＜男 性＞		(%)					
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	543	14.9	37.4	18.2	11.2	8.7	9.6
18～19歳	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7
20～24歳	21	28.6	19.0	23.8	4.8	9.5	14.3
25～29歳	24	25.0	37.5	25.0	4.2	4.2	4.2
30～34歳	29	31.0	27.6	10.3	17.2	10.3	3.4
35～39歳	38	10.5	31.6	18.4	21.1	13.2	5.3
40～44歳	37	8.1	48.6	13.5	18.9	5.4	5.4
45～49歳	48	10.4	45.8	25.0	8.3	8.3	2.1
50～54歳	51	17.6	37.3	15.7	17.6	7.8	3.9
55～59歳	66	9.1	43.9	13.6	18.2	12.1	3.0
60～64歳	35	17.1	51.4	11.4	2.9	2.9	14.3
65～69歳	42	4.8	42.9	23.8	4.8	11.9	11.9
70～74歳	55	16.4	29.1	21.8	12.7	3.6	16.4
75歳以上	92	17.4	31.5	19.6	3.3	10.9	17.4
年齢不詳	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0

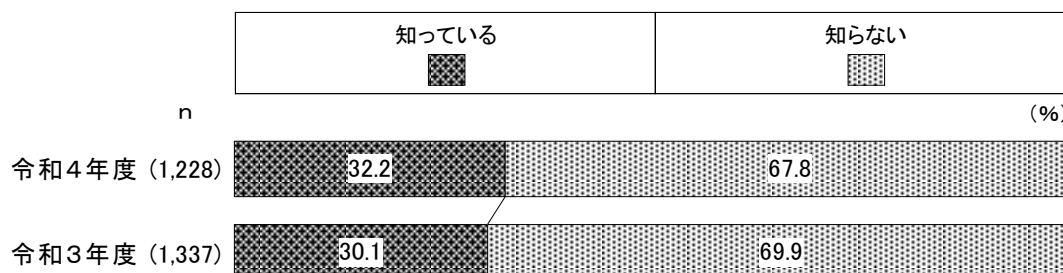
＜女 性＞		(%)					
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	678	15.3	40.6	15.2	10.5	10.0	8.4
18～19歳	4	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	20	30.0	35.0	10.0	5.0	5.0	15.0
25～29歳	33	30.3	33.3	3.0	9.1	9.1	15.2
30～34歳	40	20.0	32.5	22.5	12.5	10.0	2.5
35～39歳	52	17.3	46.2	9.6	15.4	9.6	1.9
40～44歳	62	3.2	45.2	21.0	11.3	14.5	4.8
45～49歳	69	14.5	49.3	13.0	11.6	10.1	1.4
50～54歳	84	11.9	40.5	15.5	17.9	10.7	3.6
55～59歳	66	13.6	53.0	12.1	13.6	6.1	1.5
60～64歳	36	16.7	36.1	13.9	13.9	2.8	16.7
65～69歳	58	8.6	44.8	13.8	6.9	15.5	10.3
70～74歳	57	14.0	43.9	12.3	5.3	8.8	15.8
75歳以上	96	18.8	24.0	24.0	3.1	11.5	18.8
年齢不詳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問15 あなたは、「ドメスティックバイオレンス (DV=配偶者等からの暴力)」について相談できる窓口を知っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「知らない」が67.8%で、「知っている」(32.2%)を上回っている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－41 ドメスティックバイオレンスについて相談できる窓口の認知度



① 地区別

- ・地区別では、「知っている」の割合は、砂町地区 (38.5%)、小松橋地区 (35.2%)、大島地区 (34.6%)、豊洲地区 (32.4%) で全体を上回っている。

図表Ⅳ－42 ドメスティックバイオレンスについて相談できる窓口の認知度 (地区別)

	n	知っている	知らない
全 体	1,228	32.2	67.8
白河	113	30.1	69.9
小松橋	88	35.2	64.8
富岡	87	32.2	67.8
東陽	99	26.3	73.7
豊洲	238	32.4	67.6
亀戸	149	26.2	73.8
大島	162	34.6	65.4
砂町	174	38.5	61.5
南砂	106	32.1	67.9
居住地区不詳	12	25.0	75.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、「知っている」の割合は、女性（38.0％）の方が男性（25.5％）より12.5ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、「知っている」の割合は、男性では20～24歳、40～44歳、50～54歳、60～64歳、70～74歳で男性全体を上回っている。女性では18～19歳、40～49歳、55～59歳、65歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－43 ドメスティックバイオレンスについて相談できる窓口の認知度（性年齢別）

＜男 性＞		(%)	
	n	知っている	知らない
全 体	530	25.5	74.5
18～19歳	3	0.0	100.0
20～24歳	21	28.6	71.4
25～29歳	24	20.8	79.2
30～34歳	29	17.2	82.8
35～39歳	38	21.1	78.9
40～44歳	37	29.7	70.3
45～49歳	48	22.9	77.1
50～54歳	51	33.3	66.7
55～59歳	66	22.7	77.3
60～64歳	35	28.6	71.4
65～69歳	40	20.0	80.0
70～74歳	53	34.0	66.0
75歳以上	84	25.0	75.0
年齢不詳	1	0.0	100.0

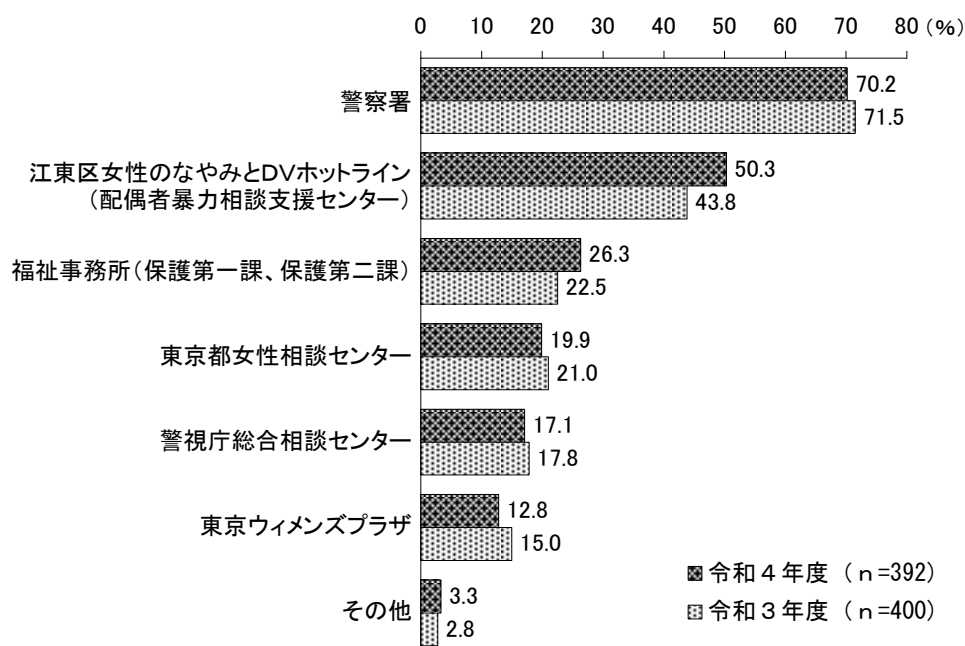
＜女 性＞		(%)	
	n	知っている	知らない
全 体	655	38.0	62.0
18～19歳	4	50.0	50.0
20～24歳	20	25.0	75.0
25～29歳	33	36.4	63.6
30～34歳	40	37.5	62.5
35～39歳	53	34.0	66.0
40～44歳	62	38.7	61.3
45～49歳	69	39.1	60.9
50～54歳	84	35.7	64.3
55～59歳	64	46.9	53.1
60～64歳	36	30.6	69.4
65～69歳	55	38.2	61.8
70～74歳	56	39.3	60.7
75歳以上	78	39.7	60.3
年齢不詳	1	100.0	0.0

問15ー1 問15で「1. 知っている」を選んだ方におたずねします。
相談できると知っていた窓口(機関)を次の中から、あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

<全体／経年比較>

- ・相談できると知っていた相談窓口では、「警察署」が70.2%で最も高く、次いで「江東区女性のなやみとDVホットライン（配偶者暴力相談支援センター）」(50.3%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、「江東区女性のなやみとDVホットライン（配偶者暴力相談支援センター）」が6.5ポイント増加している。

図表Ⅳ－44 ドメスティックバイオレンスについての相談窓口



【生涯にわたり学習できる環境の充実】

問16 あなたは、以下のような学習講座や地域の集まりなどに参加していますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

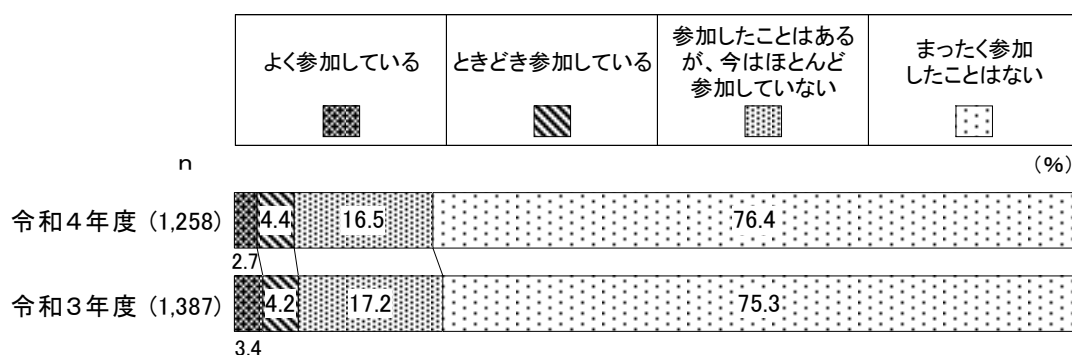
【学習講座や地域の集まりの例】

- ①趣味（茶道・生け花・囲碁・将棋など）、②教養（英会話など）、③芸術、④文化、
⑤教室（料理など）

＜全体／経年比較＞

- ・「まったく参加したことはない」が76.4%で最も高く、次いで「参加したことはあるが、今はほとんど参加していない」（16.5%）となっている。
- ・「よく参加している」（2.7%）と「ときどき参加している」（4.4%）を合わせた『参加している（計）』の割合は7.1%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－45 生涯学習講座や地域の集まりなどに参加している区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、『参加している（計）』の割合は、小松橋地区（12.3%）、砂町地区（8.8%）、大島地区（8.2%）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－46 生涯学習講座や地域の集まりなどに参加している区民の割合（地区別）

	n	よく参加している	ときどき参加している	参加したことはあるが、今はほとんど参加していない	まったく参加したことはない
全 体	1,258	2.7	4.4	16.5	76.4
白河	113	3.5	3.5	16.8	76.1
小松橋	90	5.6	6.7	14.4	73.3
富岡	88	2.3	4.5	25.0	68.2
東陽	100	3.0	2.0	16.0	79.0
豊洲	241	2.1	3.3	16.2	78.4
亀戸	146	2.1	3.4	11.6	82.9
大島	172	3.5	4.7	16.3	75.6
砂町	181	1.1	7.7	16.0	75.1
南砂	115	3.5	3.5	18.3	74.8
居住地区不詳	12	0.0	0.0	33.3	66.7

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『参加している（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『参加している（計）』の割合は、男性では25～34歳、55～59歳、75歳以上で男性全体を上回っている。女性では60歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－47 生涯学習講座や地域の集まりなどに参加している区民の割合（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	よく参加している	ときどき参加している	参加したことはあるが、今はほとんど参加していない	まったく参加したことはない
全 体	538	2.0	3.9	10.2	83.8
18～19歳	3	0.0	0.0	0.0	100.0
20～24歳	20	0.0	0.0	5.0	95.0
25～29歳	24	0.0	12.5	4.2	83.3
30～34歳	29	0.0	10.3	3.4	86.2
35～39歳	38	0.0	2.6	2.6	94.7
40～44歳	37	0.0	0.0	2.7	97.3
45～49歳	48	0.0	4.2	8.3	87.5
50～54歳	51	2.0	2.0	11.8	84.3
55～59歳	66	3.0	4.5	12.1	80.3
60～64歳	35	0.0	0.0	2.9	97.1
65～69歳	41	4.9	0.0	12.2	82.9
70～74歳	54	1.9	3.7	22.2	72.2
75歳以上	91	5.5	6.6	15.4	72.5
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	100.0

<女 性>

(%)

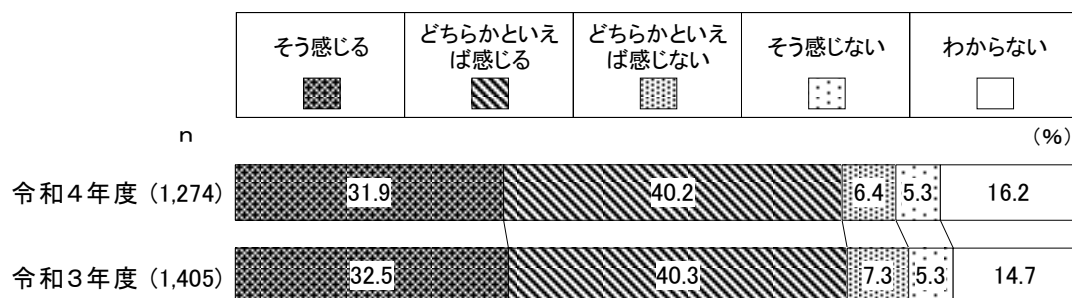
	n	よく参加している	ときどき参加している	参加したことはあるが、今はほとんど参加していない	まったく参加したことはない
全 体	672	3.1	4.6	21.0	71.3
18～19歳	4	0.0	0.0	50.0	50.0
20～24歳	19	0.0	0.0	36.8	63.2
25～29歳	33	3.0	0.0	9.1	87.9
30～34歳	40	0.0	0.0	2.5	97.5
35～39歳	53	1.9	1.9	13.2	83.0
40～44歳	62	1.6	0.0	9.7	88.7
45～49歳	70	0.0	2.9	24.3	72.9
50～54歳	84	0.0	4.8	19.0	76.2
55～59歳	65	3.1	4.6	30.8	61.5
60～64歳	36	8.3	5.6	22.2	63.9
65～69歳	56	7.1	10.7	25.0	57.1
70～74歳	56	3.6	10.7	25.0	60.7
75歳以上	93	7.5	7.5	28.0	57.0
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	100.0

問17 あなたは、図書館が学びの場として役に立っていると感じていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「どちらかといえば感じる」が40.2%で最も高く、次いで「そう感じる」(31.9%)となっている。
- ・これらを合わせた『そう感じる(計)』の割合は72.1%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－48 図書館が学びの場として役立っていると感じる区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、『そう感じる(計)』の割合は、南砂地区(82.5%)、富岡地区(81.1%)、砂町地区(75.1%)、白河地区(74.6%)、豊洲地区(72.6%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－49 図書館が学びの場として役立っていると感じる区民の割合(地区別)

	n	そう感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	そう感じない	わからない
全 体	1,274	31.9	40.2	6.4	5.3	16.2
白河	118	33.1	41.5	3.4	7.6	14.4
小松橋	91	36.3	35.2	7.7	0.0	20.9
富岡	90	42.2	38.9	2.2	3.3	13.3
東陽	101	31.7	37.6	4.0	5.9	20.8
豊洲	241	32.8	39.8	8.3	4.1	14.9
亀戸	151	21.9	37.1	11.3	6.6	23.2
大島	172	28.5	40.1	5.2	9.3	16.9
砂町	185	36.2	38.9	6.5	4.9	13.5
南砂	114	27.2	55.3	4.4	2.6	10.5
居住地区不詳	11	45.5	18.2	9.1	18.2	9.1

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう感じる（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『そう感じる（計）』の割合は、男性では18～24歳、30～34歳、40～54歳、65～69歳で男性全体を上回っている。女性では18～29歳、35～39歳、45～59歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－50 図書館が学びの場として役立っていると感じる区民の割合（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	そう感じる	どちらかといえ ば感じる	どちらかといえ ば感じない	そう感じない	わからない
全 体	542	31.2	40.8	6.5	5.2	16.4
18～19歳	3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0
20～24歳	21	52.4	33.3	0.0	0.0	14.3
25～29歳	24	25.0	45.8	0.0	8.3	20.8
30～34歳	29	37.9	41.4	6.9	6.9	6.9
35～39歳	38	21.1	34.2	13.2	0.0	31.6
40～44歳	37	35.1	37.8	5.4	5.4	16.2
45～49歳	48	33.3	45.8	8.3	10.4	2.1
50～54歳	51	41.2	45.1	3.9	2.0	7.8
55～59歳	66	25.8	40.9	4.5	7.6	21.2
60～64歳	35	28.6	37.1	5.7	8.6	20.0
65～69歳	42	19.0	57.1	9.5	4.8	9.5
70～74歳	56	32.1	37.5	7.1	5.4	17.9
75歳以上	90	32.2	33.3	7.8	3.3	23.3
年齢不詳	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

<女 性>

(%)

	n	そう感じる	どちらかといえ ば感じる	どちらかといえ ば感じない	そう感じない	わからない
全 体	684	32.3	40.4	6.3	5.0	16.1
18～19歳	4	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	20	55.0	25.0	5.0	10.0	5.0
25～29歳	33	51.5	30.3	0.0	6.1	12.1
30～34歳	40	35.0	25.0	12.5	7.5	20.0
35～39歳	53	30.2	43.4	5.7	5.7	15.1
40～44歳	62	30.6	38.7	6.5	0.0	24.2
45～49歳	70	35.7	51.4	5.7	2.9	4.3
50～54歳	84	26.2	53.6	0.0	7.1	13.1
55～59歳	66	31.8	47.0	7.6	4.5	9.1
60～64歳	36	16.7	50.0	5.6	8.3	19.4
65～69歳	58	24.1	43.1	5.2	5.2	22.4
70～74歳	60	33.3	38.3	6.7	5.0	16.7
75歳以上	97	33.0	26.8	11.3	4.1	24.7
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

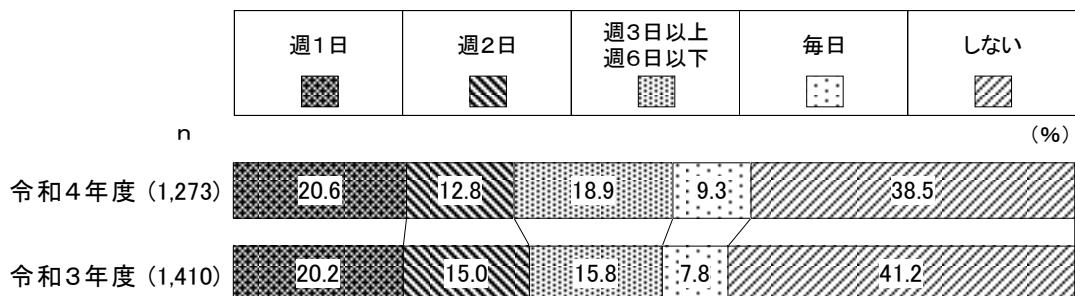
【スポーツを楽しめる環境の充実】

問18 あなたは、週にどれくらいの頻度でスポーツ・運動を行っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

＜全体／経年比較＞

- ・「しない」が38.5%で最も高く、次いで「週1日」(20.6%)となっている。
- ・「しない」(38.5%)を除いた『週1日以上』スポーツ・運動を行う人の割合は61.6%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ-51 スポーツ・運動の頻度



① 地区別

- ・地区別では、『週1日以上』の割合は、白河地区(65.6%)、富岡地区(65.6%)、小松橋地区(64.4%)、豊洲地区(63.0%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-52 スポーツ・運動の頻度(地区別)

	n	週1日	週2日	週3日以上 週6日以下	毎日	しない
全 体	1,273	20.6	12.8	18.9	9.3	38.5
白河	116	23.3	8.6	19.0	14.7	34.5
小松橋	90	13.3	18.9	21.1	11.1	35.6
富岡	90	20.0	15.6	18.9	11.1	34.4
東陽	101	20.8	15.8	15.8	7.9	39.6
豊洲	243	24.7	12.8	18.5	7.0	37.0
亀戸	151	19.9	11.3	18.5	6.6	43.7
大島	172	18.0	11.0	21.5	9.3	40.1
砂町	184	22.3	13.6	15.2	9.8	39.1
南砂	115	15.7	12.2	21.7	10.4	40.0
居住地区不詳	11	36.4	0.0	27.3	0.0	36.4

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『週1日以上』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『週1日以上』の割合は、男性では18～24歳、40～54歳、60～64歳で男性全体を上回っている。女性では25～29歳、35～39歳、45～49歳、65～74歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－53 スポーツ・運動の頻度（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	週1日	週2日	週3日以上 週6日以下	毎日	しない
全 体	542	19.7	12.5	17.3	10.1	40.2
18～19歳	3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0
20～24歳	21	23.8	19.0	23.8	0.0	33.3
25～29歳	24	12.5	8.3	25.0	0.0	54.2
30～34歳	29	20.7	13.8	13.8	10.3	41.4
35～39歳	38	23.7	10.5	2.6	7.9	55.3
40～44歳	37	24.3	10.8	29.7	0.0	35.1
45～49歳	48	35.4	20.8	10.4	2.1	31.3
50～54歳	51	33.3	9.8	15.7	15.7	25.5
55～59歳	66	16.7	12.1	15.2	12.1	43.9
60～64歳	35	22.9	11.4	25.7	5.7	34.3
65～69歳	41	9.8	14.6	26.8	7.3	41.5
70～74歳	56	10.7	21.4	8.9	14.3	44.6
75歳以上	91	12.1	4.4	20.9	19.8	42.9
年齢不詳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

<女 性>

(%)

	n	週1日	週2日	週3日以上 週6日以下	毎日	しない
全 体	683	20.9	13.3	19.8	8.5	37.5
18～19歳	4	0.0	25.0	25.0	0.0	50.0
20～24歳	20	15.0	25.0	10.0	10.0	40.0
25～29歳	33	42.4	12.1	12.1	15.2	18.2
30～34歳	40	22.5	20.0	12.5	7.5	37.5
35～39歳	53	34.0	15.1	11.3	7.5	32.1
40～44歳	62	24.2	12.9	16.1	3.2	43.5
45～49歳	70	27.1	10.0	21.4	4.3	37.1
50～54歳	84	16.7	15.5	20.2	7.1	40.5
55～59歳	66	24.2	9.1	24.2	4.5	37.9
60～64歳	36	8.3	16.7	16.7	16.7	41.7
65～69歳	58	17.2	15.5	22.4	8.6	36.2
70～74歳	59	16.9	10.2	32.2	10.2	30.5
75歳以上	97	12.4	10.3	20.6	13.4	43.3
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

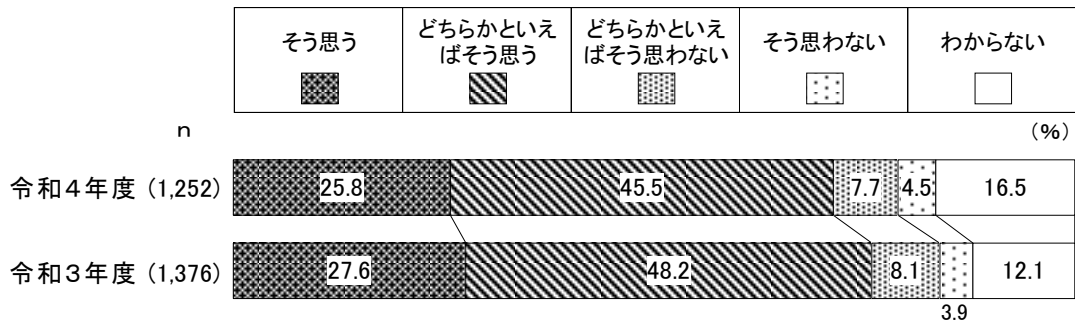
【文化・歴史の継承と観光振興】

問19 あなたは、江東区内に魅力的な文化観光資源があると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

＜全体／経年比較＞

- ・「どちらかといえばそう思う」が45.5%で最も高く、次いで「そう思う」(25.8%)となっている。
- ・これらを合わせた『そう思う(計)』の割合は71.3%となっている。
- ・前回調査と比較すると、『そう思う(計)』が4.5ポイント減少している。

図表Ⅳ－54 江東区内に魅力的な文化観光資源があるという認識



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、富岡地区(82.2%)、白河地区(78.7%)、小松橋地区(78.0%)、東陽地区(76.2%)、南砂地区(74.1%)、豊洲地区(73.6%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－55 江東区内に魅力的な文化観光資源があるという認識(地区別)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	1,252	25.8	45.5	7.7	4.5	16.5
白河	117	40.2	38.5	4.3	2.6	14.5
小松橋	86	23.3	54.7	4.7	2.3	15.1
富岡	90	41.1	41.1	5.6	1.1	11.1
東陽	101	25.7	50.5	6.9	2.0	14.9
豊洲	242	27.3	46.3	8.3	5.8	12.4
亀戸	146	19.2	41.8	9.6	6.2	23.3
大島	168	19.0	44.0	10.7	6.0	20.2
砂町	181	24.3	43.1	11.0	4.4	17.1
南砂	112	19.6	54.5	3.6	5.4	17.0
居住地区不詳	9	11.1	44.4	0.0	11.1	33.3

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では20～24歳、30～34歳、45～59歳、75歳以上で男性全体を上回っている。女性では18～19歳、40～44歳、50～59歳、65～69歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－56 江東区内に魅力的な文化観光資源があるという認識（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	532	24.4	46.6	8.5	4.9	15.6
18～19歳	3	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7
20～24歳	21	38.1	38.1	4.8	4.8	14.3
25～29歳	24	29.2	33.3	12.5	4.2	20.8
30～34歳	29	34.5	55.2	0.0	6.9	3.4
35～39歳	38	18.4	39.5	7.9	5.3	28.9
40～44歳	37	24.3	43.2	5.4	8.1	18.9
45～49歳	48	27.1	58.3	6.3	2.1	6.3
50～54歳	51	27.5	54.9	3.9	5.9	7.8
55～59歳	65	20.0	53.8	10.8	6.2	9.2
60～64歳	35	25.7	40.0	11.4	5.7	17.1
65～69歳	42	23.8	33.3	14.3	7.1	21.4
70～74歳	53	22.6	32.1	13.2	3.8	28.3
75歳以上	84	21.4	54.8	8.3	2.4	13.1
年齢不詳	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

<女 性>

(%)

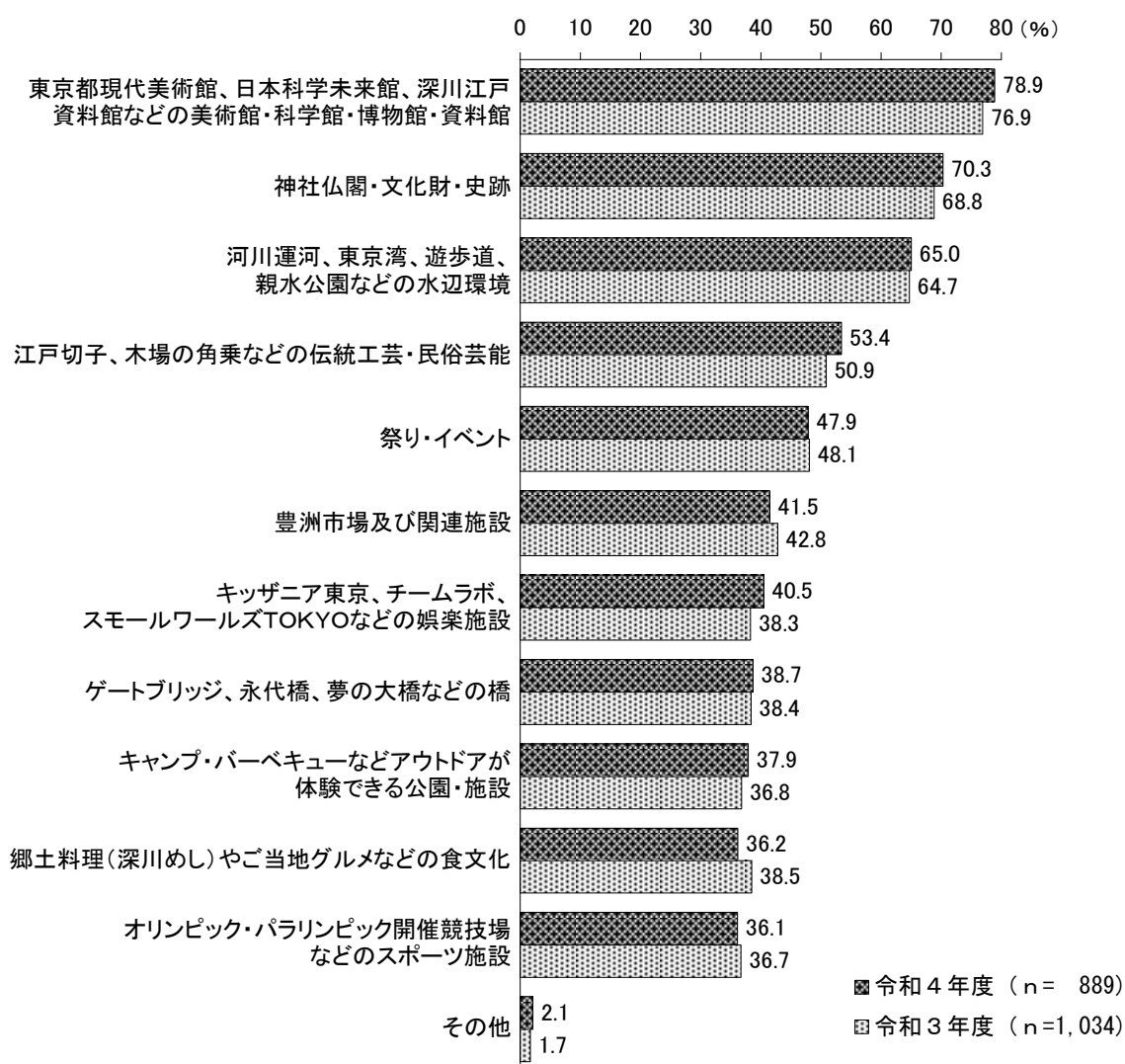
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	677	26.6	44.8	7.7	4.0	17.0
18～19歳	4	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0
20～24歳	20	30.0	30.0	10.0	0.0	30.0
25～29歳	33	15.2	45.5	9.1	3.0	27.3
30～34歳	40	17.5	40.0	7.5	12.5	22.5
35～39歳	53	18.9	47.2	7.5	9.4	17.0
40～44歳	61	27.9	55.7	6.6	1.6	8.2
45～49歳	69	29.0	42.0	10.1	7.2	11.6
50～54歳	84	32.1	42.9	7.1	3.6	14.3
55～59歳	66	21.2	65.2	4.5	0.0	9.1
60～64歳	36	30.6	38.9	11.1	0.0	19.4
65～69歳	58	24.1	48.3	5.2	3.4	19.0
70～74歳	59	22.0	42.4	13.6	0.0	22.0
75歳以上	93	35.5	33.3	5.4	5.4	20.4
年齢不詳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問19ー1 問19で「1. そう思う」「2. どちらかといえばそう思う」を選んだ方におたずねします。
あなたにとって魅力的だと思う観光資源を次の中から、あてはまるものを選び○印をつけてください。(○はいくつでも)

＜全体／経年比較＞

- ・「東京都現代美術館、日本科学未来館、深川江戸資料館などの美術館・科学館・博物館・資料館」が78.9%で最も高く、次いで「神社仏閣・文化財・史跡」(70.3%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－57 魅力的だと思う文化観光資源



※「キッズニア東京、チームラボ、スモールワールドズTOKYOなどの娯楽施設」の選択肢は、令和3年度調査では「パレットタウン、キッズニア東京、チームラボなどの娯楽施設」としていた。

【切れ目のない支援による母子保健の充実】

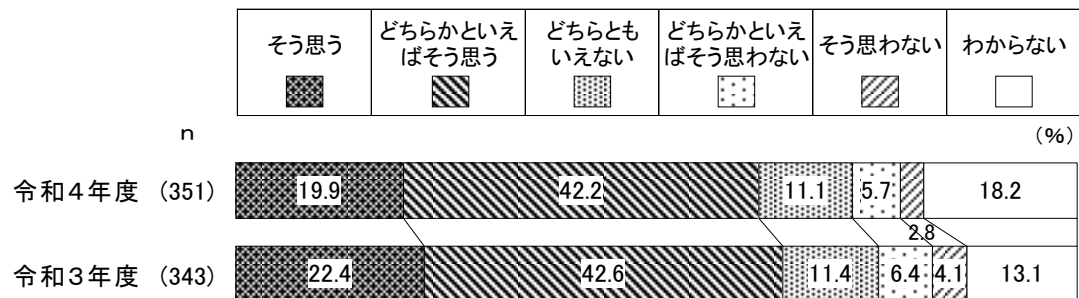
問20 中学生以下のお子さんがある保護者の方におたずねします。

江東区は健診、相談支援、産前・産後支援等の母子保健サービスが充実していると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

＜全体／経年比較＞

- ・「どちらかといえばそう思う」が42.2%で最も高く、次いで「そう思う」(19.9%)となっている。
- ・これらを合わせた『そう思う(計)』の割合は62.1%となっている。
- ・前回調査と比較すると、「わからない」が5.1ポイント増加している。

図表Ⅳ－58 母子保健サービスが充実していると思う区民の割合



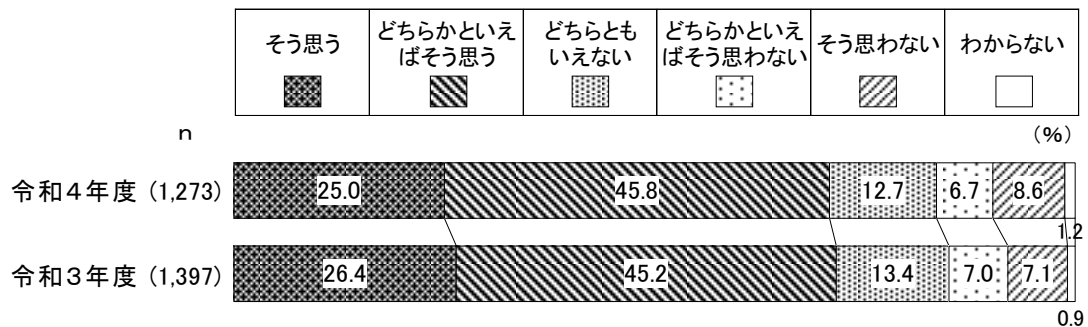
【健康づくりの推進と保健・医療体制の充実】

問21 あなたは、ご自身が健康であると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

＜全体／経年比較＞

- ・「どちらかといえばそう思う」が45.8%で最も高く、次いで「そう思う」(25.0%)となっている。
- ・これらを合わせた『そう思う(計)』の割合は70.8%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－59 自分が健康である認識



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、東陽地区(77.2%)、豊洲地区(76.3%)、小松橋地区(75.3%)、南砂地区(72.5%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－60 自分が健康である認識(地区別)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	1,273	25.0	45.8	12.7	6.7	8.6	1.2
白河	117	34.2	32.5	15.4	7.7	8.5	1.7
小松橋	93	31.2	44.1	11.8	6.5	6.5	0.0
富岡	91	16.5	53.8	6.6	7.7	15.4	0.0
東陽	101	25.7	51.5	9.9	5.0	6.9	1.0
豊洲	241	26.1	50.2	8.3	6.6	7.9	0.8
亀戸	150	20.0	49.3	13.3	6.0	6.0	5.3
大島	171	19.9	45.6	15.8	7.0	11.1	0.6
砂町	184	25.5	40.2	17.4	6.5	9.8	0.5
南砂	113	26.5	46.0	12.4	8.0	7.1	0.0
居住地区不詳	12	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合は、女性（73.9%）の方が男性（67.5%）より6.4ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～59歳で男性全体を上回っている。女性では18～19歳、25～54歳、60～64歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－61 自分が健康である認識（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	544	24.3	43.2	14.0	8.6	9.0	0.9
18～19歳	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	21	38.1	47.6	4.8	4.8	4.8	0.0
25～29歳	24	33.3	54.2	8.3	4.2	0.0	0.0
30～34歳	29	34.5	37.9	10.3	10.3	6.9	0.0
35～39歳	38	23.7	63.2	5.3	2.6	5.3	0.0
40～44歳	37	45.9	32.4	8.1	13.5	0.0	0.0
45～49歳	47	17.0	63.8	10.6	6.4	2.1	0.0
50～54歳	51	31.4	39.2	15.7	11.8	2.0	0.0
55～59歳	66	18.2	51.5	12.1	10.6	6.1	1.5
60～64歳	37	16.2	48.6	13.5	16.2	5.4	0.0
65～69歳	43	9.3	37.2	20.9	11.6	16.3	4.7
70～74歳	55	20.0	30.9	18.2	7.3	20.0	3.6
75歳以上	91	23.1	29.7	22.0	5.5	19.8	0.0
年齢不詳	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

<女 性>

(%)

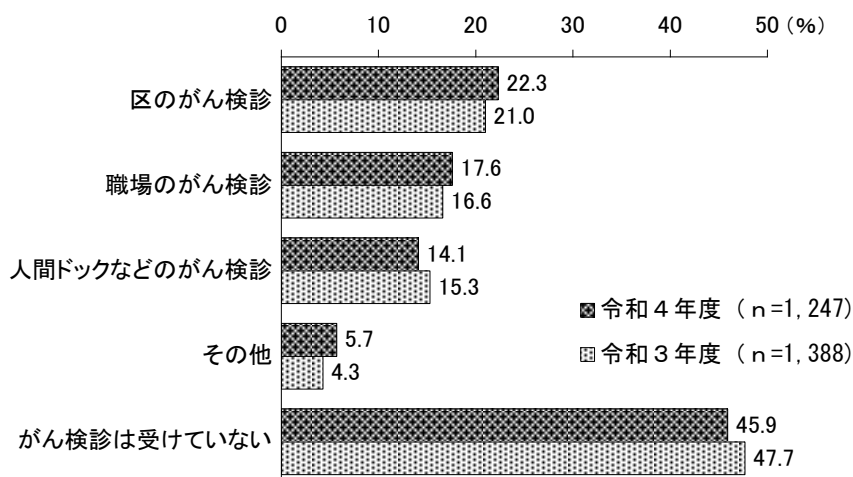
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	680	25.4	48.5	11.0	5.0	8.5	1.5
18～19歳	4	75.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
20～24歳	20	25.0	40.0	20.0	15.0	0.0	0.0
25～29歳	33	51.5	39.4	0.0	3.0	6.1	0.0
30～34歳	40	37.5	42.5	5.0	5.0	7.5	2.5
35～39歳	53	30.2	52.8	7.5	3.8	5.7	0.0
40～44歳	62	21.0	58.1	8.1	6.5	4.8	1.6
45～49歳	70	30.0	54.3	8.6	2.9	4.3	0.0
50～54歳	84	25.0	57.1	13.1	0.0	3.6	1.2
55～59歳	66	22.7	45.5	19.7	4.5	4.5	3.0
60～64歳	37	13.5	64.9	10.8	0.0	10.8	0.0
65～69歳	57	12.3	61.4	8.8	7.0	8.8	1.8
70～74歳	59	16.9	42.4	18.6	6.8	15.3	0.0
75歳以上	94	25.5	29.8	10.6	9.6	20.2	4.3
年齢不詳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問22 あなたは、この1年間で何らかのがん検診を受けましたか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

<全体／経年比較>

- ・「がん検診は受けていない」が45.9%で最も高く、次いで「区のがん検診」(22.3%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－62 がん検診を受けた区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、すべての地区で1位は「がん検診は受けていない」となっている。同率を含め2位は、白河地区、豊洲地区、大島地区では「職場のがん検診」、それ以外の地区では「区のがん検診」となっている。

図表Ⅳ－63 がん検診を受けた区民の割合（地区別）

	n	区のがん検診	職場のがん検診	人間ドックなどのがん検診	その他	がん検診は受けていない (%)
全 体	1,247	22.3	17.6	14.1	5.7	45.9
白河	118	19.5	20.3	11.0	9.3	44.1
小松橋	90	23.3	14.4	18.9	6.7	46.7
富岡	90	21.1	15.6	15.6	6.7	47.8
東陽	100	26.0	13.0	20.0	5.0	41.0
豊洲	236	17.4	19.1	18.6	5.5	45.3
亀戸	148	25.7	16.2	9.5	6.1	45.9
大島	165	20.0	20.0	15.2	4.8	45.5
砂町	181	25.4	19.3	8.8	5.5	48.6
南砂	110	26.4	16.4	11.8	2.7	45.5
居住地区不詳	9	22.2	11.1	0.0	0.0	66.7

② 性年齢別

- ・男女別にみると、何らかのがん検診を受けた区民の割合（n－がん検診は受けていない／n）は、女性（61.8%）の方が男性（45.6%）より16.2ポイント高くなっている。
- ・何らかのがん検診を受けた区民の内、男性では「人間ドックなどのがん検診」が15.9%で最も高く、女性では「区のがん検診」が27.5%で最も高くなっている。
- ・年齢別にみると、何らかのがん検診を受けた区民の割合は、男性では40～44歳、50歳以上で男性全体を上回っている。女性では40～59歳、65～69歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－64 がん検診を受けた区民の割合（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	区のがん検診	職場のがん検診	人間ドックなどのがん検診	その他	がん検診は受けていない
全 体	535	15.3	15.5	15.9	3.7	54.4
18～19歳	3	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
20～24歳	21	0.0	0.0	0.0	4.8	95.2
25～29歳	24	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
30～34歳	29	0.0	6.9	10.3	0.0	89.7
35～39歳	38	2.6	10.5	10.5	2.6	76.3
40～44歳	37	10.8	35.1	18.9	0.0	43.2
45～49歳	47	10.6	21.3	12.8	4.3	55.3
50～54歳	51	11.8	39.2	23.5	0.0	35.3
55～59歳	66	7.6	28.8	30.3	1.5	39.4
60～64歳	37	16.2	13.5	29.7	2.7	40.5
65～69歳	44	29.5	9.1	20.5	2.3	43.2
70～74歳	54	27.8	7.4	11.1	9.3	46.3
75歳以上	82	31.7	2.4	8.5	9.8	52.4
年齢不詳	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0

<女 性>

(%)

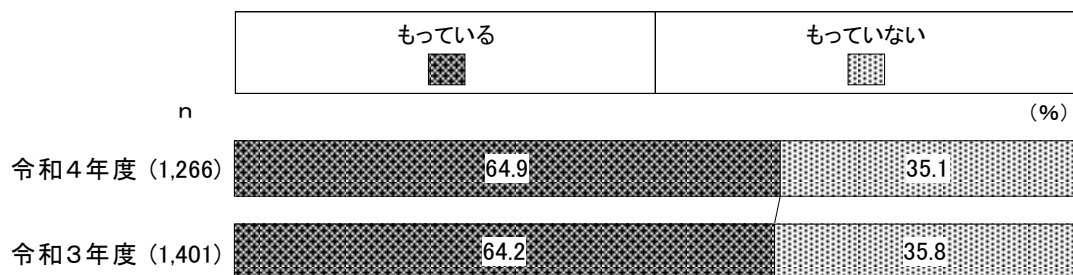
	n	区のがん検診	職場のがん検診	人間ドックなどのがん検診	その他	がん検診は受けていない
全 体	670	27.5	20.0	13.4	7.5	38.2
18～19歳	4	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
20～24歳	20	20.0	15.0	0.0	0.0	75.0
25～29歳	33	15.2	18.2	3.0	3.0	63.6
30～34歳	40	15.0	17.5	5.0	20.0	50.0
35～39歳	53	24.5	20.8	15.1	1.9	39.6
40～44歳	62	27.4	32.3	21.0	3.2	29.0
45～49歳	70	20.0	45.7	18.6	7.1	24.3
50～54歳	84	22.6	26.2	20.2	6.0	33.3
55～59歳	65	23.1	24.6	18.5	9.2	30.8
60～64歳	36	25.0	25.0	11.1	0.0	44.4
65～69歳	56	30.4	12.5	17.9	12.5	30.4
70～74歳	59	45.8	0.0	11.9	8.5	39.0
75歳以上	87	43.7	0.0	3.4	11.5	41.4
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

問23 あなたは、①かかりつけ医・②かかりつけ歯科医・③かかりつけ薬局をもっていますか。それぞれについて、あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つずつ)

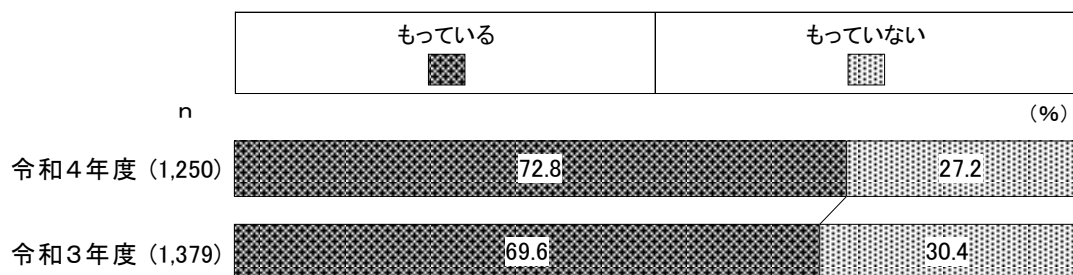
<全体／経年比較>

- ・「もっている」の割合でみると、“かかりつけ歯科医”が72.8%で最も高く、次いで“かかりつけ医”（64.9%）、“かかりつけ薬局”（56.9%）となっている。
- ・前回調査と比較すると、かかりつけ歯科医”を「もっている」が3.2ポイント増加している。

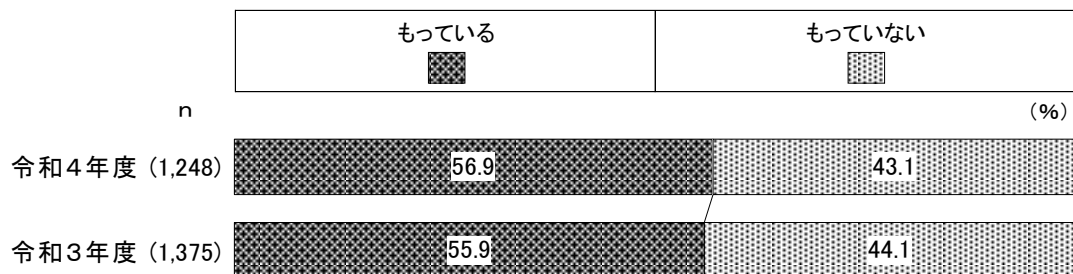
図表Ⅳ－65 かかりつけ医を持っている区民の割合



図表Ⅳ－66 かかりつけ歯科医を持っている区民の割合



図表Ⅳ－67 かかりつけ薬局を持っている区民の割合



① 地区別

- ・地区別でみると、“かかりつけ医”をもっている割合は、砂町地区（75.3％）が最も高く、“かかりつけ歯科医”をもっている割合は、小松橋地区（80.2％）が最も高く、“かかりつけ薬局”をもっている割合は、砂町地区（64.4％）が最も高くなっている。

図表Ⅳ－68 かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局を持っている区民の割合（地区別）

	n	かかりつけ医		n	かかりつけ歯科医		n	かかりつけ薬局	
		もっている	もっていない		もっている	もっていない		もっている	もっていない
全 体	1,266	64.9	35.1	1,250	72.8	27.2	1,248	56.9	43.1
白河	118	70.3	29.7	118	77.1	22.9	116	56.9	43.1
小松橋	92	67.4	32.6	91	80.2	19.8	91	57.1	42.9
富岡	90	67.8	32.2	91	76.9	23.1	90	56.7	43.3
東陽	101	62.4	37.6	101	61.4	38.6	101	54.5	45.5
豊洲	239	57.7	42.3	234	70.5	29.5	234	51.3	48.7
亀戸	150	61.3	38.7	148	66.9	33.1	149	52.3	47.7
大島	168	60.7	39.3	167	71.9	28.1	163	58.3	41.7
砂町	182	75.3	24.7	180	74.4	25.6	180	64.4	35.6
南砂	114	64.9	35.1	111	79.3	20.7	114	60.5	39.5
居住地区不詳	12	83.3	16.7	9	88.9	11.1	10	80.0	20.0

(%)

② 性年齢別

- ・男女別にみると、“かかりつけ歯科医”をもっている割合は、女性（77.6％）の方が男性（65.5％）より12.1ポイント高く、“かかりつけ薬局”をもっている割合は、女性（59.7％）の方が男性（52.5％）より7.2ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、男性では“かかりつけ医”“かかりつけ歯科医”“かかりつけ薬局”をもっている割合は、いずれも75歳以上が最も高くなっている。女性では“かかりつけ医”“かかりつけ薬局”をもっている割合は、いずれも75歳以上が最も高く、“かかりつけ歯科医”をもっている割合は、60～64歳が最も高くなっている。

図表Ⅳ－69 かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局を持っている区民の割合（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	かかりつけ医		n	かかりつけ歯科医		n	かかりつけ薬局	
		もっている	もっていない		もっている	もっていない		もっている	もっていない
全 体	544	64.5	35.5	530	65.5	34.5	533	52.5	47.5
18～19歳	3	33.3	66.7	3	33.3	66.7	3	33.3	66.7
20～24歳	21	47.6	52.4	21	47.6	52.4	21	38.1	61.9
25～29歳	24	29.2	70.8	24	25.0	75.0	24	25.0	75.0
30～34歳	29	44.8	55.2	29	58.6	41.4	29	37.9	62.1
35～39歳	38	36.8	63.2	38	50.0	50.0	38	39.5	60.5
40～44歳	37	48.6	51.4	37	62.2	37.8	37	35.1	64.9
45～49歳	47	57.4	42.6	47	57.4	42.6	46	41.3	58.7
50～54歳	51	54.9	45.1	50	70.0	30.0	50	40.0	60.0
55～59歳	66	56.1	43.9	64	62.5	37.5	65	41.5	58.5
60～64歳	37	78.4	21.6	37	59.5	40.5	37	54.1	45.9
65～69歳	44	75.0	25.0	44	75.0	25.0	44	63.6	36.4
70～74歳	55	89.1	10.9	52	80.8	19.2	54	77.8	22.2
75歳以上	90	92.2	7.8	83	85.5	14.5	83	81.9	18.1
年齢不詳	2	100.0	0.0	1	100.0	0.0	2	100.0	0.0

<女 性>

(%)

	n	かかりつけ医		n	かかりつけ歯科医		n	かかりつけ薬局	
		もっている	もっていない		もっている	もっていない		もっている	もっていない
全 体	676	64.2	35.8	674	77.6	22.4	672	59.7	40.3
18～19歳	4	75.0	25.0	4	25.0	75.0	4	50.0	50.0
20～24歳	20	60.0	40.0	20	75.0	25.0	20	50.0	50.0
25～29歳	33	33.3	66.7	33	48.5	51.5	33	36.4	63.6
30～34歳	40	35.0	65.0	40	62.5	37.5	40	42.5	57.5
35～39歳	53	50.9	49.1	53	77.4	22.6	53	56.6	43.4
40～44歳	62	40.3	59.7	62	75.8	24.2	62	35.5	64.5
45～49歳	69	55.1	44.9	70	77.1	22.9	69	49.3	50.7
50～54歳	83	57.8	42.2	84	77.4	22.6	81	45.7	54.3
55～59歳	66	63.6	36.4	66	80.3	19.7	66	59.1	40.9
60～64歳	36	69.4	30.6	37	89.2	10.8	36	63.9	36.1
65～69歳	58	84.5	15.5	56	83.9	16.1	58	72.4	27.6
70～74歳	58	91.4	8.6	56	83.9	16.1	56	82.1	17.9
75歳以上	93	92.5	7.5	92	84.8	15.2	93	92.5	7.5
年齢不詳	1	100.0	0.0	1	100.0	0.0	1	100.0	0.0

【感染症対策と生活衛生の確保】

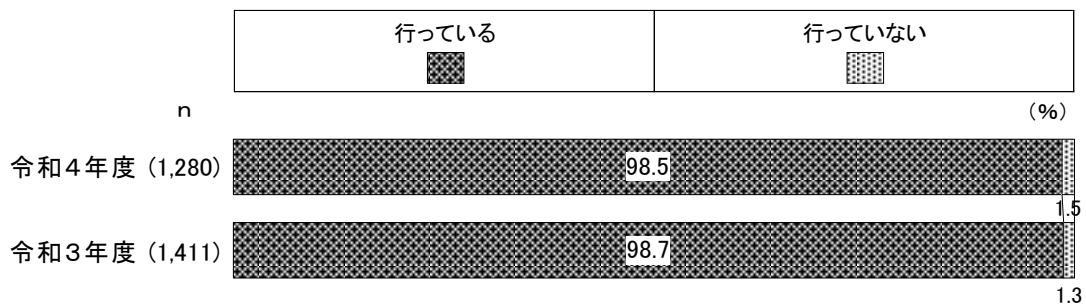
問24 あなたは、感染症予防のために、「①手洗い」「②咳エチケット」を励行していますか。
それぞれについて、あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つずつ)

※咳エチケットとは：咳やくしゃみをするときにマスクをつけたり、ティッシュで口と鼻を覆う等、周りの人に感染させないように配慮すること

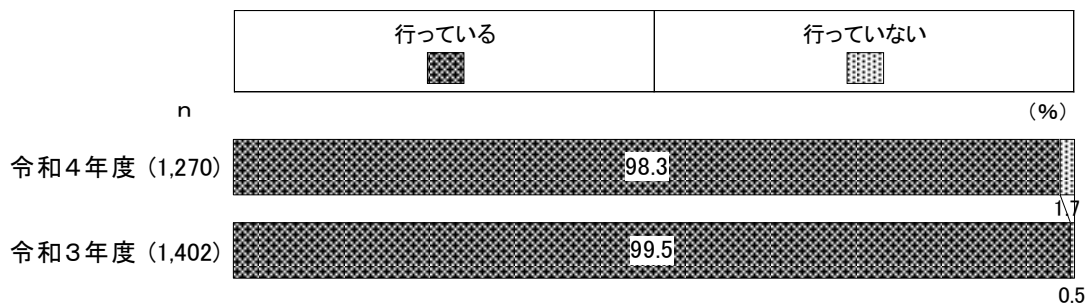
＜全体／経年比較＞

- ・「行っている」の割合でみると、“手洗い”が98.5%、“咳エチケット”が98.3%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－70 手洗いの励行状況



図表Ⅳ－71 咳エチケットの励行状況



① 地区別

- ・地区別でみると、“手洗い”を行っている割合は、富岡地区（100.0％）が最も高く、“咳エチケット”を行っている割合でも、富岡地区（100.0％）が最も高くなっている。

図表Ⅳ－72 手洗い、咳エチケットの励行状況（地区別）

(%)

	n	手洗い		n	咳エチケット	
		行っている	行っていない		行っている	行っていない
全 体	1,280	98.5	1.5	1,270	98.3	1.7
白河	118	96.6	3.4	118	99.2	0.8
小松橋	93	97.8	2.2	93	98.9	1.1
富岡	92	100.0	0.0	92	100.0	0.0
東陽	101	98.0	2.0	101	99.0	1.0
豊洲	243	99.2	0.8	241	97.5	2.5
亀戸	151	99.3	0.7	151	98.7	1.3
大島	172	98.3	1.7	169	97.6	2.4
砂町	184	98.9	1.1	182	98.4	1.6
南砂	114	97.4	2.6	114	97.4	2.6
居住地区不詳	12	100.0	0.0	9	100.0	0.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、“手洗い”及び“咳エチケット”を行っている割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、男性では“手洗い”を行っている割合は、18～29歳、35～54歳、60～64歳、70～74歳が最も高く、“咳エチケット”を行っている割合は、18～19歳、25～29歳、35～49歳が最も高くなっている。女性では“手洗い”を行っている割合は、18～34歳、55～74歳が最も高く、“咳エチケット”を行っている割合は、18～19歳、30～39歳、45～49歳、55～74歳が最も高くなっている。

図表Ⅳ－73 手洗い、咳エチケットの励行状況（性年齢別）

＜男 性＞

(%)

	n	手洗い		n	咳エチケット	
		行っている	行っていない		行っている	行っていない
全 体	547	98.2	1.8	543	97.4	2.6
18～19歳	3	100.0	0.0	3	100.0	0.0
20～24歳	21	100.0	0.0	21	95.2	4.8
25～29歳	24	100.0	0.0	24	100.0	0.0
30～34歳	29	93.1	6.9	29	96.6	3.4
35～39歳	38	100.0	0.0	38	100.0	0.0
40～44歳	37	100.0	0.0	37	100.0	0.0
45～49歳	47	100.0	0.0	47	100.0	0.0
50～54歳	51	100.0	0.0	51	98.0	2.0
55～59歳	66	98.5	1.5	65	96.9	3.1
60～64歳	37	100.0	0.0	37	94.6	5.4
65～69歳	44	90.9	9.1	44	97.7	2.3
70～74歳	56	100.0	0.0	56	96.4	3.6
75歳以上	92	96.7	3.3	89	95.5	4.5
年齢不詳	2	100.0	0.0	2	100.0	0.0

＜女 性＞

(%)

	n	手洗い		n	咳エチケット	
		行っている	行っていない		行っている	行っていない
全 体	683	98.7	1.3	682	99.1	0.9
18～19歳	4	100.0	0.0	4	100.0	0.0
20～24歳	20	100.0	0.0	20	95.0	5.0
25～29歳	33	100.0	0.0	33	97.0	3.0
30～34歳	40	100.0	0.0	40	100.0	0.0
35～39歳	53	98.1	1.9	53	100.0	0.0
40～44歳	62	96.8	3.2	62	98.4	1.6
45～49歳	70	98.6	1.4	70	100.0	0.0
50～54歳	84	98.8	1.2	84	98.8	1.2
55～59歳	66	100.0	0.0	66	100.0	0.0
60～64歳	37	100.0	0.0	37	100.0	0.0
65～69歳	58	100.0	0.0	58	100.0	0.0
70～74歳	59	100.0	0.0	59	100.0	0.0
75歳以上	96	95.8	4.2	95	97.9	2.1
年齢不詳	1	100.0	0.0	1	100.0	0.0

【高齢者支援と活躍の推進】

問25 65歳以上の方におたずねします。

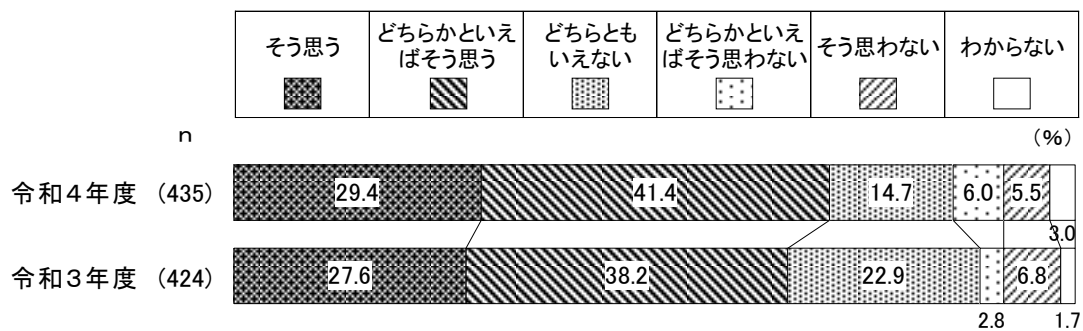
あなたは、現在生きがいや幸せを感じる生活を送ることができていると思いますか。

あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

＜全体／経年比較＞

- ・「どちらかといえばそう思う」が41.4%で最も高く、次いで「そう思う」(29.4%)となっている。
- ・これらを合わせた『そう思う(計)』の割合は70.8%となっている。
- ・前回調査と比較すると、『そう思う(計)』が5.0ポイント増加している。

図表Ⅳ－74 生きがいや幸せを感じる生活を送ることができている認識



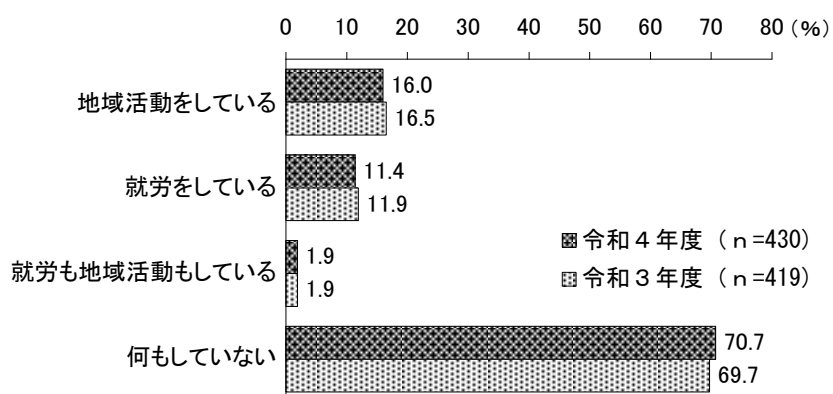
問26 65歳以上の方におたずねします。

あなたは、ボランティアなどの地域活動や就労を行っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

<全体／経年比較>

- ・「何もしていない」が70.7%で最も高く、次いで「地域活動をしている」(16.0%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－75 地域活動や就労を行っている 65 歳以上の区民の割合

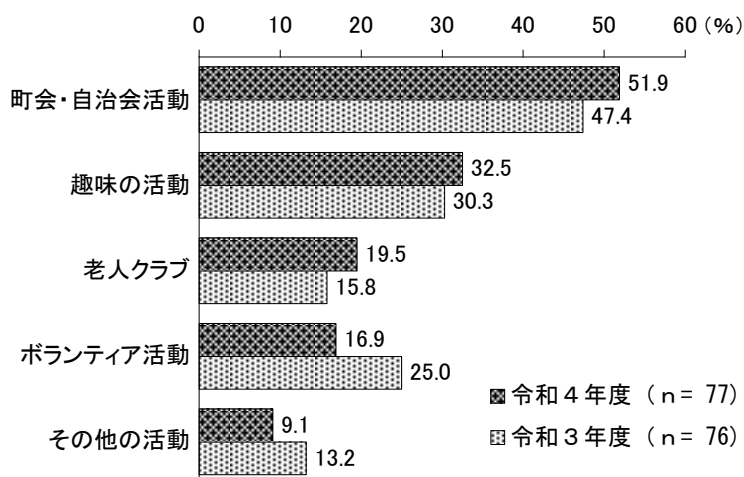


問26－1 問26で「2. 地域活動をしている」を選んだ方におたずねします。
 具体的な活動内容について、あてはまるものを選び○印をおつけください。
 (○はいくつでも)

<全体／経年比較>

- ・「町会・自治会活動」が51.9%で最も高く、次いで「趣味の活動」(32.5%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、「町会・自治会活動」が4.5ポイント増加、「ボランティア活動」が8.1ポイント減少している。

図表Ⅳ－76 具体的な活動

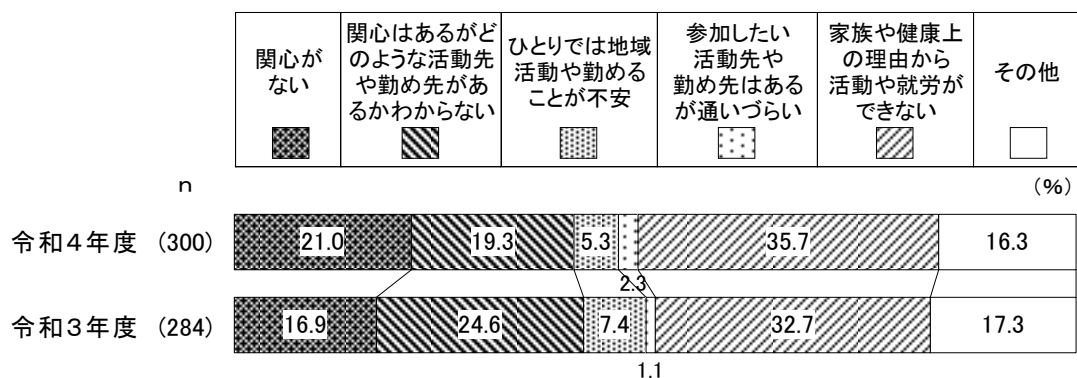


問26－2 問26で「3. 何もしていない」を選んだ方におたずねします。
地域活動や就労を行っていない理由について、あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「家族や健康上の理由から活動や就労ができない」が35.7%で最も高く、次いで「関心がない」(21.0%)、「関心はあるがどのような活動先や勤め先があるかわからない」(19.3%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、「関心がない」が4.1ポイント増加、「関心はあるがどのような活動先や勤め先があるかわからない」が5.3ポイント減少している。

図表Ⅳ－77 地域活動や就労を行っていない理由

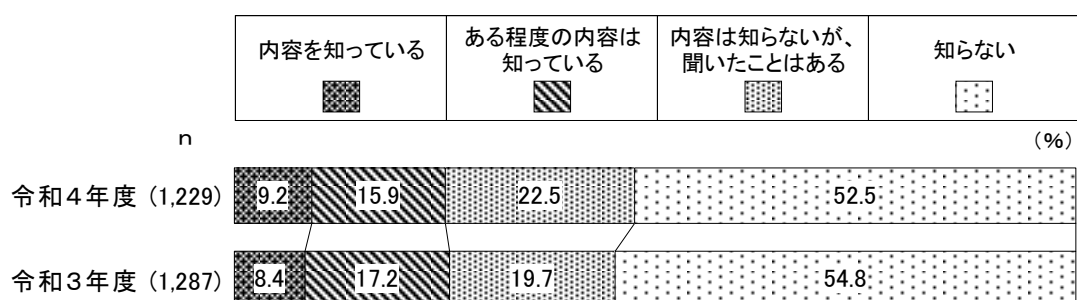


問27 地域包括支援センター（長寿サポートセンター）では、保健師（看護師）、社会福祉士、主任介護支援専門員などの専門職が互いに連携しながら高齢者の方が住み慣れた地域で暮らしていけるよう支援しています。あなたは、その活動内容を知っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

<全体／経年比較>

- ・「知らない」が52.5%で最も高く、次いで「内容は知らないが、聞いたことはある」（22.5%）となっている。
- ・「内容を知っている」（9.2%）と「ある程度の内容は知っている」（15.9%）を合わせた『内容を知っている（計）』の割合は25.1%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－78 地域包括支援センター（長寿サポートセンター）の活動の認知度



① 地区別

- ・地区別では、『内容を知っている（計）』の割合は、砂町地区（33.1%）、小松橋地区（28.9%）、大島地区（28.9%）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－79 地域包括支援センター（長寿サポートセンター）の活動の認知度（地区別）

	n	内容を知っている	ある程度の内容は知っている	内容は知らないが、聞いたことはある	知らない
全 体	1,229	9.2	15.9	22.5	52.5
白河	111	9.9	14.4	27.0	48.6
小松橋	90	10.0	18.9	21.1	50.0
富岡	91	6.6	17.6	28.6	47.3
東陽	99	5.1	16.2	23.2	55.6
豊洲	231	6.5	14.3	18.6	60.6
亀戸	142	7.0	14.1	19.7	59.2
大島	163	12.9	16.0	28.2	42.9
砂町	178	14.0	19.1	20.2	46.6
南砂	112	8.9	14.3	19.6	57.1
居住地区不詳	12	8.3	8.3	25.0	58.3

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『内容を知っている（計）』の割合は、女性（28.4%）の方が男性（20.2%）より8.2ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『内容を知っている（計）』の割合は、男性では60歳以上で男性全体を上回っている。女性では55歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－80 地域包括支援センター（長寿サポートセンター）の活動の認知度（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	内容を知っている	ある程度の内容は知っている	内容は知らないが、聞いたことはある	知らない
全 体	529	6.4	13.8	21.0	58.8
18～19歳	3	0.0	0.0	0.0	100.0
20～24歳	21	4.8	4.8	14.3	76.2
25～29歳	24	4.2	8.3	12.5	75.0
30～34歳	28	3.6	0.0	14.3	82.1
35～39歳	37	0.0	2.7	16.2	81.1
40～44歳	33	6.1	3.0	15.2	75.8
45～49歳	46	0.0	10.9	10.9	78.3
50～54歳	48	4.2	4.2	29.2	62.5
55～59歳	63	1.6	12.7	23.8	61.9
60～64歳	34	11.8	14.7	26.5	47.1
65～69歳	44	9.1	13.6	22.7	54.5
70～74歳	55	10.9	25.5	18.2	45.5
75歳以上	91	13.2	30.8	29.7	26.4
年齢不詳	2	0.0	0.0	0.0	100.0

<女 性>

(%)

	n	内容を知っている	ある程度の内容は知っている	内容は知らないが、聞いたことはある	知らない
全 体	651	10.9	17.5	23.3	48.2
18～19歳	4	0.0	0.0	0.0	100.0
20～24歳	18	0.0	16.7	33.3	50.0
25～29歳	32	6.3	12.5	21.9	59.4
30～34歳	37	0.0	10.8	10.8	78.4
35～39歳	50	4.0	14.0	16.0	66.0
40～44歳	58	5.2	5.2	19.0	70.7
45～49歳	67	1.5	13.4	29.9	55.2
50～54歳	76	7.9	17.1	23.7	51.3
55～59歳	62	12.9	24.2	21.0	41.9
60～64歳	35	22.9	11.4	25.7	40.0
65～69歳	56	19.6	17.9	16.1	46.4
70～74歳	58	5.2	25.9	34.5	34.5
75歳以上	97	27.8	27.8	26.8	17.5
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0

【障害者支援と共生社会の実現】

問28 江東区は、障害者が地域活動やスポーツ、趣味、イベント等の社会活動に参加しやすい環境が整っていると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。
(○は1つ)

＜全体／経年比較＞

- ・「わからない」が56.1%で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」(20.7%)となっている。
- ・「そう思う」(4.5%)と「どちらかといえばそう思う」(20.7%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は25.2%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－81 障害者が社会活動に参加しやすい環境が整っていると思う区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、白河地区(32.8%)、東陽地区(30.7%)、小松橋地区(27.2%)、大島地区(26.9%)、砂町地区(26.4%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－82 障害者が社会活動に参加しやすい環境が整っていると思う区民の割合(地区別)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	1,264	4.5	20.7	14.1	2.3	2.3	56.1
白河	116	5.2	27.6	6.0	0.9	0.9	59.5
小松橋	92	9.8	17.4	17.4	1.1	4.3	50.0
富岡	90	2.2	17.8	16.7	4.4	2.2	56.7
東陽	101	3.0	27.7	9.9	0.0	2.0	57.4
豊洲	239	2.9	21.3	17.2	1.3	2.5	54.8
亀戸	149	2.7	14.8	11.4	5.4	2.0	63.8
大島	171	2.9	24.0	16.4	2.3	2.3	52.0
砂町	182	6.6	19.8	15.9	3.8	1.6	52.2
南砂	112	5.4	15.2	11.6	0.9	3.6	63.4
居住地区不詳	12	25.0	25.0	16.7	0.0	0.0	33.3

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合は、女性（26.3％）の方が男性（23.3％）より3.0ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～34歳、45～59歳で男性全体を上回っている。女性では18～29歳、35～54歳、65～69歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－83 障害者が社会活動に参加しやすい環境が整っていると思う区民の割合（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	540	3.7	19.6	16.5	2.6	2.2	55.4
18～19歳	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7
20～24歳	21	0.0	23.8	4.8	4.8	4.8	61.9
25～29歳	24	4.2	29.2	12.5	4.2	0.0	50.0
30～34歳	29	6.9	17.2	17.2	6.9	3.4	48.3
35～39歳	37	0.0	18.9	8.1	2.7	5.4	64.9
40～44歳	37	2.7	13.5	16.2	0.0	0.0	67.6
45～49歳	47	10.6	23.4	12.8	4.3	2.1	46.8
50～54歳	51	3.9	29.4	15.7	3.9	0.0	47.1
55～59歳	66	3.0	21.2	19.7	1.5	3.0	51.5
60～64歳	36	2.8	13.9	16.7	2.8	2.8	61.1
65～69歳	43	0.0	11.6	37.2	0.0	4.7	46.5
70～74歳	55	3.6	16.4	10.9	1.8	1.8	65.5
75歳以上	90	4.4	18.9	17.8	2.2	1.1	55.6
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

<女 性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	676	4.9	21.4	12.0	2.2	2.4	57.1
18～19歳	4	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
20～24歳	20	10.0	25.0	5.0	0.0	5.0	55.0
25～29歳	33	18.2	15.2	9.1	0.0	0.0	57.6
30～34歳	38	2.6	2.6	5.3	7.9	2.6	78.9
35～39歳	53	3.8	22.6	15.1	0.0	5.7	52.8
40～44歳	62	4.8	29.0	9.7	1.6	3.2	51.6
45～49歳	70	7.1	21.4	12.9	1.4	2.9	54.3
50～54歳	84	3.6	25.0	10.7	1.2	1.2	58.3
55～59歳	66	3.0	22.7	10.6	3.0	6.1	54.5
60～64歳	37	2.7	21.6	8.1	2.7	0.0	64.9
65～69歳	56	0.0	28.6	12.5	3.6	1.8	53.6
70～74歳	58	3.4	19.0	20.7	3.4	1.7	51.7
75歳以上	94	6.4	17.0	13.8	2.1	0.0	60.6
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

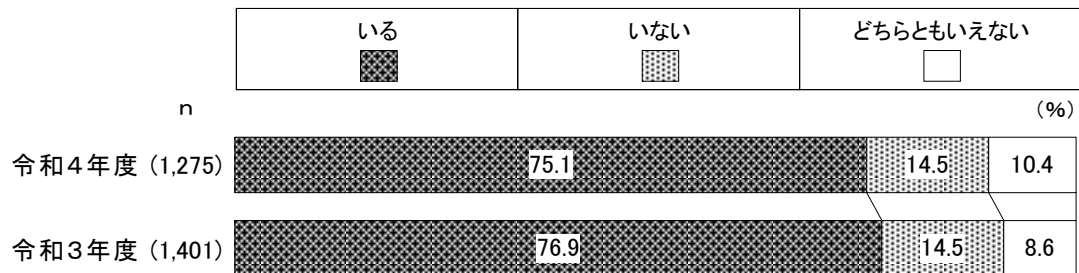
【地域福祉と生活支援の充実】

問29 日々の暮らしの中で、悩みや困りごとなど、生活の相談をすることが出来る相手があるあなたの身近にいますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

＜全体／経年比較＞

- ・「いる」が75.1%で、「いない」(14.5%)を上回っている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－84 身近に相談相手がいる区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、「いる」の割合は、白河地区 (79.5%)、南砂地区 (78.3%)、東陽地区 (77.2%)、大島地区 (76.0%) で全体を上回っている。

図表Ⅳ－85 身近に相談相手がいる区民の割合（地区別）

	n	いる	いない	どちらともいえない
全 体	1,275	75.1	14.5	10.4
白河	117	79.5	9.4	11.1
小松橋	91	72.5	15.4	12.1
富岡	91	74.7	15.4	9.9
東陽	101	77.2	13.9	8.9
豊洲	242	74.8	12.8	12.4
亀戸	149	70.5	21.5	8.1
大島	171	76.0	15.2	8.8
砂町	185	74.1	16.2	9.7
南砂	115	78.3	9.6	12.2
居住地区不詳	13	69.2	15.4	15.4

② 性年齢別

- ・男女別にみると、「いる」の割合は、女性（80.6％）の方が男性（68.8％）より11.8ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、「いる」の割合は、男性では25～34歳、45～54歳、70～74歳で男性全体を上回っている。女性では18～44歳、50～54歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－86 身近に相談相手がいる区民の割合（性年齢別）

＜男 性＞		(%)		
	n	いる	いない	どちらともいえない
全 体	544	68.8	18.2	13.1
18～19歳	3	66.7	0.0	33.3
20～24歳	21	66.7	9.5	23.8
25～29歳	24	75.0	12.5	12.5
30～34歳	29	79.3	20.7	0.0
35～39歳	37	56.8	18.9	24.3
40～44歳	37	64.9	18.9	16.2
45～49歳	48	75.0	22.9	2.1
50～54歳	51	82.4	7.8	9.8
55～59歳	66	66.7	18.2	15.2
60～64歳	36	61.1	22.2	16.7
65～69歳	44	59.1	22.7	18.2
70～74歳	55	70.9	10.9	18.2
75歳以上	91	68.1	24.2	7.7
年齢不詳	2	50.0	50.0	0.0

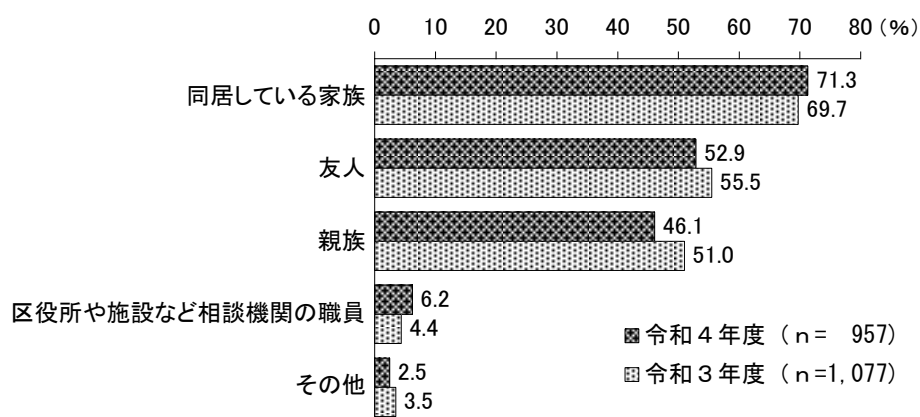
＜女 性＞		(%)		
	n	いる	いない	どちらともいえない
全 体	680	80.6	11.5	7.9
18～19歳	4	100.0	0.0	0.0
20～24歳	20	90.0	10.0	0.0
25～29歳	33	81.8	12.1	6.1
30～34歳	40	82.5	12.5	5.0
35～39歳	53	84.9	5.7	9.4
40～44歳	62	88.7	9.7	1.6
45～49歳	70	75.7	14.3	10.0
50～54歳	84	83.3	9.5	7.1
55～59歳	66	75.8	7.6	16.7
60～64歳	37	70.3	10.8	18.9
65～69歳	56	80.4	17.9	1.8
70～74歳	58	79.3	15.5	5.2
75歳以上	96	78.1	12.5	9.4
年齢不詳	1	100.0	0.0	0.0

問29－1 問29で「1. いる」と答えた方におたずねします。
相談する相手は、どのような方ですか。(〇はいくつでも)

<全体／経年比較>

- ・「同居している家族」が71.3%で最も高く、次いで「友人」(52.9%)、「親族」(46.1%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、「親族」が4.9ポイント減少している。

図表Ⅳ－87 具体的な相談相手



① 地区別

- ・地区別では、すべての地区で1位は「同居している家族」、2位は「友人」となっている。

図表Ⅳ－88 具体的な相談相手（地区別）

	n	同居している 家族	親族	友人	区役所や施設 など相談機関 の職員	その他
全 体	957	71.3	46.1	52.9	6.2	2.5
白河	93	66.7	46.2	52.7	10.8	1.1
小松橋	66	77.3	39.4	48.5	10.6	4.5
富岡	68	77.9	38.2	58.8	5.9	7.4
東陽	78	67.9	46.2	55.1	1.3	0.0
豊洲	181	75.7	47.5	51.9	5.5	2.2
亀戸	105	74.3	50.5	55.2	4.8	5.7
大島	130	77.7	38.5	48.5	8.5	3.1
砂町	137	62.8	51.1	53.3	6.6	0.7
南砂	90	64.4	51.1	57.8	2.2	0.0
居住地区不詳	9	33.3	55.6	22.2	0.0	0.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、男女ともに「同居している家族」が1位となっており、男性（78.6%）の方が女性（68.2%）より10.4ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、男性ではすべての年齢で「同居している家族」が1位となっている。女性では18～24歳、30～54歳、60～69歳、75歳以上で「同居している家族」が1位となっている。

図表Ⅳ－89 具体的な相談相手（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	同居している 家族	親族	友人	区役所や施設 など相談機関 の職員	その他
全 体	374	78.6	35.0	41.4	6.7	1.6
18～19歳	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	14	85.7	7.1	78.6	0.0	0.0
25～29歳	18	72.2	22.2	50.0	5.6	5.6
30～34歳	23	78.3	26.1	69.6	4.3	4.3
35～39歳	21	81.0	38.1	52.4	4.8	0.0
40～44歳	24	87.5	37.5	29.2	4.2	0.0
45～49歳	36	94.4	36.1	30.6	0.0	0.0
50～54歳	42	83.3	38.1	45.2	2.4	0.0
55～59歳	44	84.1	27.3	36.4	2.3	2.3
60～64歳	22	77.3	50.0	36.4	4.5	0.0
65～69歳	26	61.5	46.2	38.5	7.7	3.8
70～74歳	39	66.7	43.6	30.8	15.4	5.1
75歳以上	62	72.6	33.9	38.7	16.1	0.0
年齢不詳	1	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0

<女 性>

(%)

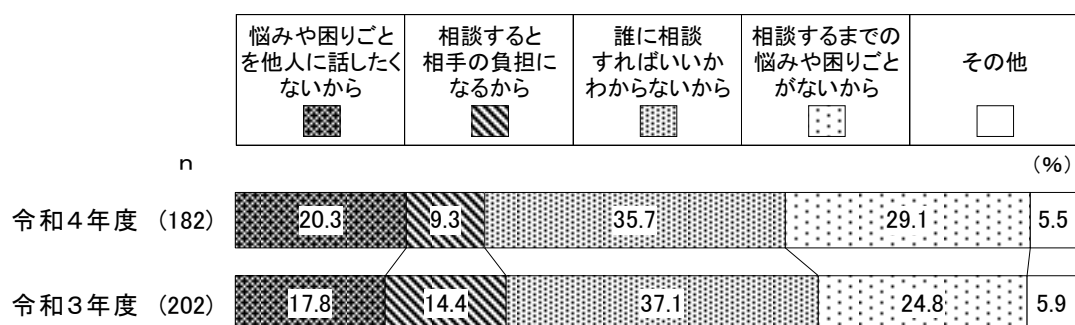
	n	同居している 家族	親族	友人	区役所や施設 など相談機関 の職員	その他
全 体	548	68.2	53.1	61.5	5.8	3.1
18～19歳	4	100.0	25.0	25.0	0.0	0.0
20～24歳	18	83.3	22.2	72.2	5.6	0.0
25～29歳	27	55.6	44.4	59.3	7.4	7.4
30～34歳	33	90.9	69.7	60.6	3.0	3.0
35～39歳	45	84.4	68.9	73.3	6.7	2.2
40～44歳	55	70.9	69.1	67.3	9.1	5.5
45～49歳	53	77.4	52.8	64.2	3.8	1.9
50～54歳	70	68.6	45.7	61.4	4.3	1.4
55～59歳	50	70.0	44.0	76.0	2.0	4.0
60～64歳	26	80.8	50.0	65.4	0.0	3.8
65～69歳	45	57.8	53.3	55.6	8.9	4.4
70～74歳	46	52.2	56.5	47.8	4.3	2.2
75歳以上	75	50.7	49.3	49.3	10.7	2.7
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

問29－2 問29で「2. いない」と答えた方におたずねします。
あなたが相談相手がいなくて感じている理由について、最もあてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

＜全体／経年比較＞

- ・「誰に相談すればいいかわからないから」が35.7%で最も高く、次いで「相談するまでの悩みや困りごとがないから」(29.1%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、「相談するまでの悩みや困りごとがないから」が4.3ポイント増加、「相談すると相手の負担になるから」が5.1ポイント減少している。

図表Ⅳ－90 相談相手がいらない理由



① 地区別

- ・地区別では、「誰に相談すればいいかわからないから」の割合は、大島地区 (50.0%)、南砂地区 (45.5%)、富岡地区 (42.9%)、豊洲地区 (41.9%)、東陽地区 (38.5%) で全体を上回っている。

図表Ⅳ－91 相談相手がいらない理由 (地区別)

	n	悩みや困りごとを他人に話したくないから	相談すると相手の負担になるから	誰に相談すればいいかわからないから	相談するまでの悩みや困りごとがないから	その他
全 体	182	20.3	9.3	35.7	29.1	5.5
白河	11	9.1	9.1	27.3	54.5	0.0
小松橋	13	30.8	7.7	30.8	30.8	0.0
富岡	14	14.3	7.1	42.9	28.6	7.1
東陽	13	30.8	0.0	38.5	30.8	0.0
豊洲	31	22.6	3.2	41.9	22.6	9.7
亀戸	31	29.0	19.4	22.6	22.6	6.5
大島	26	11.5	3.8	50.0	30.8	3.8
砂町	30	20.0	13.3	26.7	40.0	0.0
南砂	11	9.1	9.1	45.5	9.1	27.3
居住地区不詳	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、男女ともに「誰に相談すればいいかわからないから」が1位となっており、男性（38.1%）の方が女性（31.2%）より6.9ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、男性では25～54歳、60～64歳、75歳以上で「誰に相談すればいいかわからないから」が同率を含め1位となっている。女性では20～29歳、35～39歳、50～54歳、60～69歳で「誰に相談すればいいかわからないから」が同率を含め1位となっている。

図表Ⅳ－92 相談相手がいない理由（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	悩みや困りごと を他人に話した くないから	相談すると 相手の負担に なるから	誰に相談 すればいいか わからないから	相談するまでの 悩みや困りごと がないから	その他
全 体	97	18.6	6.2	38.1	29.9	7.2
18～19歳	0	—	—	—	—	—
20～24歳	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
25～29歳	3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0
30～34歳	6	16.7	0.0	66.7	0.0	16.7
35～39歳	7	14.3	0.0	42.9	14.3	28.6
40～44歳	7	0.0	14.3	57.1	28.6	0.0
45～49歳	10	10.0	0.0	50.0	30.0	10.0
50～54歳	4	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0
55～59歳	11	36.4	0.0	18.2	45.5	0.0
60～64歳	8	25.0	0.0	37.5	37.5	0.0
65～69歳	10	0.0	0.0	20.0	50.0	30.0
70～74歳	6	16.7	0.0	16.7	66.7	0.0
75歳以上	22	22.7	18.2	36.4	22.7	0.0
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

<女 性>

(%)

	n	悩みや困りごと を他人に話した くないから	相談すると 相手の負担に なるから	誰に相談 すればいいか わからないから	相談するまでの 悩みや困りごと がないから	その他
全 体	77	23.4	11.7	31.2	29.9	3.9
18～19歳	0	—	—	—	—	—
20～24歳	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
25～29歳	4	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0
30～34歳	5	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0
35～39歳	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
40～44歳	6	50.0	0.0	33.3	16.7	0.0
45～49歳	10	40.0	0.0	30.0	20.0	10.0
50～54歳	8	25.0	12.5	37.5	25.0	0.0
55～59歳	5	0.0	0.0	20.0	60.0	20.0
60～64歳	4	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0
65～69歳	10	0.0	20.0	40.0	40.0	0.0
70～74歳	9	22.2	0.0	33.3	44.4	0.0
75歳以上	12	41.7	8.3	8.3	41.7	0.0
年齢不詳	0	—	—	—	—	—

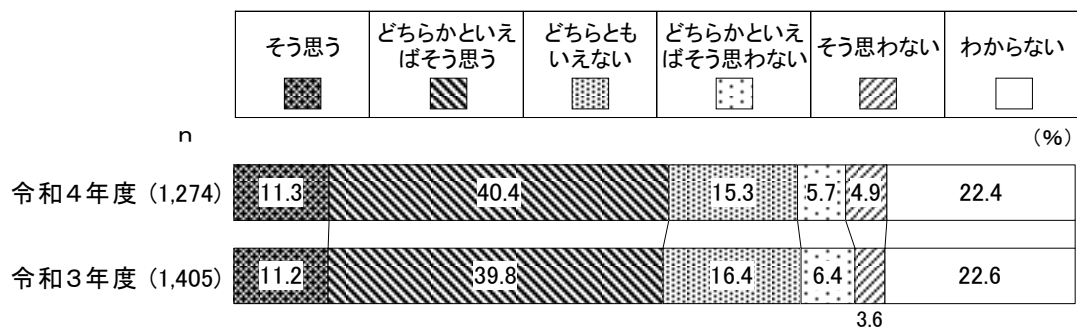
【計画的なまちづくりの推進】

問30 江東区は、地域の特色を活かしたまちづくりが進んでいると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

＜全体／経年比較＞

- ・「どちらかといえばそう思う」が40.4%で最も高く、次いで「わからない」(22.4%)となっている。
- ・「そう思う」(11.3%)と「どちらかといえばそう思う」(40.4%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は51.7%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－93 地域の特色を活かしたまちづくりへの評価



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、白河地区(60.7%)、豊洲地区(60.3%)、富岡地区(57.8%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－94 地域の特色を活かしたまちづくりへの評価(地区別)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	1,274	11.3	40.4	15.3	5.7	4.9	22.4
白河	117	17.1	43.6	14.5	3.4	4.3	17.1
小松橋	92	15.2	34.8	16.3	8.7	2.2	22.8
富岡	90	8.9	48.9	17.8	7.8	3.3	13.3
東陽	101	8.9	38.6	17.8	5.0	5.9	23.8
豊洲	242	14.0	46.3	10.7	4.5	5.8	18.6
亀戸	149	3.4	31.5	18.1	8.1	6.7	32.2
大島	172	8.1	38.4	16.3	5.2	2.9	29.1
砂町	184	12.0	39.7	16.3	6.0	5.4	20.7
南砂	115	11.3	40.0	14.8	5.2	6.1	22.6
居住地区不詳	12	41.7	41.7	8.3	0.0	0.0	8.3

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～34歳、45～59歳で男性全体を上回っている。女性では20～29歳、35～54歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－95 地域の特色を活かしたまちづくりへの評価（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	545	10.6	39.3	16.3	7.0	5.9	20.9
18～19歳	3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3
20～24歳	21	14.3	42.9	9.5	4.8	4.8	23.8
25～29歳	24	16.7	45.8	12.5	4.2	4.2	16.7
30～34歳	29	17.2	41.4	20.7	3.4	3.4	13.8
35～39歳	38	2.6	42.1	15.8	15.8	2.6	21.1
40～44歳	37	16.2	27.0	16.2	8.1	2.7	29.7
45～49歳	48	20.8	39.6	14.6	10.4	6.3	8.3
50～54歳	51	7.8	54.9	15.7	5.9	3.9	11.8
55～59歳	66	4.5	45.5	15.2	9.1	7.6	18.2
60～64歳	37	8.1	37.8	27.0	8.1	8.1	10.8
65～69歳	44	6.8	34.1	15.9	9.1	9.1	25.0
70～74歳	55	14.5	25.5	10.9	5.5	3.6	40.0
75歳以上	90	8.9	36.7	20.0	2.2	7.8	24.4
年齢不詳	2	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0

<女 性>

(%)

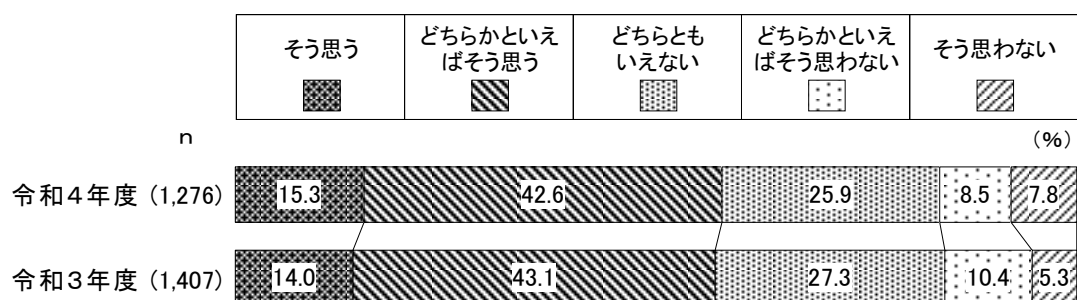
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	679	11.2	41.4	14.4	4.7	4.4	23.9
18～19歳	4	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0
20～24歳	20	25.0	45.0	5.0	0.0	0.0	25.0
25～29歳	33	12.1	45.5	9.1	6.1	3.0	24.2
30～34歳	40	12.5	37.5	7.5	12.5	7.5	22.5
35～39歳	53	15.1	39.6	11.3	3.8	3.8	26.4
40～44歳	62	9.7	54.8	14.5	3.2	0.0	17.7
45～49歳	70	17.1	35.7	15.7	1.4	5.7	24.3
50～54歳	84	7.1	46.4	20.2	6.0	3.6	16.7
55～59歳	66	7.6	42.4	21.2	1.5	0.0	27.3
60～64歳	37	16.2	35.1	13.5	5.4	2.7	27.0
65～69歳	56	5.4	39.3	17.9	10.7	7.1	19.6
70～74歳	56	3.6	46.4	10.7	7.1	5.4	26.8
75歳以上	97	13.4	34.0	12.4	2.1	8.2	29.9
年齢不詳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問31 あなたは、江東区のまち並みについて美しいと思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「どちらかといえばそう思う」が42.6%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(25.9%)となっている。
- ・「そう思う」(15.3%)と「どちらかといえばそう思う」(42.6%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は57.9%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－96 江東区のまち並みが美しいと思う区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、豊洲地区(73.3%)、東陽地区(66.3%)、富岡地区(63.8%)、南砂地区(62.6%)、白河地区(60.7%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－97 江東区のまち並みが美しいと思う区民の割合(地区別)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
全 体	1,276	15.3	42.6	25.9	8.5	7.8
白河	117	21.4	39.3	26.5	6.0	6.8
小松橋	92	16.3	35.9	27.2	15.2	5.4
富岡	91	19.8	44.0	20.9	12.1	3.3
東陽	101	10.9	55.4	19.8	4.0	9.9
豊洲	243	23.5	49.8	16.9	4.5	5.3
亀戸	147	5.4	32.7	38.8	12.9	10.2
大島	172	9.3	37.8	30.8	12.2	9.9
砂町	185	13.5	40.5	29.7	7.6	8.6
南砂	115	16.5	46.1	22.6	5.2	9.6
居住地区不詳	13	7.7	46.2	23.1	15.4	7.7

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合は、女性（60.4％）の方が男性（55.0％）より5.4ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～49歳、65～69歳で男性全体を上回っている。女性では18～29歳、35～59歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－98 江東区のまち並みが美しいと思う区民の割合（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
全 体	544	17.1	37.9	26.3	9.6	9.2
18～19歳	3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
20～24歳	21	38.1	38.1	19.0	4.8	0.0
25～29歳	24	33.3	29.2	25.0	0.0	12.5
30～34歳	29	27.6	31.0	24.1	13.8	3.4
35～39歳	38	15.8	44.7	18.4	10.5	10.5
40～44歳	37	16.2	48.6	18.9	5.4	10.8
45～49歳	48	25.0	47.9	8.3	6.3	12.5
50～54歳	51	17.6	35.3	29.4	11.8	5.9
55～59歳	66	10.6	34.8	30.3	13.6	10.6
60～64歳	37	10.8	37.8	29.7	8.1	13.5
65～69歳	44	11.4	47.7	27.3	4.5	9.1
70～74歳	54	16.7	27.8	33.3	16.7	5.6
75歳以上	90	11.1	35.6	33.3	10.0	10.0
年齢不詳	2	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0

<女 性>

(%)

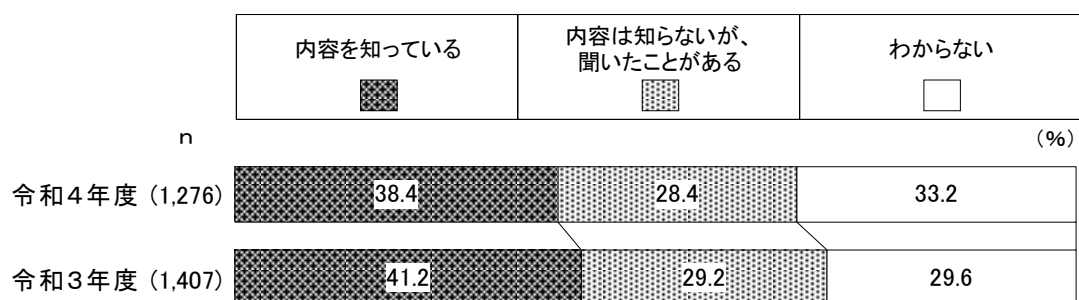
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
全 体	681	14.0	46.4	25.6	7.5	6.6
18～19歳	4	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0
20～24歳	20	25.0	40.0	20.0	10.0	5.0
25～29歳	33	18.2	54.5	12.1	9.1	6.1
30～34歳	40	17.5	37.5	25.0	7.5	12.5
35～39歳	53	15.1	50.9	15.1	11.3	7.5
40～44歳	62	21.0	45.2	22.6	6.5	4.8
45～49歳	70	17.1	48.6	21.4	10.0	2.9
50～54歳	84	9.5	54.8	25.0	7.1	3.6
55～59歳	66	7.6	56.1	24.2	7.6	4.5
60～64歳	37	13.5	35.1	35.1	8.1	8.1
65～69歳	56	3.6	35.7	37.5	16.1	7.1
70～74歳	58	12.1	43.1	36.2	0.0	8.6
75歳以上	97	16.5	43.3	27.8	3.1	9.3
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

問32 あなたは、「ユニバーサルデザイン」について知っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「内容を知っている」が38.4%で最も高く、次いで「わからない」(33.2%)、「内容は知らないが、聞いたことがある」(28.4%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、「わからない」が3.6ポイント増加している。

図表Ⅳ－99 「ユニバーサルデザイン」の認知状況



① 地区別

- ・地区別では、「内容を知っている」の割合は、富岡地区 (51.6%)、豊洲地区 (45.5%)、東陽地区 (43.6%)、小松橋地区 (40.2%) で全体を上回っている。

図表Ⅳ－100 「ユニバーサルデザイン」の認知状況 (地区別)

	n	内容を知っている	内容は知らないが、聞いたことがある	わからない
全 体	1,276	38.4	28.4	33.2
白河	117	34.2	28.2	37.6
小松橋	92	40.2	32.6	27.2
富岡	91	51.6	23.1	25.3
東陽	101	43.6	25.7	30.7
豊洲	242	45.5	29.8	24.8
亀戸	148	35.8	25.0	39.2
大島	172	35.5	34.9	29.7
砂町	185	32.4	25.9	41.6
南砂	115	32.2	29.6	38.3
居住地区不詳	13	7.7	15.4	76.9

② 性年齢別

- ・男女別にみると、「内容を知っている」の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、「内容を知っている」の割合は、男性では18～34歳、40～59歳で男性全体を上回っている。女性では18～44歳、50～64歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－101 「ユニバーサルデザイン」の認知状況（性年齢別）

＜男 性＞		(%)		
	n	内容を知っている	内容は知らないが、聞いたことがある	わからない
全 体	545	40.0	26.8	33.2
18～19歳	3	100.0	0.0	0.0
20～24歳	21	66.7	23.8	9.5
25～29歳	24	62.5	20.8	16.7
30～34歳	29	65.5	10.3	24.1
35～39歳	38	39.5	26.3	34.2
40～44歳	37	54.1	16.2	29.7
45～49歳	48	54.2	27.1	18.8
50～54歳	51	64.7	17.6	17.6
55～59歳	66	42.4	31.8	25.8
60～64歳	37	32.4	32.4	35.1
65～69歳	44	31.8	34.1	34.1
70～74歳	55	14.5	25.5	60.0
75歳以上	90	12.2	36.7	51.1
年齢不詳	2	0.0	0.0	100.0

＜女 性＞		(%)		
	n	内容を知っている	内容は知らないが、聞いたことがある	わからない
全 体	680	39.1	29.3	31.6
18～19歳	4	100.0	0.0	0.0
20～24歳	20	85.0	15.0	0.0
25～29歳	33	66.7	18.2	15.2
30～34歳	40	57.5	22.5	20.0
35～39歳	53	52.8	24.5	22.6
40～44歳	62	45.2	33.9	21.0
45～49歳	70	38.6	40.0	21.4
50～54歳	84	40.5	31.0	28.6
55～59歳	66	47.0	25.8	27.3
60～64歳	37	48.6	24.3	27.0
65～69歳	56	21.4	33.9	44.6
70～74歳	57	19.3	33.3	47.4
75歳以上	97	11.3	28.9	59.8
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0

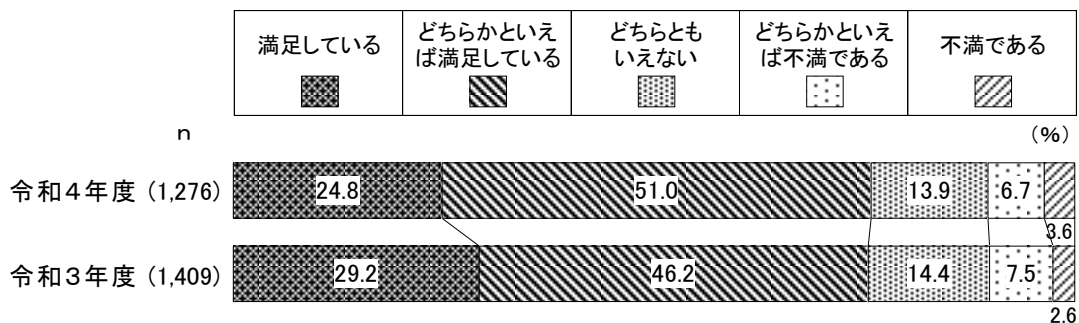
【良好な住宅の形成と住環境の向上】

問33 あなたは、今お住まいの周辺の環境について満足していますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

＜全体／経年比較＞

- ・「どちらかといえば満足している」が51.0%で最も高く、次いで「満足している」(24.8%)となっている。
- ・これらを合わせた『満足している(計)』の割合は75.8%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－102 住宅の周辺環境への満足度



① 地区別

- ・地区別では、『満足している(計)』の割合は、白河地区(84.6%)、東陽地区(84.1%)、富岡地区(83.5%)、豊洲地区(79.0%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－103 住宅の周辺環境への満足度(地区別)

	n	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である
全 体	1,276	24.8	51.0	13.9	6.7	3.6
白河	117	34.2	50.4	7.7	4.3	3.4
小松橋	92	23.9	50.0	10.9	12.0	3.3
富岡	91	31.9	51.6	12.1	3.3	1.1
東陽	101	26.7	57.4	7.9	5.9	2.0
豊洲	243	32.5	46.5	11.5	5.8	3.7
亀戸	147	19.0	53.7	14.3	6.8	6.1
大島	172	18.6	50.6	18.6	8.1	4.1
砂町	185	17.8	53.5	17.8	7.6	3.2
南砂	115	20.0	51.3	17.4	7.0	4.3
居住地区不詳	13	30.8	30.8	38.5	0.0	0.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『満足している（計）』の割合は、女性（78.5%）の方が男性（72.6%）より5.9ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『満足している（計）』の割合は、男性では25～34歳、40～44歳、50～54歳、75歳以上で男性全体を上回っている。女性では20～49歳、55～59歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－104 住宅の周辺環境への満足度（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	満足している	どちらかといえ ば満足している	どちらとも いえない	どちらかといえ ば不満である	不満である
全 体	544	22.4	50.2	14.7	7.4	5.3
18～19歳	3	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0
20～24歳	21	42.9	28.6	9.5	19.0	0.0
25～29歳	24	29.2	50.0	12.5	8.3	0.0
30～34歳	29	41.4	37.9	17.2	3.4	0.0
35～39歳	38	21.1	47.4	10.5	15.8	5.3
40～44歳	37	27.0	45.9	5.4	8.1	13.5
45～49歳	48	14.6	52.1	20.8	8.3	4.2
50～54歳	51	27.5	56.9	7.8	3.9	3.9
55～59歳	66	15.2	54.5	12.1	7.6	10.6
60～64歳	36	13.9	55.6	16.7	8.3	5.6
65～69歳	44	15.9	54.5	18.2	2.3	9.1
70～74歳	54	18.5	38.9	24.1	14.8	3.7
75歳以上	91	25.3	54.9	15.4	1.1	3.3
年齢不詳	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

<女 性>

(%)

	n	満足している	どちらかといえ ば満足している	どちらとも いえない	どちらかといえ ば不満である	不満である
全 体	681	27.0	51.5	12.6	6.3	2.5
18～19歳	4	75.0	0.0	0.0	0.0	25.0
20～24歳	20	60.0	30.0	0.0	10.0	0.0
25～29歳	33	27.3	57.6	6.1	3.0	6.1
30～34歳	40	27.5	52.5	15.0	0.0	5.0
35～39歳	53	30.2	56.6	5.7	3.8	3.8
40～44歳	62	12.9	66.1	6.5	6.5	8.1
45～49歳	70	20.0	60.0	8.6	11.4	0.0
50～54歳	84	27.4	42.9	14.3	13.1	2.4
55～59歳	66	27.3	54.5	16.7	1.5	0.0
60～64歳	37	32.4	40.5	18.9	8.1	0.0
65～69歳	56	21.4	57.1	16.1	3.6	1.8
70～74歳	58	27.6	46.6	15.5	6.9	3.4
75歳以上	97	30.9	46.4	17.5	5.2	0.0
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

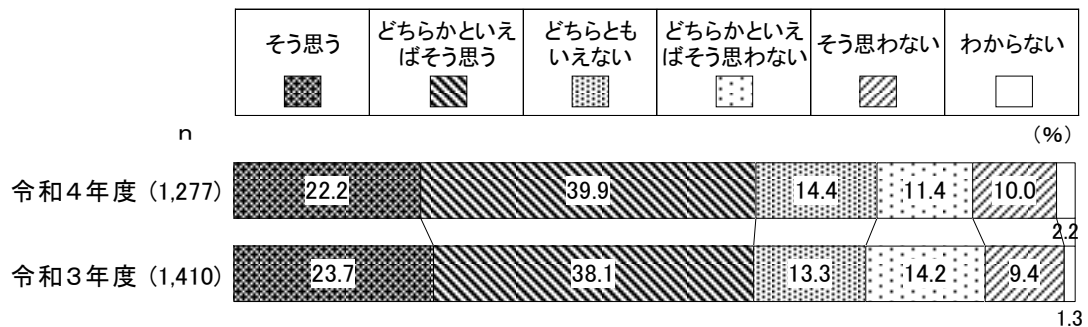
【便利で安全な道路・交通ネットワークの整備】

問34 あなたは、江東区内を便利で快適に移動できると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

＜全体／経年比較＞

- ・「どちらかといえばそう思う」が39.9%で最も高く、次いで「そう思う」(22.2%)となっている。
- ・これらを合わせた『そう思う(計)』の割合は62.1%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－105 公共交通による移動の利便性



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、富岡地区(80.3%)、東陽地区(74.3%)、白河地区(71.8%)、南砂地区(65.2%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－106 公共交通による移動の利便性(地区別)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	1,277	22.2	39.9	14.4	11.4	10.0	2.2
白河	117	29.9	41.9	9.4	8.5	8.5	1.7
小松橋	92	18.5	41.3	15.2	15.2	5.4	4.3
富岡	91	34.1	46.2	9.9	7.7	2.2	0.0
東陽	101	34.7	39.6	9.9	5.9	7.9	2.0
豊洲	243	21.0	38.3	15.6	12.8	11.1	1.2
亀戸	148	14.2	35.8	16.2	20.9	10.8	2.0
大島	172	16.9	40.7	19.2	9.3	11.6	2.3
砂町	185	15.7	41.1	15.1	10.3	14.6	3.2
南砂	115	26.1	39.1	13.0	8.7	10.4	2.6
居住地区不詳	13	38.5	23.1	15.4	7.7	7.7	7.7

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～19歳、25～29歳、40～44歳、50～54歳、65歳以上で男性全体を上回っている。女性では18～24歳、35～39歳、65歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－107 公共交通による移動の利便性（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	544	20.4	41.5	13.4	12.5	10.5	1.7
18～19歳	3	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
20～24歳	21	38.1	19.0	14.3	19.0	9.5	0.0
25～29歳	24	20.8	54.2	4.2	4.2	16.7	0.0
30～34歳	29	37.9	13.8	17.2	17.2	13.8	0.0
35～39歳	38	7.9	39.5	7.9	31.6	10.5	2.6
40～44歳	37	21.6	48.6	5.4	13.5	8.1	2.7
45～49歳	48	8.3	43.8	20.8	18.8	8.3	0.0
50～54歳	51	19.6	47.1	17.6	7.8	7.8	0.0
55～59歳	66	19.7	36.4	13.6	16.7	13.6	0.0
60～64歳	36	13.9	38.9	11.1	19.4	13.9	2.8
65～69歳	44	11.4	52.3	22.7	0.0	9.1	4.5
70～74歳	54	24.1	38.9	13.0	11.1	9.3	3.7
75歳以上	91	26.4	47.3	11.0	4.4	8.8	2.2
年齢不詳	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

<女 性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	682	22.6	39.3	15.0	11.0	9.7	2.5
18～19歳	4	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	20	55.0	25.0	5.0	10.0	5.0	0.0
25～29歳	33	24.2	24.2	9.1	21.2	21.2	0.0
30～34歳	40	12.5	40.0	20.0	10.0	15.0	2.5
35～39歳	53	18.9	47.2	3.8	17.0	11.3	1.9
40～44歳	62	17.7	40.3	22.6	16.1	3.2	0.0
45～49歳	70	18.6	38.6	14.3	15.7	11.4	1.4
50～54歳	84	17.9	40.5	15.5	13.1	11.9	1.2
55～59歳	66	15.2	45.5	19.7	9.1	9.1	1.5
60～64歳	37	16.2	32.4	29.7	10.8	10.8	0.0
65～69歳	56	16.1	50.0	8.9	8.9	8.9	7.1
70～74歳	58	29.3	39.7	12.1	6.9	6.9	5.2
75歳以上	98	35.7	34.7	15.3	2.0	7.1	5.1
年齢不詳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

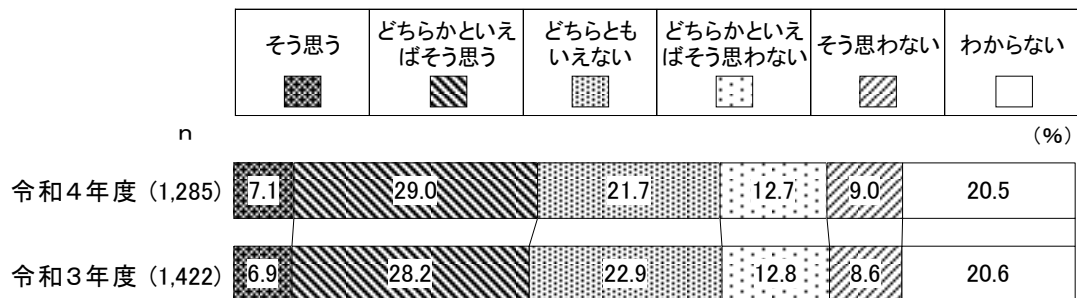
【災害に強い都市の形成】

問35 江東区は、災害に強いまちづくりが進んでいると思いますか。あてはまるものを選び
○印をおつけください。(○は1つ)

＜全体／経年比較＞

- ・「どちらかといえばそう思う」が29.0%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(21.7%)となっている。
- ・「そう思う」(7.1%)と「どちらかといえばそう思う」(29.0%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は36.1%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－108 災害に強いまちづくりが進んでいると思う区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、豊洲地区(46.3%)、白河地区(43.2%)、南砂地区(37.6%)、富岡地区(37.4%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－109 災害に強いまちづくりが進んでいると思う区民の割合(地区別)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう 思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう 思わない	そう思わない	わからない	(%)
全 体	1,285	7.1	29.0	21.7	12.7	9.0	20.5	
白河	118	9.3	33.9	17.8	11.0	4.2	23.7	
小松橋	93	7.5	28.0	20.4	15.1	8.6	20.4	
富岡	91	5.5	31.9	29.7	14.3	4.4	14.3	
東陽	101	3.0	27.7	22.8	10.9	9.9	25.7	
豊洲	244	9.0	37.3	18.9	8.6	7.4	18.9	
亀戸	151	2.0	18.5	20.5	18.5	13.9	26.5	
大島	171	4.1	30.4	19.9	13.5	12.3	19.9	
砂町	186	9.7	22.0	28.0	15.1	10.8	14.5	
南砂	117	7.7	29.9	21.4	9.4	7.7	23.9	
居住地区不詳	13	46.2	23.1	7.7	7.7	0.0	15.4	

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性（37.6%）の方が女性（33.5%）より4.1ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では20～34歳、45～54歳、70歳以上で男性全体を上回っている。女性では20～24歳、50～54歳、60～64歳、70歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－110 災害に強いまちづくりが進んでいると思う区民の割合（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	550	7.1	30.5	22.7	13.1	10.2	16.4
18～19歳	3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3
20～24歳	21	9.5	38.1	9.5	9.5	9.5	23.8
25～29歳	24	12.5	29.2	29.2	12.5	8.3	8.3
30～34歳	29	6.9	44.8	13.8	6.9	10.3	17.2
35～39歳	38	0.0	23.7	18.4	10.5	18.4	28.9
40～44歳	37	0.0	27.0	10.8	16.2	8.1	37.8
45～49歳	48	0.0	45.8	20.8	16.7	12.5	4.2
50～54歳	51	7.8	31.4	29.4	15.7	7.8	7.8
55～59歳	66	6.1	22.7	18.2	21.2	13.6	18.2
60～64歳	37	8.1	18.9	40.5	8.1	16.2	8.1
65～69歳	44	6.8	29.5	31.8	13.6	9.1	9.1
70～74歳	57	10.5	29.8	22.8	15.8	5.3	15.8
75歳以上	93	12.9	32.3	23.7	6.5	6.5	18.3
年齢不詳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0

<女 性>

(%)

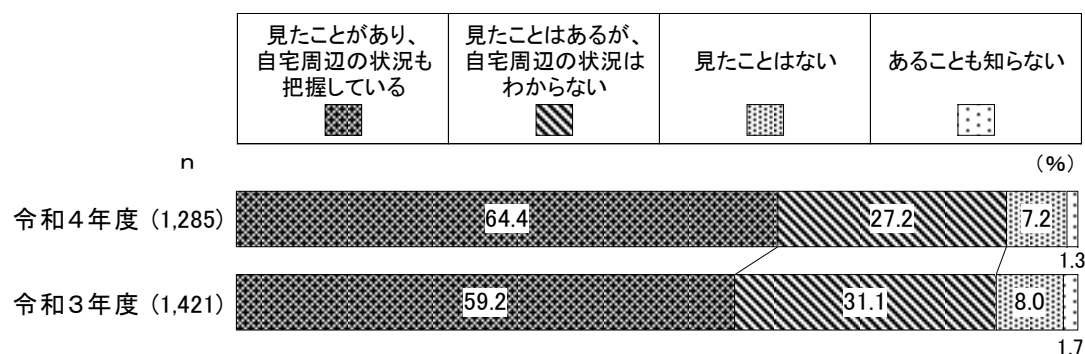
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	686	6.1	27.4	21.4	12.5	8.3	24.2
18～19歳	4	0.0	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0
20～24歳	20	10.0	30.0	10.0	10.0	10.0	30.0
25～29歳	33	3.0	18.2	15.2	27.3	9.1	27.3
30～34歳	40	2.5	27.5	7.5	10.0	22.5	30.0
35～39歳	53	1.9	26.4	13.2	17.0	9.4	32.1
40～44歳	61	1.6	21.3	27.9	16.4	9.8	23.0
45～49歳	70	4.3	24.3	25.7	7.1	10.0	28.6
50～54歳	84	6.0	29.8	31.0	13.1	4.8	15.5
55～59歳	66	3.0	27.3	24.2	12.1	4.5	28.8
60～64歳	36	2.8	36.1	13.9	11.1	2.8	33.3
65～69歳	58	5.2	25.9	25.9	13.8	8.6	20.7
70～74歳	60	11.7	36.7	16.7	11.7	6.7	16.7
75歳以上	100	14.0	27.0	21.0	9.0	7.0	22.0
年齢不詳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問36 あなたは、江東区洪水ハザードマップを見たことがありますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「見たことがあり、自宅周辺の状況も把握している」が64.4%で最も高く、次いで「見たことはあるが、自宅周辺の状況はわからない」(27.2%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、「見たことがあり、自宅周辺の状況も把握している」が5.2ポイント増加している。

図表Ⅳ－111 江東区のハザードマップの認知度



① 地区別

- ・地区別では、「見たことがあり、自宅周辺の状況も把握している」の割合は、東陽地区 (69.3%)、白河地区 (66.9%)、南砂地区 (66.9%)、豊洲地区 (66.4%) で全体を上回っている。

図表Ⅳ－112 江東区のハザードマップの認知度 (地区別)

	n	見たことがあり、 自宅周辺の状況も 把握している	見たことはあるが、 自宅周辺の状況は わからない	見たことはない	あることも知らない
全 体	1,285	64.4	27.2	7.2	1.3
白河	118	66.9	23.7	8.5	0.8
小松橋	93	63.4	25.8	9.7	1.1
富岡	91	63.7	25.3	9.9	1.1
東陽	101	69.3	22.8	6.9	1.0
豊洲	244	66.4	26.2	5.7	1.6
亀戸	151	62.9	27.8	6.6	2.6
大島	170	62.4	28.2	8.8	0.6
砂町	187	60.4	32.6	5.9	1.1
南砂	118	66.9	26.3	5.1	1.7
居住地区不詳	12	50.0	41.7	8.3	0.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、「見たことがあり、自宅周辺の状況も把握している」の割合は、男性（68.2%）の方が女性（62.1%）より6.1ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、「見たことがあり、自宅周辺の状況も把握している」の割合は、男性では25～29歳、35～54歳で男性全体を上回っている。女性では20～24歳、30～59歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－113 江東区のハザードマップの認知度（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	見たことがあり、 自宅周辺の状況も 把握している	見たことはあるが、 自宅周辺の状況は わからない	見たことはない	あることも知らない
全 体	551	68.2	24.3	5.6	1.8
18～19歳	3	66.7	33.3	0.0	0.0
20～24歳	21	38.1	47.6	9.5	4.8
25～29歳	24	75.0	20.8	0.0	4.2
30～34歳	29	65.5	27.6	6.9	0.0
35～39歳	38	71.1	26.3	2.6	0.0
40～44歳	37	70.3	18.9	5.4	5.4
45～49歳	48	79.2	20.8	0.0	0.0
50～54歳	51	82.4	13.7	3.9	0.0
55～59歳	66	66.7	25.8	6.1	1.5
60～64歳	37	67.6	27.0	5.4	0.0
65～69歳	44	68.2	20.5	11.4	0.0
70～74歳	57	64.9	24.6	5.3	5.3
75歳以上	94	63.8	26.6	7.4	2.1
年齢不詳	2	0.0	50.0	50.0	0.0

<女 性>

(%)

	n	見たことがあり、 自宅周辺の状況も 把握している	見たことはあるが、 自宅周辺の状況は わからない	見たことはない	あることも知らない
全 体	686	62.1	29.3	7.7	0.9
18～19歳	4	25.0	75.0	0.0	0.0
20～24歳	20	70.0	20.0	10.0	0.0
25～29歳	33	60.6	27.3	12.1	0.0
30～34歳	40	70.0	22.5	7.5	0.0
35～39歳	53	75.5	20.8	3.8	0.0
40～44歳	61	77.0	16.4	6.6	0.0
45～49歳	70	65.7	25.7	8.6	0.0
50～54歳	84	65.5	29.8	4.8	0.0
55～59歳	66	69.7	22.7	6.1	1.5
60～64歳	36	61.1	33.3	5.6	0.0
65～69歳	58	53.4	34.5	12.1	0.0
70～74歳	60	46.7	41.7	11.7	0.0
75歳以上	100	47.0	40.0	8.0	5.0
年齢不詳	1	100.0	0.0	0.0	0.0

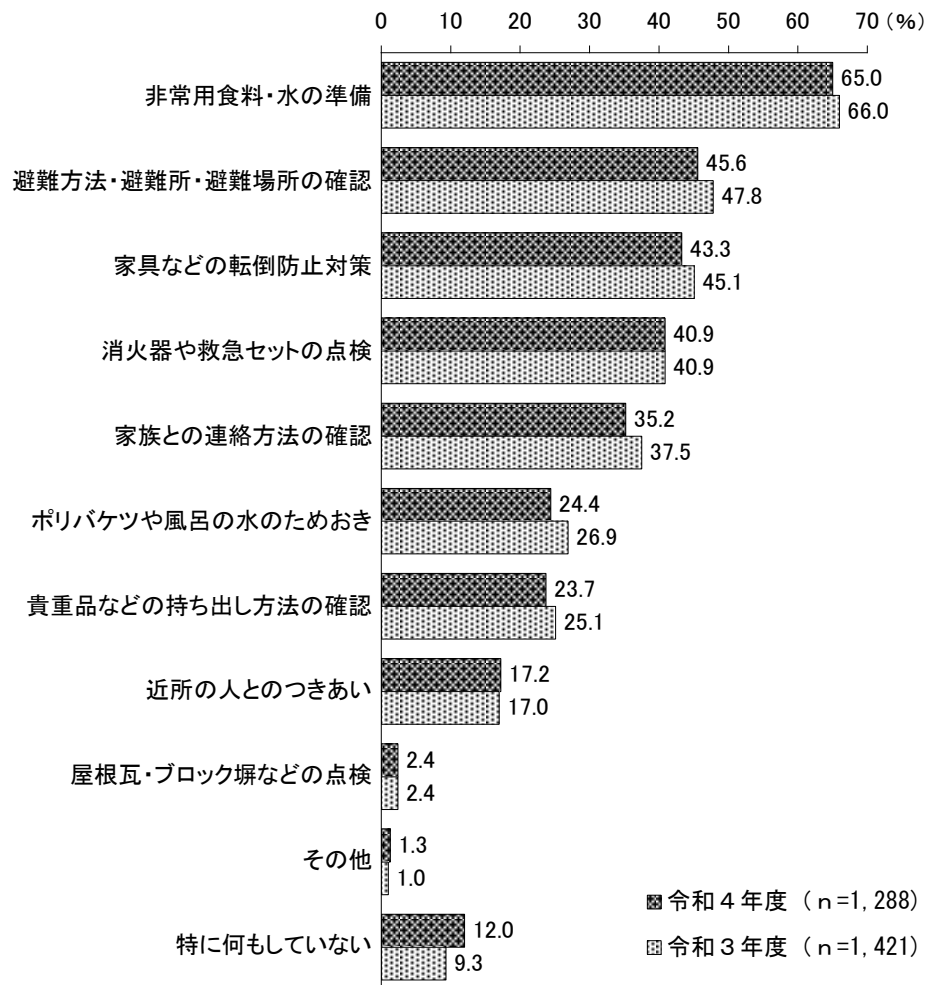
【地域防災力の強化】

問37 あなたの家庭では、以下のような防災対策を行っていますか。あてはまるものを選び
○印をおつけください。(○はいくつでも)

＜全体／経年比較＞

- ・「非常用食料・水の準備」が65.0%で最も高く、次いで「避難方法・避難所・避難場所の確認」(45.6%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－114 自宅における防災対策の実施状況



① 地区別

- ・地区別では、すべての地区で1位は「非常用食料・水の準備」となっている。2位は、白河地区、富岡地区、東陽地区、大島地区、砂町地区では同率を含め「避難方法・避難所・避難場所の確認」、小松橋地区、大島地区、南砂地区では同率を含め「家具などの転倒防止対策」、豊洲地区、亀戸地区では「消火器や救急セットの点検」となっている。

図表Ⅳ－115 自宅における防災対策の実施状況（地区別）

(%)

	n	家具などの転倒防止対策	屋根瓦・ブロック塀などの点検	消火器や救急セットの点検	非常用食料・水の準備	避難方法・避難所・避難場所の確認	貴重品などの持ち出し方法の確認	家族との連絡方法の確認	ポリバケツや風呂の水のためおき	近所の人とのつきあい	その他	特に何もしていない
全 体	1,288	43.3	2.4	40.9	65.0	45.6	23.7	35.2	24.4	17.2	1.3	12.0
白河	118	41.5	2.5	37.3	66.1	50.8	26.3	35.6	21.2	17.8	1.7	14.4
小松橋	93	48.4	7.5	43.0	61.3	47.3	26.9	29.0	31.2	25.8	3.2	12.9
富岡	91	42.9	7.7	41.8	68.1	49.5	29.7	36.3	29.7	18.7	4.4	5.5
東陽	101	42.6	3.0	32.7	65.3	46.5	22.8	30.7	19.8	16.8	1.0	15.8
豊洲	245	41.2	0.0	54.7	68.6	46.1	20.8	32.2	18.8	10.6	1.6	8.6
亀戸	151	40.4	1.3	42.4	53.0	35.8	13.9	29.1	15.9	15.2	0.0	23.2
大島	171	46.2	1.8	34.5	66.7	46.2	25.1	36.3	33.3	16.4	0.0	10.5
砂町	187	42.2	2.1	35.8	62.6	46.5	25.1	43.9	31.6	23.0	0.5	9.1
南砂	117	49.6	1.7	37.6	74.4	44.4	27.4	39.3	18.8	15.4	1.7	9.4
居住地区不詳	14	28.6	0.0	28.6	57.1	42.9	35.7	57.1	35.7	35.7	0.0	14.3

② 性年齢別

- ・男女別にみると、男女ともに1位が「非常用食料・水の準備」、2位が「避難方法・避難所・避難場所の確認」となっている。
- ・年齢別にみると、男性では18～19歳、60～64歳を除くすべての年齢で1位が「非常用食料・水の準備」となっている。18～19歳では「家具などの転倒防止対策」、60～64歳では「避難方法・避難所・避難場所の確認」が1位となっている。女性では20～24歳を除くすべての年齢で同率を含め1位が「非常用食料・水の準備」となっている。18～19歳では「消火器や救急セットの点検」が同率で1位、20～24歳では「避難方法・避難所・避難場所の確認」が1位となっている。

図表Ⅳ－116 自宅における防災対策の実施状況（性年齢別）

＜男 性＞		（％）										
	n	家具などの 転倒防止 対策	屋根瓦・ ブロック 塀などの 点検	消火器 や救急 セットの 点検	非常用 食料・ 水の 準備	避難方 法・避難 所・避難 場所の 確認	貴重品 などの 持ち出し 方法の 確認	家族と の連絡 方法の 確認	ポリバケ ツや風呂 の水の ためおき	近所の 人との つきあい	その他	特に 何も して いない
全 体	552	42.8	2.7	41.7	62.0	46.6	25.0	37.9	22.8	15.8	0.7	13.0
18～19歳	3	100.0	0.0	0.0	66.7	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	21	38.1	0.0	47.6	71.4	42.9	23.8	33.3	14.3	0.0	0.0	9.5
25～29歳	24	50.0	0.0	25.0	58.3	37.5	20.8	37.5	4.2	12.5	0.0	8.3
30～34歳	29	24.1	0.0	37.9	65.5	44.8	24.1	27.6	6.9	6.9	0.0	17.2
35～39歳	38	31.6	0.0	28.9	52.6	26.3	13.2	18.4	7.9	7.9	0.0	23.7
40～44歳	37	45.9	2.7	40.5	73.0	54.1	27.0	40.5	8.1	10.8	2.7	10.8
45～49歳	48	39.6	0.0	37.5	66.7	56.3	29.2	41.7	25.0	14.6	0.0	6.3
50～54歳	51	49.0	3.9	37.3	74.5	49.0	13.7	43.1	17.6	11.8	0.0	11.8
55～59歳	66	37.9	1.5	53.0	65.2	45.5	18.2	34.8	21.2	9.1	3.0	13.6
60～64歳	37	45.9	5.4	51.4	54.1	56.8	18.9	54.1	21.6	21.6	0.0	5.4
65～69歳	44	56.8	0.0	40.9	68.2	43.2	31.8	40.9	27.3	15.9	0.0	11.4
70～74歳	57	38.6	5.3	45.6	63.2	52.6	26.3	40.4	36.8	19.3	0.0	14.0
75歳以上	95	45.3	6.3	43.2	48.4	43.2	37.9	37.9	40.0	30.5	1.1	17.9
年齢不詳	2	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0

＜女 性＞		（％）										
	n	家具などの 転倒防止 対策	屋根瓦・ ブロック 塀などの 点検	消火器 や救急 セットの 点検	非常用 食料・ 水の 準備	避難方 法・避難 所・避難 場所の 確認	貴重品 などの 持ち出し 方法の 確認	家族と の連絡 方法の 確認	ポリバケ ツや風呂 の水の ためおき	近所の 人との つきあい	その他	特に 何も して いない
全 体	685	44.2	2.0	41.3	68.5	44.5	22.0	33.0	25.4	18.0	1.9	11.1
18～19歳	4	25.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0
20～24歳	20	55.0	15.0	35.0	60.0	65.0	30.0	45.0	10.0	10.0	0.0	15.0
25～29歳	33	21.2	0.0	15.2	54.5	33.3	9.1	24.2	6.1	3.0	3.0	33.3
30～34歳	40	32.5	0.0	37.5	57.5	42.5	10.0	10.0	10.0	10.0	5.0	15.0
35～39歳	53	45.3	0.0	39.6	77.4	52.8	20.8	18.9	7.5	24.5	0.0	9.4
40～44歳	61	26.2	0.0	39.3	73.8	49.2	18.0	27.9	13.1	14.8	1.6	14.8
45～49歳	70	47.1	1.4	48.6	67.1	47.1	11.4	35.7	24.3	20.0	2.9	5.7
50～54歳	84	50.0	2.4	39.3	76.2	36.9	21.4	34.5	28.6	15.5	2.4	8.3
55～59歳	66	47.0	0.0	40.9	75.8	43.9	25.8	34.8	21.2	21.2	0.0	9.1
60～64歳	36	52.8	2.8	47.2	66.7	50.0	27.8	38.9	33.3	2.8	0.0	11.1
65～69歳	58	51.7	3.4	48.3	70.7	44.8	27.6	37.9	27.6	20.7	1.7	8.6
70～74歳	60	41.7	1.7	48.3	66.7	38.3	25.0	40.0	40.0	11.7	1.7	10.0
75歳以上	99	50.5	4.0	40.4	61.6	45.5	31.3	41.4	46.5	32.3	3.0	9.1
年齢不詳	1	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

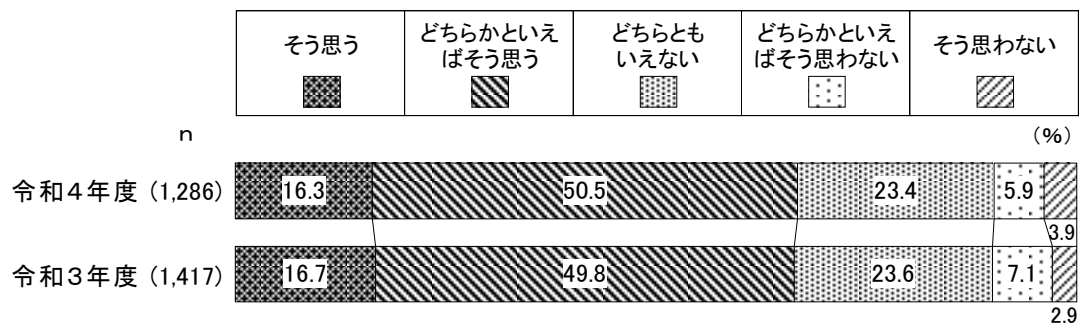
【犯罪のないまちづくり】

問38 あなたは、江東区内の治安は良いと思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

＜全体／経年比較＞

- ・「どちらかといえばそう思う」が50.5%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(23.4%)となっている。
- ・「そう思う」(16.3%)と「どちらかといえばそう思う」(50.5%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は66.8%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－117 江東区の治安の良さ



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、白河地区(81.4%)、小松橋地区(77.4%)、豊洲地区(74.6%)、東陽地区(68.4%)、富岡地区(68.1%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－118 江東区の治安の良さ(地区別)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
全 体	1,286	16.3	50.5	23.4	5.9	3.9
白河	118	26.3	55.1	16.1	2.5	0.0
小松橋	93	24.7	52.7	17.2	4.3	1.1
富岡	91	13.2	54.9	25.3	5.5	1.1
東陽	101	13.9	54.5	18.8	8.9	4.0
豊洲	244	23.8	50.8	18.0	3.3	4.1
亀戸	149	7.4	43.0	30.9	10.7	8.1
大島	171	10.5	47.4	31.0	6.4	4.7
砂町	187	13.4	50.8	24.1	5.9	5.9
南砂	118	12.7	50.0	28.0	7.6	1.7
居住地区不詳	14	14.3	57.1	21.4	0.0	7.1

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～39歳、45～49歳、70歳以上で男性全体を上回っている。女性では18～39歳、45～54歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－119 江東区の治安の良さ（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
全 体	550	18.2	49.8	20.2	7.1	4.7
18～19歳	3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0
20～24歳	21	52.4	19.0	28.6	0.0	0.0
25～29歳	24	29.2	45.8	16.7	0.0	8.3
30～34歳	29	34.5	48.3	10.3	3.4	3.4
35～39歳	38	15.8	52.6	13.2	15.8	2.6
40～44歳	37	13.5	45.9	21.6	5.4	13.5
45～49歳	48	10.4	64.6	10.4	8.3	6.3
50～54歳	51	17.6	49.0	11.8	19.6	2.0
55～59歳	66	9.1	53.0	22.7	9.1	6.1
60～64歳	37	8.1	45.9	29.7	8.1	8.1
65～69歳	44	15.9	50.0	20.5	11.4	2.3
70～74歳	56	16.1	53.6	28.6	1.8	0.0
75歳以上	94	22.3	47.9	24.5	1.1	4.3
年齢不詳	2	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0

<女 性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
全 体	685	15.3	50.4	26.0	5.3	3.1
18～19歳	4	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0
20～24歳	20	35.0	45.0	20.0	0.0	0.0
25～29歳	33	30.3	45.5	9.1	12.1	3.0
30～34歳	40	20.0	47.5	15.0	7.5	10.0
35～39歳	53	15.1	52.8	26.4	3.8	1.9
40～44歳	61	18.0	47.5	21.3	8.2	4.9
45～49歳	70	17.1	55.7	25.7	1.4	0.0
50～54歳	84	6.0	61.9	25.0	7.1	0.0
55～59歳	66	7.6	57.6	27.3	3.0	4.5
60～64歳	36	2.8	55.6	30.6	8.3	2.8
65～69歳	58	6.9	48.3	29.3	12.1	3.4
70～74歳	60	18.3	46.7	30.0	3.3	1.7
75歳以上	99	20.2	39.4	35.4	1.0	4.0
年齢不詳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

令和4年度 江東区長期計画区民アンケート

調 査 票

令和5年2月8日(水)までにご回答をお願いいたします

URL : <https://www.city.koto.lg.jp/>

申請者ID : k0000ans4

パスワード : abcdkoto#4

※パスワードは、計10文字になります。



ご回答にあたってのお願い

- 封筒のあて名のご本人さまがご回答してください。
ただし、あて名のご本人さまが記入・入力困難な場合、ご家族の方がご本人さまの考えを尊重してご回答いただいても構いません。
- 調査項目は全部で**38**問になります。問1より順番に回答してください。
- 質問によっては、あてはまる答えの番号を1つだけ選ぶもの、あるいは複数選ぶものがございます。お手数ですが質問を確認のうえ番号に○をおつけください。
- なお、回答は「**郵送**」または「**インターネット(電子申請)**」のいずれかの方法で行うことができます。

〔本アンケートに関する問い合わせ先〕

担 当：江東区 政策経営部 企画課 企画担当

電 話：03-3647-9168 / Eメール：kikaku@city.koto.lg.jp



江東区観光キャラクター
コトミちゃん

I. はじめに、あなたご自身についておうかがいします。

F 1 から F 6 まで、それぞれあなたにあてはまる番号に○をつけてください。

F1. 性 別	1. 男 性	2. 女 性	3. その他
F2. 年 齢	1. 18～19 歳 5. 35～39 歳 9. 55～59 歳 13. 75 歳以上	2. 20～24 歳 6. 40～44 歳 10. 60～64 歳	3. 25～29 歳 7. 45～49 歳 11. 65～69 歳 4. 30～34 歳 8. 50～54 歳 12. 70～74 歳
F3. ご職業	1. 会社員・団体職員 2. 商工自営業 3. 公務員 4. 会社役員・団体役員 5. パート・アルバイト 6. 学生 7. 無職（専業主婦・主夫含む） 8. その他（ ）		
F4. ご自宅 （居住地区）	地区名	該当する町丁名	
	1. 白河	清澄、常盤、新大橋、森下、平野、三好、白河、高橋	
	2. 小松橋	千石、石島、千田、海辺、扇橋、猿江、住吉、毛利	
	3. 富岡	佐賀、永代、福住、深川、冬木、門前仲町、富岡、牡丹、古石場、越中島	
	4. 東陽	木場、東陽、南砂 2 丁目 (1 番 1 号～5 号・5 番～7 番)、新砂 1 丁目 1 番、海の森	
	5. 豊洲（西）	豊洲、東雲、有明、青海	
	6. 豊洲（東）	塩浜、枝川、辰巳、潮見	
	7. 亀戸	亀戸	
	8. 大島	大島	
	9. 砂町	北砂、南砂 1 丁目・5 丁目、南砂 2 丁目 (24 番～34 番)、東砂 1 丁目～5 丁目	
	10. 南砂	東砂 6 丁目～8 丁目、南砂 2 丁目 (1 番 1 号～5 号・5 番～7 番・24 番～34 番を除く)、南砂 3・4・6・7 丁目、新砂 1 丁目 (1 番を除く)、新砂 2・3 丁目、新木場、夢の島、若洲	
F5. 世帯の構成	1. ひとり暮らし 2. 夫婦だけ 3. 二世帯世帯（あなたの世代と親） 4. 二世帯世帯（あなたの世代とこども） 5. 三世帯世帯 6. その他（ ）		
	F5-1 右記に該当する家族が同居されている場合は、あてはまる番号に○をつけてください	1. 家族に中学校卒業前のこどもがいる 2. 家族に 65 歳以上の高齢者がいる 3. どちらとも同居していない （65 歳以上のひとり暮らしの方を含む）	
F6. 住宅の形態	1. 一戸建持ち家 2. 分譲マンション（公団・公社*含む） 3. 一戸建借家 4. 賃貸マンション（公団・公社*含む） 5. 賃貸アパート 6. 社宅・公務員宿舎・社員寮など 7. 同居・間借り・住み込み 8. その他（ ）		

*公団とは「UR 都市機構（旧日本住宅公団、住宅・都市整備公団、都市基盤整備公団）」、公社とは「東京都住宅供給公社」を指します。

Ⅱ. 次に、あなたの身近な生活環境等についておうかがいします。

【みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現】

問1 あなたは、江東区内の水辺と緑に満足していますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 満足している | 2. どちらかといえば満足している |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば不満である |
| 5. 不満である | 6. わからない |

【地球温暖化対策と環境保全】

問2 あなたは、以下のような環境に配慮した行動に取り組んでいますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. 環境を意識した行動を日常生活の中で行っている |
| 2. 外出時や通勤時になるべく公共交通機関（電車・バス）や自転車を利用している |
| 3. 節電、節水などの省資源・省エネルギーを進めている |
| 4. 電気製品を買う際は、省エネ性を考えて選ぶようにしている |
| 5. 使い捨て製品の使用を避け、繰り返し使用できる製品や詰め替え製品を購入している |
| 6. ネットオークションやリサイクルショップなどを活用している |
| 7. ごみの分別（燃やすごみ、燃やさないごみ など）をしている |
| 8. びん、缶、ペットボトルなど、リサイクル可能なものはリサイクルに出している |
| 9. 買い物にはマイバッグを持参している |
| 10. 環境問題（地球温暖化や脱プラスチック等）に関心を持ち、日頃からニュース等で情報を得ている |
| 11. 環境を守る地域活動に参加している |
| 12. 特に何もしていない |

【みんなで取り組む子育て家庭への支援】

問3 中学生以下のお子さんがある保護者の方におたずねします。

あなたは、地域に見守られて子育てしていると感じますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. そう感じる | 2. どちらかといえばそう感じる |
| 3. どちらかといえばそう感じない | 4. そう感じない |
| 5. わからない | |

問3-1 問3で「3. どちらかといえばそう感じない」「4. そう感じない」を選んだ方におたずねします。
地域に見守られて子育てしていると感じない理由について、自由にご記入ください。

問4 中学生以下のお子さんがある保護者の方におたずねします。

あなたは、必要な子育て情報を入手しやすいと思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

1. そう思う

2. どちらかといえばそう思う

3. どちらかといえばそう思わない

4. そう思わない

5. わからない

問4-1 問4で「3. どちらかといえばそう思わない」「4. そう思わない」を選んだ方におたずねします。

必要な子育て情報を入手しやすいと思わない理由について、自由にご記入ください。

問5 こどものしつけと体罰の考え方についてうかがいます。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

1. しつけであっても体罰はすべきではない

2. しつけのためなら、ある程度の体罰もやむを得ない

3. しつけのためなら、体罰は必要である

4. わからない

【多様なニーズに応じた教育環境の充実】

問6 江東区では、一人一人を大切にした教育が行われていると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

1. そう思う

2. どちらかといえばそう思う

3. どちらともいえない

4. どちらかといえばそう思わない

5. そう思わない

6. わからない

【こどもが安全に過ごせる居場所・環境づくり】

問7 あなたは、行政や地域の活動（こども110番の家、地域でのパトロールなど）が、こどもたちを犯罪や事故から守る地域環境づくりに役立っていると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

1. そう思う

2. どちらかといえばそう思う

3. どちらともいえない

4. どちらかといえばそう思わない

5. そう思わない

6. わからない

【次代を担う青少年の健全育成の推進】

問8 江東区は、青少年への支援や相談窓口の定着・充実など、青少年が健全に育つ環境が整っていると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

1. そう思う

2. どちらかといえばそう思う

3. どちらともいえない

4. どちらかといえばそう思わない

5. そう思わない

6. わからない

「青少年」とは、中・高生～35歳未満の青年期の者〔子供・若者白書（内閣府）〕。

なお、事業によっては40歳未満の者。

【魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成】

問 9 あなたは、区内の企業やお店が元気に活動していると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | 6. わからない |

問 10 あなたは、魅力のある商店街やお店が区内にあると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | |

【人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化】

問 11 町会・自治会、NP0、ボランティアなどが日頃より様々な地域活動を主催しています。この一年間、あなたはこれらの地域活動に参加したことがありますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | |
|-----------------------------|
| 1. よく参加している |
| 2. ときどき参加している |
| 3. 参加したことはあるが、今はほとんど参加していない |
| 4. まったく参加したことはない |

問 12 江東区には、気軽に利用できる地域活動施設があると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | 6. わからない |

【多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現】

問 13 江東区は、性別、年齢、国籍、価値観、生き方など様々な違いを認め合い、誰もが尊重され、暮らしやすいまちであると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | 6. わからない |

問 14 あなたは現在、仕事、家庭生活（家事・子育て・介護・家族との交流）、地域・個人の生活（地域活動・趣味・学習・休養）を自分が希望するバランスで実現することが出来ていると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | 6. わからない |

問 15 あなたは、「ドメスティックバイオレンス（DV=配偶者等からの暴力）」について相談できる窓口を知っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

「1. 知っている」を選んだ方は問 15-1 へ、「2. 知らない」を選んだ方は問 16 へお進みください。

- | | |
|----------|------------------|
| 1. 知っている | 2. 知らない → 問 16 へ |
|----------|------------------|

問 15-1 問 15 で「1. 知っている」を選んだ方におたずねします。

相談できると知っていた窓口（機関）を次の中から、あてはまるものを選び○印をおつけください。（○はいくつでも）

- | |
|--|
| 1. 江東区女性のなやみと DV ホットライン（配偶者暴力相談支援センター） |
| 2. 福祉事務所（保護第一課、保護第二課） |
| 3. 警察署 |
| 4. 警視庁総合相談センター |
| 5. 東京都女性相談センター |
| 6. 東京ウィメンズプラザ |
| 7. その他（具体的に： _____） |

【生涯にわたり学習できる環境の充実】

問 16 あなたは、以下のような学習講座や地域の集まりなどに参加していますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

【学習講座や地域の集まりの例】

①趣味（茶道・生け花・囲碁・将棋など）、②教養（英会話など）、③芸術、④文化、⑤教室（料理など）

- | |
|-----------------------------|
| 1. よく参加している |
| 2. ときどき参加している |
| 3. 参加したことはあるが、今はほとんど参加していない |
| 4. まったく参加したことはない |

問 17 あなたは、図書館が学びの場として役に立っていると感じていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. そう感じる | 2. どちらかといえば感じる |
| 3. どちらかといえば感じない | 4. そう感じない |
| 5. わからない | |

【スポーツを楽しめる環境の充実】

問 18 あなたは、週にどれくらいの頻度でスポーツ・運動を行っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|---------------|--------|
| 1. 週1日 | 2. 週2日 |
| 3. 週3日以上週6日以下 | 4. 毎日 |
| 5. しない | |

「スポーツ・運動」には、散歩や体操などの体を動かすことを意識して行う運動も含む。

【文化・歴史の継承と観光振興】

問 19 あなたは、江東区内に魅力的な文化観光資源があると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|---------------------------------|
| 1. そう思う | 「3.」「4.」「5.」を選んだ方は問 20 へお進みください |
| 2. どちらかといえばそう思う | |
| 3. どちらかといえばそう思わない | |
| 4. そう思わない | |
| 5. わからない | |

問 19-1 問 19 で「1. そう思う」「2. どちらかといえばそう思う」を選んだ方におたずねします。
あなたにとって魅力的だと思う観光資源を次の中から、あてはまるものを選び○印をつけてください。(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. 神社仏閣・文化財・史跡 |
| 2. 郷土料理（深川めし）やご当地グルメなどの食文化 |
| 3. 江戸切子、木場の角乗などの伝統工芸・民俗芸能 |
| 4. 祭り・イベント |
| 5. キッザニア東京、チームラボ、スモールワールドズ TOKYO などの娯楽施設 |
| 6. 東京都現代美術館、日本科学未来館、深川江戸資料館などの美術館・科学館・博物館・資料館 |
| 7. オリンピック・パラリンピック開催競技場などのスポーツ施設 |
| 8. キャンプ・バーベキューなどアウトドアが体験できる公園・施設 |
| 9. 河川運河、東京湾、遊歩道、親水公園などの水辺環境 |
| 10. ゲートブリッジ、永代橋、夢の大橋などの橋 |
| 11. 豊洲市場及び関連施設 |
| 12. その他（具体的に： _____） |

【切れ目のない支援による母子保健の充実】

問 20 中学生以下のお子さんがある保護者の方におたずねします。

江東区は健診、相談支援、産前・産後支援等の母子保健サービスが充実していると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | 6. わからない |

【健康づくりの推進と保健・医療体制の充実】

問 21 あなたは、ご自身が健康であると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | 6. わからない |

問 22 あなたは、この1年間で何らかのがん検診を受けましたか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 区のがん検診 | 2. 職場のがん検診 |
| 3. 人間ドックなどのがん検診 | 4. その他(具体的に:) |
| 5. がん検診は受けていない | |

問 23 あなたは、①かかりつけ医・②かかりつけ歯科医・③かかりつけ薬局をもちえていますか。それぞれについて、あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つずつ)

①かかりつけ医	1. もっている	2. もっていない
②かかりつけ歯科医	1. もっている	2. もっていない
③かかりつけ薬局	1. もっている	2. もっていない

【感染症対策と生活衛生の確保】

問 24 あなたは、感染症予防のために、「①手洗い」「②咳エチケット」を励行していますか。それぞれについて、あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つずつ)

※咳エチケットとは：咳やくしゃみをするときにマスクをつけたり、ティッシュで口と鼻を覆う等、周りの人に感染させないように配慮すること

①手洗い	1. 行っている	2. 行っていない
②咳エチケット	1. 行っている	2. 行っていない

【高齢者支援と活躍の推進】

問 25 65 歳以上の方におたずねします。

あなたは、現在生きがいや幸せを感じる生活を送ることができていると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | 6. わからない |

問 26 65 歳以上の方におたずねします。

あなたは、ボランティアなどの地域活動や就労を行っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

「2. 地域活動をしている」を選んだ方は問 26-1 へ、「3. 何もしていない」を選んだ方は問 26-2 へお進みください。

- | |
|--------------|
| 1. 就労をしている |
| 2. 地域活動をしている |
| 3. 何もしていない |

問 26-1 問 26 で「2. 地域活動をしている」を選んだ方におたずねします。具体的な活動内容について、あてはまるものを選び○印をおつけください。
(○はいくつでも)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. ボランティア活動 | 2. 町会・自治会活動 |
| 3. 老人クラブ | 4. 趣味の活動 |
| 5. その他の活動 | |

→問 26-2 問 26 で「3. 何もしていない」を選んだ方におたずねします。

地域活動や就労を行っていない理由について、あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 関心がない |
| 2. 関心はあるがどのような活動先や勤め先があるかわからない |
| 3. ひとりでは地域活動や勤めることが不安 |
| 4. 参加したい活動先や勤め先はあるが通いづらい |
| 5. 家族や健康上の理由から活動や就労ができない |
| 6. その他 () |

問 27 地域包括支援センター（長寿サポートセンター）では、保健師（看護師）、社会福祉士、主任介護支援専門員などの専門職が互いに連携しながら高齢者の方が住み慣れた地域で暮らしていけるよう支援しています。あなたは、その活動内容を知っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 内容を知っている | 2. ある程度の内容は知っている |
| 3. 内容は知らないが、聞いたことはある | 4. 知らない |

【障害者支援と共生社会の実現】

問 28 江東区は、障害者が地域活動やスポーツ、趣味、イベント等の社会活動に参加しやすい環境が整っていると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | 6. わからない |

【地域福祉と生活支援の充実】

問 29 日々の暮らしの中で、悩みや困りごとなど、生活の相談をすることが出来る相手があなたの身近にいますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

- | |
|--------------|
| 1. いる |
| 2. いない |
| 3. どちらともいえない |

問 29-1 問 29 で「1. いる」と答えた方におたずねします。
相談する相手は、どのような方ですか。（○はいくつでも）

- | |
|--------------------|
| 1. 同居している家族 |
| 2. 親族 |
| 3. 友人 |
| 4. 区役所や施設など相談機関の職員 |
| 5. その他（ ） |

→問 29-2 問 29 で「2. いない」と答えた方におたずねします。
あなたが相談相手がいないと感じている理由について、最もあてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

- | |
|------------------------|
| 1. 悩みや困りごとを他人に話したくないから |
| 2. 相談すると相手の負担になるから |
| 3. 誰に相談すればいいかわからないから |
| 4. 相談するまでの悩みや困りごとがないから |
| 5. その他（ ） |

【計画的なまちづくりの推進】

問 30 江東区は、地域の特色を活かしたまちづくりが進んでいると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | 6. わからない |

問 31 あなたは、江東区のまち並みについて美しいと思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | |

問 32 あなたは、「ユニバーサルデザイン」について知っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|-------------|----------------------|
| 1. 内容を知っている | 2. 内容は知らないが、聞いたことがある |
| 3. わからない | |

「ユニバーサルデザイン」とは、万人のための設計思想であり、年齢、性別、国籍、個人の能力に関わらず、できるだけ多くの人が自立して安全、快適、安心に暮らせる生活環境をデザインすること。

【良好な住宅の形成と住環境の向上】

問 33 あなたは、今お住まいの周辺環境について満足していますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 満足している | 2. どちらかといえば満足している |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば不満である |
| 5. 不満である | |

【便利で安全な道路・交通ネットワークの整備】

問 34 あなたは、江東区内を便利で快適に移動できると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | 6. わからない |

【災害に強い都市の形成】

問 35 江東区は、災害に強いまちづくりが進んでいると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない 4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない 6. わからない

問 36 あなたは、江東区洪水ハザードマップを見たことがありますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

1. 見たことがあり、自宅周辺の状況も把握している
2. 見たことはあるが、自宅周辺の状況はわからない
3. 見たことはない
4. あることも知らない

【地域防災力の強化】

問 37 あなたの家庭では、以下のような防災対策を行っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

1. 家具などの転倒防止対策
2. 屋根瓦・ブロック塀などの点検
3. 消火器や救急セットの点検
4. 非常用食料・水の準備
5. 避難方法・避難所・避難場所の確認
6. 貴重品などの持ち出し方法の確認
7. 家族との連絡方法の確認
8. ポリバケツや風呂の水のため置き
9. 近所の人とのつきあい
10. その他（具体的に： ）
11. 特に何もしていない

【犯罪のないまちづくり】

問 38 あなたは、江東区内の治安は良いと思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない 4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

以上でアンケート調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

以下のいずれかの方法で、令和5年2月8日（水）までに、返信してください。

- ❑ 郵送によりご回答いただける場合
同封した返信用封筒に入れて、郵便ポストにご投函ください（切手不要）。
返信用封筒にご住所やお名前を記載する必要はありません。
- ❑ インターネット（電子申請）によりご回答いただける場合
別紙「**区民アンケートのお願い**」に記載されている方法で回答ページにアクセスしていただき、申請者ＩＤとパスワードを入力して、手順に沿って回答してください。

令和４年度 江東区長期計画区民アンケート調査報告書

令和５年３月 印刷物登録番号（４）９３号

編集発行 江東区政策経営部企画課

東京都江東区東陽４－１１－２８

電話（３６４７）９１１１（大代表）